2603
20

衆議院要覽

昭和十二年七月

衆議院要覽（乙）

衆議院事務局

凡例

一　本書ハ現議員ノ寫眞及履歴ヲ輯錄ス

一　履歴事項ハ出生地、學歷及業務ノ梗概ヲ錄スルニ止ム

一　本書ハ昭和十二年七月五日ノ現在ニ據ル

衆議院要覽（乙）

目次

議員いろは別氏名
議員履歴　附書記官長及書記官履歴
議員選擧區別氏名
議員所屬黨派府縣別人員表
衆議院各室略圖
衆議院議場略圖

議員いろは別氏名

い、ろノ部

伊東岩男　飯田助夫
伊藤東一郎　飯塚春太郎
伊藤五郎　飯村五郎
伊禮肇　一柳仲次郎
伊豆富人　一宮房治郎
井上知治　一ノ瀬俊民
井上良次　犬養健
井阪豐光　岩元榮次郎
猪野毛利榮　岩瀬亮

板谷順助　飯田助夫
泉國三郎　飯塚春太郎
稻田直道　飯村五郎
生田和平　一柳仲次郎
今井健彦　一宮房治郎
今井新造　一ノ瀬俊民
今成留之助　犬養健
池田七郎兵衞　岩元榮次郎
池田秀雄　岩瀬亮
池田清秋　板野友造

池崎忠孝
池本甚四郎
石井德久次
石坂養平
石坂繁
出井兵吉

は

羽田武嗣郎
葉梨新五郎
長谷長次
馬場元治
鳩山一郎
春名成章
八田宗吉
服部岩吉
服部崎市
原玉重
原惣兵衛
原夫次郎
原口初太郎
林一路
林平馬
林譲治
濱地文平

濱田國松
濱野徹太郎
箸本太吉
坂東幸太郎

に

西尾末廣
西岡竹次郎
西川貞一
西方利馬
西田郁平
西村丹治郎
西村金三郎
西村茂生

ほ

堀内良平
星一
星島二郎
本田義成
本田彌市郎
朴春琴

と

遠山房吉
東郷實
東條貞
道家齊一郎
豊田豊吉
豊田收
富吉榮二
富田幸次郎

ち

陣軍吉

お、をノ部

小川郷太郎
小笠原八十美
小笠原三九郎
小高長三郎
小野寅吉
小野謙一
小野廉
小串清一
小山倉之助
小山田義孝
尾崎行雄
大石倫治
大石大
大竹貫一
大内竹之助
大野一造

大野伴睦
大口喜六
大麻唯男
大島寅吉
大本貞太郎
太田理一
太田正孝
岡田春夫
岡田忠彦
岡田喜久治
岡野龍一
岡崎憲

わ

か

岡崎久次郎
岡本實太郎
沖島鎌三
ノ部
若宮貞夫
渡邊玉三郎
渡邊泰邦
ノ部
加藤知正
加藤鐐造
加藤勘十
加藤鯛一

加藤久米四郎
川副隆
川村保太郎
川俣清音
川合直次
川崎克
川崎巳之太郎
川崎末五郎
川島正次郎
河合義一
河上丈太郎
河上哲太

田中邦治
田中万逸
田中源
田中源三郎
田中好
田中耕
田村秀吉
田万清臣
田渕豊吉
田子一民
田代正治
田尻生五

片岡恒一
片山哲
勝正憲
勝田永吉
金井正夫
金光庸夫
笠井重治
風見章
亀井貫一郎
漢那憲和
菅野善右衛門
簡牛凡夫

よ

ノ部
依光好秋
米窪満亮
横川重次
吉植庄亮
ノ部
吉原春次
吉川大吉郎
邊七六
中亮一
中養達
中武雄

田島勝太郎
多田滿長
俵孫一
高畠龜太郎
高橋義次
高橋熊次郎
高橋泰雄
高橋圓三郎
高橋壽太郎
高橋守平
高岡大輔
高田耘平

高木粂太郎
高見之通
立川平
賴母木桂吉
玉野知義
武知勇記
武田德三郎
瀧正雄
瀧澤七郎
丹下茂十郎

そノ部

曾和義弌

曾木重貴
添田敬一郎

つノ部

津原武
津倉亀作
津雲國利
津崎尙武
坪山德彌
土田莊助
土倉宗明
土屋寛
土屋清三郎

鶴惣市
鶴見祐輔
塚本三
塚本重藏
堤康次郎

なノ部

名川侃市
南雲正朔
南條德男
內藤正剛
成島勇
中井一夫

中井川浩
中原謙司
中川重春
中田儀直
中村梅吉
中村高一
中村不二男
中村三之丞
中野邦一
中野寅吉
中野治介
中野正剛

中山福藏
中崎俊秀
中島知久平
中島彌團次
仲井間宗一
仲西三良
永井柳太郎
永田良吉
永山忠則
永江一夫
長井源
長野綱良

長野長廣
長野高一
む
村上國吉
村上紋四郎
村松久義
村瀬武男
紫安新九郎
う
卯尾田毅太郎
宇賀四郎
內田信也

內ケ崎作三郎
馬岡次郎
上田孝吉
植原悅二郎
の
野方次郎
野田文一郎
野田俊作
野中徹也
野口喜一
野村嘉六
野溝勝

く
久山知之
工藤十三雄
工藤鐵男
黒田壽男
國光五郎
窪井義道
藏原敏捷
藏園三四郎
倉成庄八郎
倉元要一
熊谷直太

熊谷五右衛門
釘本衛雄
や
矢野庄太郎
八木逸郎
八角三郎
八並武治
山道襄一
山川賴三郎
山田六郎
山田清
山田順策

山口忠五郎
山枡儀重
山崎達之輔
山崎常吉
山崎釵二
山本芳治
山本厚三
山本悌二郎
ま
眞鍋勝
眞鍋儀十
眞田忠治

丸山辨三郎
松井郡治
松尾三藏
松尾四郎
松岡俊三
松川昌藏
松方幸次郎
松田竹千代
松田喜三郎
松田正一
松永東
松永義雄

松村謙三
松村光三
松浦伊平
松浦周太郎
松野鶴平
松山常次郎
松木弘
松本治一郎
松本忠雄
前川正一
前田米藏
前田房之助

牧野良三
牧野賤男
牧山耕藏
増田義一
増永元也
ノ部

藤生安太郎
藤田若水
藤本捨助
古田喜三太
古屋慶隆
古島義英

深澤豐太郎
船田中
福井甚三
福田悌夫
福田關次郎
ノ部

小泉又次郎
小泉純也
小池四郎
小畑虎之助
小林房之助
小林三郎

小林絹治
小谷節夫
小平重吉
小柳牧衛
小山谷藏
小山邦太郎
小山松壽
小山亮
小見山七十五郎
木暮武太夫
木檜三四郎
紅露昭

河野一郎
河野密
駒井重次
ろノ部

江原三郎
江藤源九郎
江羅直三郎
ノ部

手代木隆吉
寺田市正
寺島權藏
ノ部

阿部茂夫
安部磯雄
安倍寛
安達謙藏
安藤正純
安藤孝三
愛野時一郎

青山憲三
青木亮貫
青木作雄
青木精一
赤松克麿

赤城宗徳
東武
綾部健太郎
浅沼稲次郎
麻生久
秋田清
芦田均

さノ部

佐保・畢雄
佐藤興一
佐藤洋之助
佐藤謙之輔
佐藤啓
佐竹晴記
齋藤隆夫
齋藤直橘
澤田利吉
坂田道男
坂下仙一郎
坂本宗太郎
作田高太郎
櫻井兵五郎
櫻内幸雄
崎山嗣朝

きノ部

木原七郎
木村武雄
木村正義
木村浅七
木村作次郎
木下成太郎
木本主一郎
喜多壯一郎
北勝太郎
北昤吉
北原阿智之助

清寛
清瀬一郎
清瀬規矩雄
菊池良一
菊地養之輔
岸田正記

ゆノ部

行吉角治

みノ部

三輪壽壯
三善信房
三好榮次郎
三田村武夫
三土忠造

しノ部

三浦虎雄
三宅正一
三木武夫
水谷長三郎
南鼎三
宮脇長吉
宮澤胤勇
宮澤裕
宮澤清作
宮崎一
宮本雄一郎

ノ部

斯波貞吉
志賀和多利
信太儀右衛門
清水徳太郎
清水留三郎
鹽川正藏
庄晋太郎
庄司一郎
篠原陸朗
篠原義政

議員いろは別氏名

島田俊雄
重松重治
椎尾辨匡
ひ
ノ部
肥田琢司
樋口善右衛門
比佐昌平
一松定吉
平川松太郎
平野力三
平野光雄
西田銳吉

も
ノ部
最上政三
望月圭介
森肇
森幸太郎
森榮藏
森福市
森田重次郎
森下國雄
守屋榮夫
盛島明長
粟山博

百瀬渡
せ
ノ部
世耕弘一
す
ノ部
須永好
砂田重政
助川啓四郎
末松偕一郎
杉浦武雄
杉山元治郎
鈴木憲太郎
鈴木文治

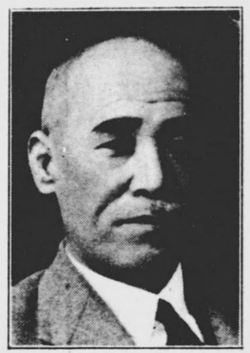
鈴木正吾
鈴木英雄

議員いろは別氏名

伊東岩男

宮崎縣選出、立憲政友會
農

明治二十一年八月宮崎縣南那珂郡北鄉村ニ生ル、「非常時日本は輝く」「日向の農民大衆へ捧ぐ」「結婚改造」ノ著書アリ○北鄉村會議員、南那珂郡會議員、五度宮崎縣會議員ニ選ハル、南那珂郡購買利用組合會議員、所得調査委員トナル、有限責任南那珂町村組合會理事、同自轉車組合聯合會長、宮崎縣耕地組合協會理事、同自動車組合協會理事、同運輸組合聯合會長タリ○當選二回(1920)



伊藤東一郎

岐阜縣第二區選出、立憲民政黨
從七位勳五等、農

明治十二年十二月岐阜縣海津郡石津村ニ生ル○日露戰役ニ從軍ス、陸軍歩兵中尉ニ任セラル、石津村在鄉軍人團長、鯖江聯隊區内在鄉將校團海津郡支部長、桑名聯隊區司令部在鄉將校團監事、帝國在鄉軍人會桑名支部理事、同海津郡聯合分會長、輪西中普通水利組合會議員、太田輪中水害豫防組合議員トナル、石津村會議員、三度岐阜縣會議員ニ選ハレ縣會副議長ニ擧ケラル小作調停委員、自作農創定調査委員、金錢債務調停委員タリ○當選二回(1920)

伊藤五郎

山形縣第二區選出、立憲民政黨
辯護士

明治三十五年二月山形縣北村山郡常盤村ニ生ル、中央大學法學部英法科卒業○高等試驗行政科竝司法科合格、辯護士ヲ開業現ニ其ノ業務ニ從事ス、小作調停委員、商事調停委員、金錢債務臨時調停委員、借地借家調停委員タリ、會テ横濱辯護士會副會長トナル○當選一回（20）

伊禮肇

沖繩縣選出、國民同盟
勳四等、官吏

明治二十六年十月沖繩縣中頭郡北谷村ニ生ル、京都帝國大學法學部獨法科卒業○沖繩縣屬ニ任セラル、又北谷村長ニ擧ケラル後辯護士ヲ開業其ノ業務ニ從事ス、沖繩每日新聞社理事トナル、現ニ拓務參與官タリ○當選五回（16 17 18 19 20）

伊豆富人

熊本縣第二區選出、國民同盟
正六位勳四等、新聞社重役

明治二十一年九月熊本縣葦北郡日奈久町ニ生ル、早稻田大學政治科卒業○九州日々新聞記者、東京朝日新聞記者トナル、又遞信大臣祕書官ニ任セラル、現ニ九州日々新聞社副社長タリ ○當選三回（18 19 20）

井上知治

鹿兒島縣第一區選出、立憲政友會
勳四等、農

明治十九年七月鹿兒島縣揖宿郡頴娃村ニ生ル、東京帝國大學法科卒業○神戸鈴木商店員、合資會社冠東商會專務理事、鹿兒島火山灰株式會社監査役、讀賣新聞社員トナル○當選四回（17 18 19 20）

井上良次

大阪府第二區選出、社會大衆黨

明治三十一年五月高知縣吾川郡伊野町ニ生ル○大阪商船會社內航群山丸、石見丸船員、住友電線製造所職工、大阪汽車製造株式會社仕上工、ミイリング工、大阪勞働學校主事トナル、又安治川野田衞生組合評議員、同副組合長、大阪府道路、公園、商工、農林水產、各調査會委員、大阪府會議員、同參事會員ニ選ハル、大衆診療所ヲ經營ス○當選一回（20）

井阪豐光

大阪府第六區選出
正五位勳三等、辯護士

明治十四年十二月大阪府泉南郡八木村ニ生ル、京都帝國大學法科大學卒業○辯護士トナル、岸和田市長ニ擧ケラル、帝國護謨製造株式會社取締役、尼ケ崎城內土地株式會社監査役トナル、外務政務次官ニ任セラル、阿片委員會委員、米穀對策調査會臨時委員、鐵道會議議員、臺灣拓殖株式會社設立委員、對支文化事業調査會委員、關稅調査會委員被仰付、社會事業調査會委員ヲ委囑セラル、財團法人寺田病院理事、同元朝會理事、株式會社水間鐵道會社取締役タリ○當選六回（14 15 16 18 19 20）

猪野毛利榮

福井縣選出、立憲政友會
正五位勳三等

明治十九年一月福井縣大野郡富田村ニ生ル、日本大學法科同高等專攻科及善鄰書院卒業○司法大臣祕書官、內務大臣祕書官ニ任セラル、日本大學理事、日本體育會理事タリ、曩ニ日本浪人社ヲ創立シ雜誌「日本浪人」ヲ、經國社ヲ創立シ「政治及經濟界」ヲ主宰ス、屢ミ南北支那、滿洲、西比利亞、蒙古各地ヲ歷遊ス、外務政務次官ニ被任、資源審議會委員、阿片委員會委員、關稅調査會委員、對支文化事業調査會委員被仰付○佛國政府ヨリ「オフィシエ・ド・ロルドル・デュカンボージュ」勳章ヲ贈ラル○當選五回（15 17 18 19 20）

飯田助夫

神奈川縣第一區選出、立憲民政黨
農

明治十一年三月橫濱市ニ生ル○屢ミ村農會、郡農會、市農會、縣農會、帝國農會、村教育會、畜產組合、耕地整理組合等ノ役員、村學務委員、國勢調査員、自作農維持創設審議會員トナル又大綱村長、郡町村長會副會長、市農會創立委員長、縣會議員、同參事會員、郡町村長會副會長、縣會議員、同參事會員ニ選ハレ縣會議長ニ擧ケラル、現ニ橫濱市會議會副會長、鶴見川水害豫防組合常設委員、小作調停委員タリ○當選二回（1920）

飯塚春太郎

群馬縣第一區選出、立憲民政黨
勳四等、機業

慶應元年一月群馬縣山田郡廣澤村ニ生ル、東京法學院英語法科卒業○群馬縣會議員ニ擧ケラル、又桐生織物同業組合長ニ選ハル、渡良瀬水電株式會社、日本絹撚株式會社、兩毛整織株式會社其他數會社ノ重役トナル、再度歐洲各國支那印度及南洋方面ヲ視察ス、多年廣幅輸出絹織物製造業ニ從事ス、關稅審議會委員、關稅調査會委員被仰付○實業精勵ノ廉ニ依リ綠綬褒章ヲ賜ハル○當選七回（14 15 16 17 18 19 20）

飯村五郎

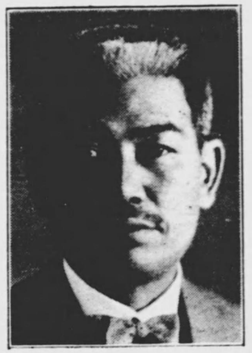
茨城縣第三區選出
正八位勳四等、辯護士

明治二十一年四月茨城縣筑波郡眞瀨村ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○陸軍三等主計ニ任セラル、辯護士業ニ從事ス、選擧制度調査會委員被仰付、現ニ簡易生命保險積立金運用委員會委員タリ、派遣軍等慰問ノ爲滿洲及支那ニ派遣、又列國議會同盟會議ニ參列、歐米各國ヲ視察ス、又南洋方面ヲ視察ス○當選六回（15 16 17 18 19 20）

一柳仲次郎

北海道第一區選出、立憲民政黨
貿易商

明治元年十月愛知縣知多郡成岩町ニ生ル○會テ會社員タリ、後北海道ニ轉住農漁業、貿易商ニ從フ、日露貿易商組合長、札幌果實蔬菜輸出商同業組合長、札幌信用組合理事、札幌果實商組合長、札幌商業會議所議員、同副會頭トナル、開道五十年記念博覽會理事ヲ被囑託、札幌區會議員、北海道會議員、同議長、札幌稅務監督局管內營業稅審査委員ニ擧ケラル、都市計畫北海道地方委員會委員被命、又北海道拓殖倉庫株式會社取締役社長トナル、一柳物産株式會社、北海道信託株式會社取締役社長、合資會社一柳商會代表社員タリ○當選五回（14 15 17 19 20）



一宮房治郎

大分縣第一區選出、立憲民政黨
正五位、官吏

明治十七年九月大分縣速見郡豐岡町ニ生ル、上海東亞同文書院卒業○漢字新聞北京順天時報記者、大阪朝日新聞北京通信員トナリ奉天ニ漢字新聞盛京時報社ヲ創立シ其ノ主幹、主筆ヲ兼ヌ、後大阪朝日新聞記者、盛京時報社々長、東亞同文書院常任理事トナル、又農商務大臣秘書官、內務參與官ニ被任、對支文化事業調査會委員、中央衞生會臨時委員、保險衞生調査會委員、勞働保險調査會委員、衆議院議員選擧革正審議會委員、都市計畫中央委員會臨時委員、神社制度調査會委員被仰付、南北米及歐洲各國ヲ視察ス、現ニ海軍政務次官タリ○當選六回（13 14 16 17 19 20）

一ノ瀬俊民

佐賀縣第二區選出、立憲政友會
農

明治十八年十二月佐賀縣杵島郡武雄町ニ生ル、長崎高等商業學校卒業○武雄町長トナル、佐賀縣會議員ニ選ハル、現ニ株式會社武雄銀行取締役タリ○當選一回（20）

犬養健

岡山縣第二區選出、立憲政友會
從五位勳四等、官吏

明治二十九年七月東京市ニ生ル、東京帝國大學文學部哲學科ニ學フ、「東京六月祭」「犬養健集」「一つの時代」其他文學ニ關スル著書數種アリ○法政大學講師トナル、內閣總理大臣祕書官ニ任セラル、著作權審査會委員被仰付、現ニ遞信參與官タリ○當選四回（17 18 19 20）

岩元榮次郎

鹿兒島縣第二區選出、立憲政友會
農

明治十五年一月鹿兒島縣出水郡出水町ニ生ル、早稻田大學專門部政治經濟科卒業○ジヤパンタイムス社支局明治堂記者トナリ後木炭商或ハ農業ヲ營ミ出北學館ヲ創立シ靑年敎育ニ從事ス、出水肥料株式會社取締役トナル、出水町消防組頭、同敎化委員、同經濟更生委員、出水郡苗木同業組合長、鹿兒島縣標準木炭査定委員トナル、同施政調査會委員、同觀光協會評議員、地方森林會議員、又出水町會議員、鹿兒島縣會議員ニ選ハレ、都市計畫鹿兒島地方委員會委員被仰付、出水郡木炭信用販賣購買利用組合長、海外移住組合代議員、出水町養蠶實行組合顧問、鹿兒島縣木炭改良組合聯合會副會長、南九州窯業株式會社取締役社長トナリ、鮮滿及支那ヲ視察ス○當選二回（1920）

岩瀨亮

千葉縣第三區選出、立憲政友會
勳四等、會社重役

明治三十一年十二月千葉縣夷隅郡興津町ニ生ル、東京殖民貿易語學校高等科卒業○現ニ櫻組工業株式會社取締役社長、樺太炭業株式會社專務取締役、昭和製粉株式會社、昭和火藥株式會社、日本肥料株式會社各取締役、日本電氣工業株式會社、昭和鑛業株式會社等監査役タリ、馬來半島其ノ他南洋各植民地ノ實業ヲ視察ス、又列國議會同盟會議ニ參列歐米各國ヲ視察ス○當選三回（1819 20）

板野友造

大阪府第一區選出、勳四等、辯護士

明治七年五月岡山縣吉備郡足守町ニ生ル、關西法律學校ヲ卒業シ、明治法律學校ニ學フ○司法官試補ニ任セラレ後辯護士トナル又大阪市會議員同副議長ニ擧ケラル、勞働保險調査會委員、國有財産調査會委員被仰付○當選五回（13 14 15 18 20）

板谷順助

北海道第一區選出、立憲政友會
正五位勳四等、會社重役

明治十年三月新潟縣刈羽郡宮川村ニ生ル、慶應義塾卒業○小樽板谷合名會社社員、板谷商船株式會社常務取締役トナル、海運、海陸物産、醬油釀造、農、牧畜、倉庫、銀行、木材業等ヲ營ム、又小樽商工會議所議員、北海道農友會々頭、大日本蠶絲會北海道支會副會長タル外板谷商船、樺太銀行、横濱生命、小樽取引所顧問、渡島海岸鐵道、洞爺湖電氣鐵道、沙流軌道、沙流電氣、勇拂電燈、南洋郵船、中央開墾各株式會社重役タリ、米穀調査會委員被仰付、又海事審議會委員ヲ囑託セラル、鐵道參與官ニ任セラレ、國際觀光委員會委員被仰付○當選六回（15 16 17 18 19 20）

泉國三郎

岩手縣第二區選出、立憲政友會
辯護士

明治二十九年十二月岩手縣氣仙郡世田米村ニ生ル「泉國三郎演說集」「東北凶作を語る」ノ著書アリ○警視廳巡査ヲ命セラル、辯護士試驗ニ合格、辯護士ヲ開業ス、遠野町會議員、岩手縣會議員ニ選ハル、又遠野消防組頭、同町助役トナル、辯護士ノ業務ニ從事ス○當選一回（20）

稻田直道

鳥取縣選出、立憲政友會
日滿協會理事

明治二十二年七月鳥取市ニ生ル、早稻田大學政治經濟學科卒業○早稻田大學雄辯會幹事トナリ全國各地ニ遊說ス、日刊鳥取新報株式會社ヲ創立シ專務取締役副社長、新京建築助成株式會社取締役トナル、滿洲事變直後都下各大學辯論部學生ヲ選拔シ、其團長トナリ滿蒙各地ヲ視察、事變ノ眞相ヲ全國各地ニ遊說シテ輿論ノ喚起ニ努ム、現ニ日滿協會理事タリ○當選一回（20）

生田和平

徳島縣第一區選出、立憲政友會
勳四等、製絲業

明治十年四月徳島縣名西郡石井町ニ生ル○町會議員、郡會議員、縣會議員ニ選ハル、麻名用水組合議員、徳島縣繭絲同業組合長、大日本蠶絲會評議員、又徳島水力電氣、徳島瓦斯、阿波共同製絲、阿南鐵道各株式會社ヲ創立シ其取締役社長、四國生絲株式會社取締役トナル、國產振興委員會委員被仰付○當選六回（13 15 16 18 19 20）

今井健彦

千葉縣第二區選出、立憲政友會
正五位勳四等、新聞社長

明治十六年七月靜岡縣榛原郡初倉村ニ生ル○中央新聞記者、中外商業新報記者トナル、福井日報社長タリ、朝鮮、滿洲國、支那及南洋方面ヲ視察ス、又萬國議院商事會議及列國議會同盟會議ニ參列シ歐洲各國ヲ視察ス、曩ニ農林參與官ニ任セラル、石油業委員會委員被仰付○當選六回（15 16 17 18 19 20）

今井新造

山梨縣選出、第二控室
會社員、大日本武德會劍道教士

明治二十七年一月甲府市ニ生ル、「劍道雜話」ノ著書アリ○多年魚問屋業ニ從事シ後株式會社山梨モーターズ商會ヲ設立シ現ニ其專務取締役、株式會社山梨開發協會取締役、甲府魚市場株式會社顧問タリ、又甲府市聯合青年團設立ニ際シ團長ニ選ハレ、現ニ其ノ顧問、大日本消防協會山梨支部幹事タリ、此ノ間三度山梨縣會議員ニ選ハレ、同參事會員ニ擧ケラル、又武德會山梨支部、山梨縣警察部、憲兵分隊等ノ劍道教師トナリ、青年學生ノ劍道敎養ニ努メ、大日本武德會總裁宮殿下ヨリ劍道精練證ヲ賜ハリ劍道五段ヲ允許、次テ劍道錬士號ヲ賜ハリ、昭和十年宮中ニ於ケル武道天覽試合ニ出場ス○當選二回（1920）

今成留之助

新潟縣第三區選出、立憲民政黨
從七位勳五等、辯護士

明治十五年十二月高田市ニ生ル、日本大學專門部卒業○判檢事登用試驗ニ合格ス、曩ニ稅務屬ニ被任、日露ノ役ニ從軍ス、後司法官試補ヲ經テ判事ニ被任甲府地方兼區裁判所判事、新潟地方裁判所判事ニ被補、新潟市會議員、同參事會員、新潟縣會議員、同參事會員ニ選ハル、辯護士ノ業務ニ從事ス○當選一回（20）

池田　七郎兵衛

福井縣選出、立憲政友會
公吏

明治十五年六月福井縣足羽郡酒生村ニ生ル○福井縣會議員當選四度、其間三度議長ニ擧ケラル、又所得調査委員足羽郡教育會長、同青年團長、酒生村長其他各種ノ公職ニ就ク、現ニ酒生村地整理組合長、同信用購買販賣利用組合長、福井縣農會評議員、同縣畜産組合聯合會副會長、福井縣畜産組合長、村耕氣、白山水力電氣、日本電力、福井紡績、第九十一銀行、大正電當選一回（20）

池田　秀雄

佐賀縣第一區選出、立憲民政黨
從四位勳三等

明治十三年二月佐賀縣小城郡三日月村ニ生ル、東京帝國大學法科大學英法科卒業○文官高等試驗ニ合格ス、東京朝日新聞記者、後拓殖局書記官、長野、廣島、宮城各縣理事官、岐阜縣警察部長、外務事務官兼内務書記官、宮城、廣島各縣内務部長、秋田縣知事、朝鮮總督府殖産局長、北海道廳長官ニ歴任ス、又商工政務次官ニ被任、京城日報社長トナル、土木會議議員、北海道拓殖計畫調査會委員、鐮税調査委員會委員、不當廉賣審査委員會委員、瓦斯事業委員會委員、國産振興委員會委員、度量衡制度調査會委員、統制委員會委員被仰付、百貨店委員會委員、取引所制度調査會委員、臨時産業合理局小賣業改善調査會委員、重要肥料業委員會委員、東北振興調査會委員、重要肥料業委員會委員被仰付、慰問ノ爲滿洲國ニ派遣セラル○當選三回（1819 20）

池田　清秋

千葉縣第三區選出、立憲民政黨
勳八等、辯護士

明治十二年九月千葉縣安房郡平群村ニ生ル、日本大學卒業○日露戰役ニ從軍ス、判檢事登用試驗ニ合格、司法官試補ヲ命セラレ現ニ其職ニアリ、都市計畫東京地方委員會委員被仰付○當選二回（1920）

池崎　忠孝

大阪府第三區選出、第二控室
官吏

明治二十四年二月岡山縣阿哲郡萬歳村ニ生ル、東京帝國大學法科卒業、「藝術上の理想主義」「日本潛水艦」「太平洋戰略論」「英米現勢論」「最近軍事問題論攷」「國防の立場から」其他數種ノ著書アリ○會テ文藝批評ノ筆ヲ執リ、萬朝報社員、大阪時事新報社顧問トナル、後辭シテメリヤス製造業ニ從事ス、現ニ文部參與官タリ○當選二回（1920）

池本甚四郎

京都府第二區選出、立憲民政黨
從七位、醬油釀造業

明治二十三年十一月京都府久世郡小倉村ニ生ル、山口高等商業學校卒業○京都市立第一商業學校教諭ニ被補、小倉村長ニ就任三期間在職ス、小倉村會議員、同學務委員、京都府會議員、同議長ニ擧ケラル、又所得調査委員、小作調停委員、土地賃貸價格調査委員、久世郡町村長會長トナル、現ニ久世郡農會議員、巨椋池耕地整理組合副長、相續稅審査委員タリ○當選二回（1920）

石井德久次

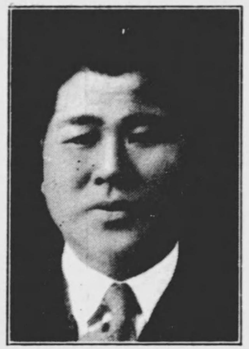
福岡縣第二區選出、立憲政友會
正八位勳五等、酒造業

明治二十年六月福岡縣鞍手郡若宮村ニ生ル、大阪高等工業學校釀造科卒業○陸軍輜重兵少尉ニ被任、西比利亞ニ出征ス、保證責任福岡縣信用組合聯合會理事、郡教育會長、同育英會副會長、同會長、同財産組合長、縣農會評議員、帝國農會議員、所得調査委員、同副議長ニ擧ケラル、福岡縣會議員、同參事會員、同議長ニ擧ケラル、都市計畫福岡地方委員會委員被仰付、若宮村會議員、同信用購買販賣利用組合長、鞍手郡農會長、自作農審議會委員、産業組合中央會縣支會理事、保證責任福岡縣信用組合聯合會長、鞍手軌道株式會社長、株式會社鞍手銀行、同筑豐貯蓄銀行、共福無盡株式會社各取締役、福岡縣農會長タリ○當選二回（1920）

石坂養平

埼玉縣第二區選出、立憲政友會
農

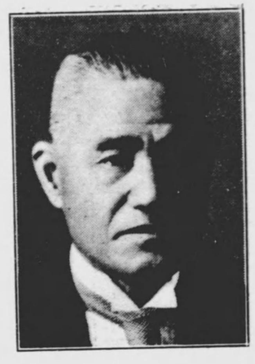
明治十八年十一月埼玉縣大里郡奈良村ニ生ル、東京帝國大學文科大學哲學科卒業、「文藝中道」「偃仰錄」「文明の高士」ノ著書アリ○埼玉縣會議員、同副議長ニ擧ケラル、大里郡農會長、同青年團長、埼玉縣農會副會長トナル、全國養蠶組合聯合會副會長、帝國農會評議員、埼玉縣養蠶組合聯合會長、同縣農會長、大里郡青年團長、株式會社武州銀行監査役、熊谷製絲株式會社取締役、松本米穀肥料株式會社監査役タリ○當選三回（1916 19 20）



石坂繁

熊本縣第一區選出、國民同盟
從七位、辯護士

明治二十六年一月熊本縣菊池郡西合志村ニ生ル、東京帝國大學法科大學獨法科卒業○三井物産株式會社神戸支店ニ勤務ス、陸軍三等主計ニ被任、同二等主計ニ進ム、後辯護士ヲ開業其業務ニ從事ス、熊本縣會議員ニ選ハル、私立合志義塾講師、帝國在鄉軍人會手取分會長、熊本海外協會理事タリ○當選二回（1920）



出井兵吉

埼玉縣第三區選出、立憲政友會

勳四等、農

明治四年六月埼玉縣北埼玉郡須影村ニ生ル、慶應義塾ニ學フ○村會議員、郡會議員、同議長、村長、村農會長、同消防組頭、縣會議員、同副議長、同議長、郡農會評議員、埼玉縣勸儉奬勵會委員、同小作調停委員、土地賃貸價格調査委員等ニ擧ケラル、又私立不動中學校理事、財團法人埼玉共濟會評議員兼理事、同副議長、埼玉縣村長會長、行田運送倉庫株式會社取締役社長トナル、現ニ秩父鐵道株式會社取締役、合同運送株式會社取締役社長ニシテ、縣山林會理事兼副議長、財團法人日本青年館評議員、村教育會長、縣教育會副會長、埼玉縣社會事業協會北埼玉支部長、村農會長、北埼玉養蠶業組合長等ノ公職ニアリ、神宮關係施設調査會委員被仰付○當選五回（16 17 18 19 20）

羽田武嗣郎

長野縣第二區選出、立憲政友會

著述業

明治三十六年四月長野縣小縣郡和田村ニ生ル、東北帝國大學法文學部卒業○東京朝日新聞社政治部記者トナル○當選一回（20）

葉梨新五郎

茨城縣第一區選出、立憲政友會

從六位勳四等、會社員

明治三十四年二月茨城縣稻敷郡木原村ニ生ル、明治大學法科、國士館高等學部ニ學フ○私立弘學館副館長、中央新聞社、日本電報通信社各政治部記者、合資會社三綱商會代表社員トナル、又關東長官祕書官ニ任セラル、富士インキ株式會社常務取締役、新興採炭株式會社取締役會長、榮養化學工業株式會社常務取締役、大稻計器株式會社常務取締役タリ○當選二回（18 20）

長谷長次

石川縣第一區選出

正七位、辯護士、辨理士

明治三十六年八月石川縣河北郡高松村ニ生ル、東京高等工業學校電氣化學科卒業○高等試驗司法科合格、司法官試補、檢事代理ヲ被命、檢事ニ任セラレ、東京地方兼區裁判所及札幌地方兼區裁判所豫備檢事、岩見澤區裁判所檢事、釧路區兼地方裁判所檢事ニ補セラル、後辭シテ辯護士ヲ開業現ニ其ノ業務ニ從事ス○當選一回（20）

馬場元治

長崎縣第一區選出、東方會
辯護士

明治三十五年十二月長崎縣南高來郡南串山村ニ生ル、東京帝國大學法學部卒業○文官高等試驗司法科合格、辯護士ヲ開業ス、長崎市會議員、同縣會議員ニ選ハル○當選二回（19 20）

鳩山一郎

東京府第二區選出、立憲政友會
正三位勳一等

明治十六年一月東京市ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○辯護士トナル、東京市會議員、同副議長、同議長ニ擧ケラル、臨時大都市制度調査會、都市計畫中央委員會、特別都市計畫委員會各委員被仰付、又內閣書記官長ニ任セラル、臨時法制審議會、中央統計委員會、中央諸官衙建築準備委員會、鐵道會議、行政制度審議會、對支文化事業調査會、人口食糧問題調査會、資源審議會、文政審議會、米穀委員會ノ委員及議員、大禮使次官被仰付、再度文部大臣ニ任セラル、佛國政府ヨリ「グラン・クロア・エトアル・ノアル」勳章ヲ贈ラル○當選九回（12 13 14 15 16 17 18 19 21）

春名成章

靜岡縣第二區選出
從五位勳四等

明治十六年十二月鳥取市ニ生ル、早稻田大學政治經濟科卒業○時事新報、東京朝日新聞、東京日日新聞各記者トナル、鐵道大臣祕書官、遞信大臣祕書官ニ任セラル○當選三回（18 19 20）

立憲政友會

八田宗吉

福島縣第二區選出、立憲政友會
正五位勳三等、農

明治七年十月福島縣河沼郡日橋村ニ生ル○陸軍步兵大尉ニ任セラル、後村長、郡會議員、同參事會員、福島縣會議員、同參事會員、同縣河川道路調査會員、同縣地方森林會員ニ擧ケラル、馬政委員會委員被仰付、又會津電力株式會社、福島縣農工銀行各取締役、帝國農會議員、同評議員トナル、米穀委員會委員、米穀對策調査會委員被仰付、陸軍參與官ニ任セラル、會津育英會理事タリ、馬政調査會委員被仰付、日本競馬會設立委員、競馬法審査會委員トナル、萬國議院商事會議ニ參列シ後歐米各國ヲ視察ス○當選八回（13 14 15 16 17 18 19 20）

服部岩吉

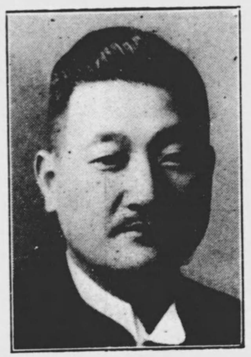
滋賀縣選出、立憲政友會
勳四等、酒造業

明治十八年十一月滋賀縣栗太郡金勝村ニ生ル○金勝村助役トナル、又屢〻同村長、同村會議員、滋賀縣會議員ニ擧ケラル、栗太郡自治會長、同農會長、土地賃貸價格調査委員、家屋稅調査委員、縣畜產聯合會副會長、同自治協會幹事、同町村長會副會長トナル○當選三回（18 19 20）

服部崎市

愛知縣第一區選出、立憲民政黨
米穀商

明治三十二年五月名古屋市ニ生ル○名古屋市會議員、愛知縣會議員、同副議長ニ選ハル、日本水上聯盟代議員、愛知水泳協會長、愛知縣竝名古屋體育協會各理事、名古屋明大OB體育倶樂部會長、日本大學OB名古屋體育倶樂部相談役、名古屋青年雄辯聯盟會長、愛知縣青年雄辯總聯盟理事長、模聯區教育會長、同青年團名譽顧問、名古屋米穀商同業組合名譽相談役、全國米穀商組合聯合會幹事タリ○當選二回（19 20）



原玉重

東京府第一區選出、立憲民政黨
辯護士

明治二十九年七月岐阜縣惠那郡付知町ニ生ル、中央大學卒業○辯護士試驗ニ合格ス、四谷稅務署管內所得調査委員、牛込區會議員、再度東京府會議員ニ擧ケラル○當選二回（19 20）

原惣兵衛

兵庫縣第四區選出、立憲政友會
勳四等、辯護士

明治二十四年一月兵庫縣赤穗郡上郡町ニ生ル、日本大學卒業後獨逸「ベルリン」大學及「ミュンヘン」大學ニ於テ國家學ヲ研究ス○辯護士試驗ニ合格ス、在獨日本人會常任理事ニ擧ケラル、又日本大學幹事兼學生監トナル、東京每日新聞社副社長タリ、辯護士業ニ從事ス、法制審議會臨時委員被仰付、列國議會同盟會議ニ參列シ歐米各國ヲ視察ス○當選五回（15 16 17 18 20）

原夫次郎

島根縣第一區選出、立憲民政黨
正五位勳三等、辯護士

明治八年六月島根縣簸川郡檜山村ニ生ル、和佛法律學校卒業○廣島地方裁判所判事被補後東京地方裁判所檢事ニ轉ス、官命ヲ帶ヒテ渡歐滿五年此間佛國「グルノーブル」大學ニ學ヒ次テ同國巴里大學法科大學院ヲ卒業、佛國法學博士ノ學位試驗ニ登第シテ其學位ヲ受ク「日本ノ新刑事政策」ト題スル佛文ノ論文ヲ公刊シ歸朝後東京地方裁判所、東京控訴院各檢事、司法省參事官、三度司法大臣祕書官、二度內閣總理大臣祕書官、法制局參事官、司法政務次官ニ歷任、其間警察官練習所、司獄官練習所及大學數校ノ各講師、日佛協會評議員、內務省警保委員タリ、資源審議會委員、法制審議會委員被仰付○支那司法官教授ノ功ニ依リ同國ヨリ勳四等嘉禾章ヲ受ク○當選七回（14 15 16 17 18 19 20）

原口初太郎

福岡縣第一區選出、立憲政友會
從三位勳二等功五級

明治九年一月福岡縣糟屋郡青柳村ニ生ル、陸軍士官學校、同砲工學校、野戰砲兵射擊學校、陸軍大學校卒業○陸軍砲兵少尉ニ任セラレ累進陸軍中將ニ至ル、其間野砲兵第四、第十六、第十八、第十三、第二十二各聯隊附大隊副官、中隊長、陸軍士官學校生徒隊中隊長兼教官、陸軍野戰砲兵射擊學校教官、陸軍大學校兵學教官、駐英國大使館附武官補佐官、青島守備軍參謀、聯隊長、參謀本部課長、陸軍技術審査部議員、駐米國大使館附武官、野戰重砲兵第四旅團長、陸軍野戰砲兵學校長、同砲工學校長、第五師團長ニ歷補、曩ニ西比利亞、支那ヘ出張被仰付、又華府會議參列全權委員隨員、陸軍技術會議議員被仰付、小運送制度調査會委員ヲ囑託セラル○當選三回（18 19 20）

林路一

北海道第二區選出
正五位勳四等、農

明治二十三年八月山口縣玖珂郡賀見畑村ニ生ル○北海道當麻村長ニ擧ケラル、コト數回、上川郡外四郡農會特別議員、同會副會長、上川稅務署所轄內地價調査委員、農產物檢査ニ關スル諮問委員、北海道地方稅制調査委員、民有未墾地開發資金貸付審査會委員、北海道會議員、同參事會員ニ擧ケラル、拓務參與官ニ被任、臺灣拓殖株式會社設立委員、阿片委員會委員、海外拓殖委員會委員被仰付○當選四回（16 18 19 20）

林平馬

福島縣第二區選出、立憲民政黨
勳四等、著述業

明治十六年十一月福島縣耶麻郡駒形村ニ生ル、日本體育會體操學校、日本大學卒業、「大國民讀本」外數種ノ著書アリ○嘗テ小學校訓導トシテ福島縣鹽川、喜多方、東京市十思各小學校ニ奉職ス、又京城陶器株式會社專務取締役、財團法人協調會參事、財團法人修養團滿洲聯合會專務理事トナル、東北振興調査會委員被仰付○當選五回（16 17 18 19 20）

林　讓治

高知縣第二區選出、立憲政友會
從五位勳四等

明治二十二年三月高知縣幡多郡宿毛町ニ生ル、京都帝國大學法科大學獨逸法科卒業○陸軍輜重兵少尉ニ任セラル、宿毛町長、高知縣會議員ニ擧ケラル、宿毛町農會長、同信用組合長トナル、文部大臣秘書官ニ任セラル○當選四回(17 18 19 20)

濱地文平

三重縣第二區選出、立憲政友會
水產業

明治二十六年二月三重縣度會郡吉津村ニ生ル、歌集「つゆ草」ノ著アリ○吉津村長、大湊町長トナル、又屢ゝ三重縣會議員ニ選ハル○當選一回(20)

濱田國松

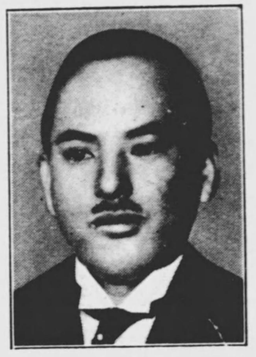
三重縣第二區選出、立憲政友會
正五位勳二等、辯護士

明治元年六月宇治山田市ニ生ル、東京法學院卒業○町會議員、郡會議員ニ選ハル、臨時教育行政調査會委員、小作調査會委員被仰付、司法政務次官ニ被任、裁判所構成法改正委員會委員被仰付、法制審議會委員、議院制度調査會委員、神宮關係施設調査會委員被仰付、歐米及朝鮮支那滿洲國ヲ視察ス○曩ニ衆議院議員、衆議院議長タリ○永年在職議員トシテ院議表彰セラル○當選十二回(9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20)

濱野徹太郎

兵庫縣第一區選出、立憲政友會
勳四等、辯護士

明治十八年七月和歌山縣西牟婁郡田並村ニ生ル、中央大學法科專門部卒業○十數年間小學校訓導タリ、後辯護士試驗ニ合格、辯護士ヲ開業現ニ其業務ニ從事ス、神戸辯護士會長ニ擧ケラル○當選四回(17 18 19 20)



箸本太吉

石川縣第一區選出、立憲政友會
勳四等、會社員

明治二十五年七月金澤市ニ生ル、日本大學政治科ニ學フ○中外商業新報社政治部記者、同支那、倫敦各特派員、株式會社萬朝報社常務取締役兼營業竝編輯局長、同社專務取締役兼主筆トナル、又囑託少年保護司、日本大學講師、財團法人輔成會囑託、少年保護協會幹事トナル、日本大學祕書タリ○當選四回（16 18 19 20）

坂東幸太郎

北海道第二區選出、立憲民政黨
勳四等、農

明治十四年四月香川縣大川郡相生村ニ生ル、早稻田大學政治經濟科卒業、「旭川回顧錄」「議會ノ內幕」ノ著書アリ○旭川區會議員、同學務委員、旭川商業會議所書記長、旭川市會議員、同副議長、同議長ニ擧ケラル、小作調停委員、北海道拓殖計畫調查會委員ヲ囑託セラル、旭川市青年聯盟團副理事長、旭都青年團長、旭川中央青年團名譽團長タリ、嘗テ雜誌「旭川評論」ヲ發刊ス○當選六回（15 16 17 18 19 20）

西尾末廣

大阪府第四區選出、社會大衆黨

明治二十四年三月香川縣香川郡雌雄島村ニ生ル「勞働組合ノABC」ノ著書アリ○鐵工職見習、職工トナル、日本勞働總同盟大阪聯合會有給主事、大阪府社會事業統制委員會委員、大阪府失業防止委員會委員、大阪市職業紹介委員、國際勞働協會勞働條約委員會委員、紡績勞働組合長トナル　日本勞働總同盟本部副會長、同關西同盟會々長、日本勞働組合會議執行委員タリ、曩ニ國際勞働會議勞働代表隨員、同勞働代表トシテ渡歐ス、又支那滿洲方面ヲ視察ス○當選三回（16 17 20）

西岡竹次郎

長崎縣第一區選出、立憲政友會
勳四等、新聞社長

明治二十三年五月長崎市ニ生ル、早稻田大學法科卒業、英國「ロンドン」大學其他ニ學フ○都新聞記者トナル、雜誌「青年雄辯」ヲ創刊シ其社長兼主筆トナル、長崎民友新聞、佐世保民友新聞ヲ創刊シ現ニ其ノ社長タリ、國際觀光委員會委員、資源審議會委員被仰付、曩ニ歐米各國支那印度ニ歷遊ス○當選六回（15 16 17 18 19 20）

西川貞一

山口縣第一區選出、立憲政友會
新聞記者

明治三十五年二月廣島縣高田郡向原村ニ生ル「日本精神之展開と農村問題」「國體の本義と皇道財政」ノ著書アリ○關門日々新聞社ニ入社、同社編輯局長兼副總務ヲ經テ現ニ顧問タリ、防長經濟更生協會理事、同顧問、山口縣商工聯合會顧問トナル○當選二回（1920）

西方利馬

山形縣第一區選出、立憲政友會
勳四等、新聞社長

明治十六年三月山形縣東置賜郡中川村ニ生ル、東京攻玉社工學校及中央大學法學科卒業○中山葡萄株式會社取締役社長、昭和工業合資會社有限責任社員、又山形縣會議員ニ當選、同縣體育會々長トナル、現ニ株式會社山形新聞社取締役社長タリ、資源審議會委員被仰付○當選五回（15 16 18 19 20）

西田郁平

和歌山縣第一區選出、立憲民政黨
從七位、辯護士

明治十五年二月和歌山縣南牟婁郡那智村ニ生ル、東京帝國大學佛法科卒業○海軍主計中尉ニ任セラル、後辯護士ヲ開業ス、屢〻和歌山市會議員ニ選ハレ同議長ニ擧ケラル、和歌山商工會議所顧問タリ○當選三回（17 19 20）

西村丹治郎

岡山縣第三區選出、立憲民政黨
正五位勳二等

慶應二年十月岡山縣吉備郡秦村ニ生ル、東京專門學校卒業、後歐米ニ遊學シ政治經濟學ヲ修ム○新聞記者タルコト數年、臨時國民經濟調査會委員、臨時治水調査會委員會委員、都市計畫岡山地方委員會委員、文政審議會委員被仰付、又農林政務次官ニ被任、米穀調査會委員會、絲價委員會、關稅調査委員會、農林審議會、米穀調査會各委員被仰付、列國議會同盟會議ニ參列ス○永年在職議員トシテ院議表彰セラル○當選十四回（7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20）

西村金三郎

京都府第一區選出、立憲民政黨

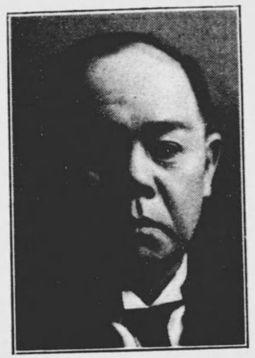
明治九年一月京都府久世郡小倉村ニ生ル、東京帝國大學法科大學政治科卒業○マヌフックチュラース生命保險會社日本中央部總支配人トナル、屢〻京都市會議員、同府會議員、京都市都市計畫委員、同方面委員ニ選ハル、京都同志社理事、同財務部長、兩丹電氣株式會社社長、株式會社大門製作所專務取締役トナル、現ニ京都市教育會理事長タリ、南洋方面ヲ視察ス○當選三回（17 19 20）

西村茂生

山口縣第二區選出、立憲政友會

正五位勳三等

明治十八年二月山口縣玖珂郡岩國町ニ生ル、農商務省水產講習所養殖學科卒業後動物學ヲ專攻ス○水力電氣事業竝各種水產會社事業ヲ經營ス、岩國町會議員、玖珂郡會議員、山口縣會議員、同副議長、岩國稅務署管內營業稅調查委員、同所得調查委員ニ選ハル、又山口縣生產調查會、同產業經濟調查會、同副業調查會、同電氣事業調查會各委員ヲ囑託セラル、又岩國消防組頭、山口縣消防義會評議員、大日本消防協會常議員及代議員、岩國信用組合監事、岩國商工會長トナル、曩ニ海軍參與官タリ、度量衡制度調查會委員被仰付○當選五回（16 17 18 19 20）



堀內良平

山梨縣選出、立憲民政黨

會社重役

明治三年十一月山梨縣八代郡黑駒村ニ生ル、東京法學院ニ學ブ、「日蓮主義努力ノ勝利」「勤王ノ聖者日蓮」ノ著書アリ○郡會議員、同議長、縣會議員、同參事會員ニ選ハル、報知新聞經濟記者、甲州葡萄酒株式會社々長、東京商工會議所議員、同常議員等トナル、現ニ富士山麓電氣鐵道株式會社々長、富士身延鐵道株式會社取締役、國際觀光興業株式會社取締役、日本觀光株式會社取締役、財團法人鐵道同志會常務理事、社團法人日本乘合自動車協會々長タリ、自動車製造事業委員會委員被仰付○當選三回（17 19 20）

星一

福島縣第三區選出

製藥業

明治六年十二月福島縣石城郡錦村ニ生ル、東京商業學校卒業後北米「コロンビヤ」大學ニ入リ「マスター・オブ・アーツ」ノ學位ヲ受ク、英文「日本商工便覽」「官吏學」「選擧大學」ノ著アリ○北米紐育市ニ於テ日米週報及雜誌「ジャパン・エンド・アメリカ」ヲ發刊ス、巴里開催ノ萬國新聞記者大會ニ參列ス、又小名木川製藥所ヲ創立シ製藥ニ從事ス、星製藥株式會社、戰友共濟生命保險株式會社、低溫工業株式會社各社長トナル、又星製藥商業學校ヲ創立シ其ノ校長トナル○當選二回（10 20）

星島二郎

岡山縣第二區選出、立憲政友會
正五位勳四等

明治二十年十一月岡山縣兒島郡藤戸町ニ生ル、東京帝國大學法科大學獨逸法科卒業、「最近憲法論」「最近の歐米を見る」ノ著書アリ○對支文化事業調査會委員被仰付、帝國大學青年會、お茶の水文化アパートメント、財團法人贊育會、家庭購買組合、法律扶助協會各理事、隆文館株式會社々長タリ、國有財産調査會委員、社會事業調査會委員、國際觀光委員會委員被仰付、小運送制度調査會委員ヲ命セラル、鐵道參與官ニ任セラル、列國議會同盟會議、萬國議院商事會議ニ參列歐米各國ヲ視察ス○當選七回（14 15 16 17 18 19 20）

本田義成

東京府第一區選出、立憲政友會
勳四等、會社員

明治四年九月新潟縣三島郡片貝村ニ生ル○四谷區會議員、同議長、東京府會議員、同參事會員、同參事會員ニ擧ケラル、又東京府警務委員長トナル、特別都市計畫委員會委員、補償審査委員被仰付、大木戸住宅株式會社監査役、朝鮮瓦林洋行代表社員トナル現ニ東京市會議員ニシテ公園、電氣事業、財政其他各種ノ常設委員タリ、列國議會同盟會議ニ參列シ歐米各國ヲ視察ス○當選四回（15 17 18 20）

本田彌市郎

大阪府第四區選出、立憲民政黨
勳四等、會社員

明治元年一月三重縣飯南郡花岡村ニ生ル、司法省法律學校ニ學フ○株式會社日本產業銀行支配人、才賀電氣商會副支配人、株式會社船場銀行支配人、松阪輕便鐵道株式會社監査役トナル、又豐崎町會議員、市會議員ニ選ハレ、都市計畫大阪地方委員會委員被仰付、國勢調査委員、失業統計調査委員ヲ命セラル、松阪電氣鐵道株式會社取締役、大阪厚生信用組合專務理事、大阪府信用組合聯合會監事タリ○當選四回（16 17 18 20）

朴春琴

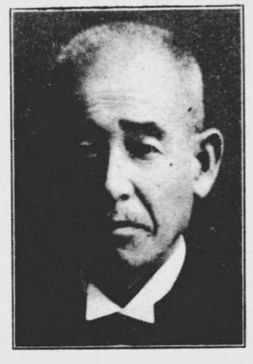
東京府第四區選出、第二控室
勳四等、會社重役

明治二十四年四月朝鮮慶尙南道密陽郡密陽面ニ生ル、密陽漢文書塾及日語學校卒業○相救會及相愛會總本部ヲ設立シ副會長ニ擧ケラル、日鮮企業株式會社常務取締役、片倉生命保險株式會社顧問、やまと新聞社顧問、財團法人相愛會館常務理事タリ、相愛會大阪本部、愛知縣本部各會長ヲ兼ヌ、朝鮮人生活狀況等視察ノ爲滿蒙支那ヲ巡歷ス○當選二回（18 20）

と（遠、東）

遠山房吉

北海道第五區選出、立憲民政黨
農



明治二年二月長野縣諏訪郡中洲村ニ生ル○芽室外六村農會評議員、同衛生組合長、土地水面評價委員、河西外六郡々農會理事、北海道蠶絲會評議員、芽室消防組頭、河西郡河南土功組合議員、北海道地方種繭審査委員、十勝六郡農會評議員、十勝國産牛馬組合芽室區評議員、在鄉軍人會芽室分會特別會員、所得稅調査委員等トナル、又芽室村會議員、同學務委員、北海道會議員ニ選ハル、十勝郡農會副會長、北海道農村産業組合評議員タリ○當選一回（20）

東鄉實

鹿兒島縣第二區選出、立憲政友會
從四位勳三等、農學博士

明治十四年十一月鹿兒島縣囎唹郡財部町ニ生ル、札幌農學校本科卒業、後伯林大學ニ學フ「日本殖民論」其他十數種ノ著書アリ○彰化廳殖産事務囑託、同技師、南投廳技師、斗六廳技師、臺灣總督府技師、同總督官房調査課長、同臨時國勢調査部調査課長兼同中央研究所技師ニ歷任ス、又臺灣總督府史料編纂委員會委員、同中央研究所評議會員、東京商科大學講師トナル、小作調査會委員被仰付、屢〻歐米各國ヘ差遣セラル、拓殖大學講師タリ、米穀調査會委員、國際觀光委員會委員、臨時ローマ字調査會委員、體育運動審議會委員、文政審議會委員、簡易生命保險積立金運用委員會委員、臺灣拓殖株式會社設立委員被仰付、遞信參與官、文部政務次官ニ歷任ス○當選六回（15 16 17 18 19 20）

東條貞

北海道第五區選出、立憲政友會
從五位

明治十八年二月松山市ニ生ル「網走築港調査書」「北見之林業」ノ著書アリ○室蘭タイムス記者、北海中央新聞記者、北見實業新聞記者トナル、日刊網走新聞ヲ創刊經營ス、網走町會議員、北海道會議員、同參事會員ニ選ハル、又拓務大臣祕書官ニ任セラル○當選三回（17 19 20）

道家齊一郎

東京府第一區選出、第二控室
專修大學常務理事

明治二十一年六月東京市ニ生ル、京都帝國大學政治科卒業「財界ノ統計的觀測」「參考統計學」「新經濟學」等ノ著書アリ○久原鑛業株式會社參事トナル、帝都復興院參事、東京市主事（統計課長、文書課長、電氣局勞働課長）ニ歷任ス、又專修大學、中央大學、日本大學講師トナル、現ニ東京市會議員、同參事會員、專修大學常務理事、同經濟學部長、東亞經濟調査局理事、東京經濟學協會理事、國際日本協會理事タリ、都市行政經濟、教育視察ノ爲歐米諸國、南支那滿洲國ニ出張ス○當選一回（20）

と（東、道）

豐田豐吉

茨城縣第一區選出、立憲民政黨
勳四等、著述業

明治二十三年二月茨城縣北相馬郡東父間村ニ生ル、早稻田大學商科卒業「對支懸案ノ眞相」ノ著アリ○ラサ島燐礦株式會社員、中華企業株式會社參事トナル、著述業ニ從事ス、列國議會同盟會議ニ參列シ歐米各國ヲ視察ス、又慰問ノ爲滿洲國ニ派遣セラル○當選三回（18 19 20）

豐田收

鳥取縣選出
從四位勳三等、學校長

明治十五年十一月鳥取縣東伯郡由良町ニ生ル、東京帝國大學法科大學獨逸法律學科卒業後、英國牛津大學ニ學フ○文官高等試驗ニ合格ス、鐵道院書記、同副參事、同參事、同書記官、鐵道監察官ニ歷任ス、又靑山學院囑託講師トナル、鳥取縣育英中學校長、中央大學講師タリ、曩ニ鐵道事業研究ノ爲歐米各國及亞弗利加ニ留學、鐵道會議議員被仰付、大藏參與官ニ任セラル、國有財産調査會、中央諸官衙建築準備委員會、關稅調査委員會、北海道拓殖計畫調査會各委員被仰付、特別金融制度調査會委員ヲ命セラル、土木會議議員被仰付、滿洲國ヲ視察ス○當選五回（16 17 18 19 20）

富吉榮二

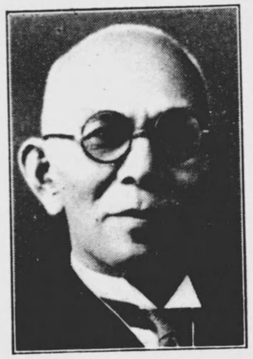
鹿兒島縣第二區選出、社會大衆黨
農

明治三十二年七月鹿兒島縣始良郡淸水村ニ生ル○私立精華學校敎師トナル、後農民組合運動等ニ從事シ全國農民組合鹿兒島縣聯合會執行委員長トナル、鹿兒島縣會議員ニ選ハル、現ニ淸水村會議員タリ、旬刊「大衆新聞」ヲ創刊經營ス○當選二回（19 20）

富田幸次郎

高知縣第一區選出、立憲民政黨
勳二等

明治五年十月高知縣安藝郡川北村ニ生ル、私立藝陽學舍卒業後政治學ヲ專攻ス○嘗テ土陽新聞主筆タリ、後高知新聞ヲ創刊シ其ノ主筆兼社長トナル、又東京帝國通信社、日本速度鋼株式會社、日本紡績機株式會社、帝國紙器株式會社ノ各取締役社長トナル、衆議院議員選擧法改正調査會委員、臨時行政審議會委員、敎科書調査會委員、內閣審議會委員、衆議院議員選擧革正審議會委員、高知新聞取締役タリ、淸韓ヲ歷遊ス○曩ニ衆議院議長タリ○當選十回（10 11 12 13 15 16 17 18 19 20）



陣　軍吉

宮崎縣選出
從六位勳四等、農

明治二年二月宮崎縣西諸縣郡高原町ニ生ル○宮崎縣警視ニ任セラル、韓國政府ノ招聘ニ應シ警視ニ被任、黃海道、咸鏡北道各警察部長ニ補セラル、後靜岡縣磐田郡長、大分縣大野郡長ニ歷任ス、宮崎縣農會議長、大分縣馬上金山重役其他銀行會社ノ重役トナル、西諸縣郡耆產組合長タリ○當選五回（13 14 15 19 20）

小川鄕太郎

岡山縣第二區選出、立憲民政黨
從三位勳二等、法學博士

明治九年六月岡山縣淺口郡里庄村ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業「經濟學通論」「財政學」其他數種ノ著書アリ○京都帝國大學講師、同助敎授ニ被任歐米ニ留學スルコト數年、歸朝後同大學敎授ニ被任、經濟學部長ニ補、立命館大學、同志社大學、關西大學ノ講師ヲ兼ヌ、又京都商業會議所特別議員、拓殖大學々監タリ、帝國經濟會議々員被仰付、曩ニ支那ニ出張ヲ被命、大藏政務次官ニ被任、人口食糧問題調查會、米穀調查會、藏相諮問關稅調查委員會、預金部資金運用委員會其ノ他種ノ委員會委員被仰付、又商工大臣ニ被任、資源審議會副總裁、商工組合中央金庫設立委員長被仰付、臨時物價對策委員會委員ヲ囑託セラル○當選七回（13 15 16 17 18 19 20）

小笠原　八十美

靑森縣第一區選出、立憲政友會
畜產業

明治二十一年六月靑森縣上北郡十和田村ニ生ル○十和田湖畔ニ於テ旅館、遊覽船、自動車營業ヲ爲ス、屢〻三本木町會議員、靑森縣會議員、同參事會員ニ選ハル、三本木產馬畜產組合總代會議員、同評議員、同畜產組合長、同產牛畜產組合長、上北郡水產會長、三本木消防組頭、同養蠶實行組合長、靑森縣養蠶組合代議員、保證責任利用組合上北病院組合長理事、同靑森縣購買販賣組合聯合會理事、三本木町農會總代、所得調查委員等タリ○當選二回（1920）

小笠原　三九郎

愛知縣第四區選出、立憲政友會
勳四等、會社重役

明治十八年四月愛知縣幡豆郡宅場村ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業「南洋紀要」「金買入法と金の諸問題」等ノ著アリ○株式會社臺灣銀行東京支店書記、同廣東支店長、同本店總務部助役、同取締役、株式會社華南銀行專務取締役、南洋倉庫株式會社監查役、臺灣土地開拓株式會社取締役社長、大和護謨栽培株式會社取締役トナル、現ニ昭南鐵業株式會社、南洋鐵鐵株式會社、株式會社松本商店各取締役、スマトラ拓殖株式會社、南洋鐵鐵株式會社各監查役タリ○當選二回（1820）

小高長三郎

千葉縣第三區選出、立憲政友會
勳四等、通信社長

明治二十三年十一月千葉縣山武郡蓮沼村ニ生ル、大倉商業學校卒業「立憲政友會史」七卷ヲ編纂「立憲政友會報國史」ノ著書アリ○自由通信社入社會計課勤務、外交部長、支配人ヲ經テ、現ニ同社々長ノ職ニ在リ、滿洲國ヲ視察ス○當選三回（1819 20）

小野寅吉

愛媛縣第二區選出、立憲民政黨
農、公吏

慶應二年十二月愛媛縣新居郡高津村ニ生ル、漢學ヲ修ム○高津村助役、同村長、新居郡農會議員、同郡會議員、同參事會員、愛媛縣會議員、同議長ニ擧ケラル、又帝國農會議員、全國蠶實行組合聯合會議員、同參事會員、同議長ニ擧ケラル、又帝國農會議員、愛媛縣農會議員、同耕地協會副會長、同蠶絲業中央會議員トナル、現ニ蠶絲業聯盟會議員、同耕地協會副會長、同蠶種配給統制組合長、高津神鄕耕地整理組合長、愛媛縣耕地協會副會長、東豫乾繭販賣利用組合長、全國乾繭組合聯合會代議員、同蠶種同業組合評議員、養蠶實行組合愛媛縣聯合會評議員、宇新米種煙草耕作聯合組合長、帝國水產會議員、高津村長、東豫蠶種株式會社々長、東豫製氷株式會社取締役等タリ○當選四回（15 16 19 20）

小野謙一

青森縣第二區選出、東方會
會社員

明治十九年八月弘前市ニ生ル、日本大學法律科ニ學フ「第八師團日露戰史」「滿蒙策論」ノ著書アリ○やまと新聞記者、同政治部長、太平洋通信社記者、同通信部長、同主幹、朝日製帽株式會社取締役、弘南鐵道株式會社顧問トナル、戶塚町會議員、同學務委員其他各種委員ニ選ハル、滿洲、シベリヤ及北支那ヲ視察ス○當選一回（20）

小野廉

大分縣第一區選出、立憲政友會
公吏

明治八年二月大分縣大分郡阿南村ニ生ル、東京法學院卒業○辯護士試驗ニ合格シ、辯護士ヲ開業ス、辯護士會長ニ推サル、大分日々新聞社長トナル、又屢〻大分市會議員、同參事會員、同議長ニ擧ケラル、現ニ別府市長タリ○當選二回（1920）

小串清一

神奈川縣第二區選出、立憲政友會
勳七等、農、會社員

小山倉之助

宮城縣第二區選出、立憲民政黨
從五位

明治九年六月神奈川縣鎌倉郡豐田村ニ生ル○屢〻豐田村會議員、鎌倉郡會議員、神奈川縣會議員ニ當選、縣參事會員、縣會議長ニ擧ケラル、縣農會副會長、戶塚町外三ケ村耕地整理組合議長、縣販買購買組合聯合會長、全國蠶組合聯合會長、帝國農會議員トナル、現ニ郡農會長、郡畜產組合聯合會長、縣蠶業組合副會長、縣畜產組合會長、縣耕地協會副會長、相模瓦斯株式會社取締役、江ノ島電氣鐵道株式會社監査役、橫濱畜產興業株式會社々長タリ、畜產事業調査ノ爲東洋各地ヲ視察ス○當選一回（20）

明治十七年三月宮城縣本吉郡氣仙沼町ニ生ル、東京帝國大學政治經濟科卒業○松田屋貿易株式會社支配人、日米信託株式會社總務課長、日信、九州林業、樺太合同產業、日本セメント各株式會社取締役、櫻護謨株式會社監査役トナル、商工大臣祕書官ニ任セラル、商工大臣祕書官トナル、帝國行政學會監査役、滿洲行政學會董事長タリ、英領蘭領印度、馬來半島、暹羅、英領南阿弗利加、南米諸國及北米合衆國ヲ視察ス○當選四回（16 17 19 20）

小山田義孝

秋田縣第二區選出、立憲政友會
正八位勳四等、農、公吏

明治二十九年十一月秋田縣仙北郡彊首村ニ生ル、早稻田大學專門部政治經濟科卒業○陸軍三等主計ニ任セラル、屢〻彊首村會議員、秋田縣會議員、同參事會員、彊首村長ニ推選セラル、又彊首村農會長、淀川村耕地整理組合長、秋田縣畜產組合總代會議員トナル、現ニ彊首村長タリ○當選三回（18 19 20）

尾崎行雄

三重縣第二區選出、第二控室
正三位勳一等

安政六年十一月神奈川縣津久井郡中野町ニ生ル、慶應義塾ニ學フ○統計院權少書記官、外務省參事官、文部大臣、司法大臣ニ歷任ス、東京市長ニ擧ケラル、又曩ニ新潟新聞、報知新聞、朝野新聞記者トナル、日本大博覽會評議員被仰付、歐米ニ漫遊ス、又列國議會同盟會議ニ參列ス○永年在職議員トシテ院議表彰セラル○當選二十回（1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20）

大石倫治

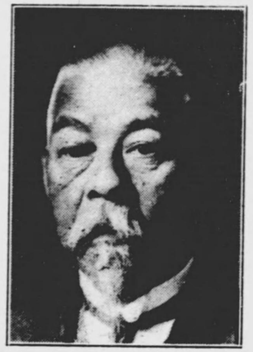
宮城縣第二區選出、立憲政友會
勳四等

明治十年六月仙臺市ニ生ル○東北自動車學校長トナル、仙臺市會議員ニ擧ケラル、又東北土地漆器株式會社專務取締役、大日本鑛泉株式會社監査役トナル○當選四回（17 18 19 20）

大石大

高知縣第一區選出、東方會
勳四等、農

明治十一年一月高知縣長岡郡長岡村ニ生ル、明治大學法律科卒業「非常時解消ト昭和維新ノ提唱」ノ著書アリ○小學校訓導、裁判所書記ヲ經テ、香川縣警部ニ被任、署長、高等警察課長等ニ被補、後下津井鐵道株式會社支配人、愛媛鐵道株式會社專務取締役、同社長、國東鐵道株式會社取締役、日本運動具株式會社々長、南海鑛業株式會社取締役トナル、又高知市會議員、同參事會員ニ擧ケラル、滿洲國ヲ視察ス○當選四回（14 15 19 20）



大竹貫一

新潟縣第三區選出、國民同盟
勳二等、農

萬延元年三月新潟縣南蒲原郡中之島村ニ生ル○新潟縣會議員、同常置委員ニ擧ケラル、議院建築準備委員會委員、關稅調査委員會委員被仰付○公益ノ爲私財寄附ノ廉ニ依リ藍綬褒章ヲ賜ハル○永年在職議員トシテ院議表彰セラル○當選十六回（3 4 5 7 8 9 10 11 12 13 14 16 17 18 19 20）

大內竹之助

茨城縣第二區選出、立憲政友會
會社員

明治二十一年十二月茨城縣多賀郡助川町ニ生ル○高鈴村會議員、助川町會議員、助川町會議員、茨城縣會議員、同縣農會議員、助川町消防組頭、同町長ニ擧ケラル、常陸セメント株式會社常務取締役タリ○當選一回（20）

大野一造

愛知縣第四區選出、立憲民政黨
會社重役

明治十八年四月愛知縣碧海郡刈谷町ニ生ル、東京高等工業學校卒業○南滿洲鐵道株式會社技師トナル、刈谷町長、愛知縣會議員、同郡部會議長、同議長ニ擧ケラル、現ニ刈谷町會議員、同町農會長、同町教育會長、同町商工會長、同青年團長、同消防組頭、碧海郡町村長會長、同教育會長、碧海郡聯合商工會副會長、三河鐵道株式會社取締役タリ○當選一回（20）

大野伴睦

岐阜縣第一區選出、立憲政友會
勳四等、著述業

明治二十三年九月岐阜縣山縣郡谷合村ニ生ル、明治大學竝早稻田大學ニ於テ法律、政治、經濟學ヲ學フ○東京市會議員ニ選ハレ、東京市竝財團法人勞資協調會等ノ囑託ニ依リ戰後ノ歐米ヲ視察ス、又派遣軍等慰問ノ爲滿洲及支那ニ派遣セラル、東京市名譽職表彰規定ニ依リ終身市會議員ノ待遇ヲ受ク○當選四回（17 18 19 20）

大口喜六

愛知縣第五區選出、立憲政友會
正五位勳二等、會社重役

明治三年五月豐橋市ニ生ル、東京帝國大學醫科大學藥學科ニ學フ「豐橋史談」ノ著書アリ○愛知縣會議員、豐橋市長、豐橋市會議員、同議長ニ擧ケラル、又馬政調査會、臨時財政經濟調査會各委員、道路會議々員、都市計畫愛知地方委員會、中央統計委員會各委員被仰付、東京化學工業、矢作水力、日本格魯謨各株式會社取締役其他數會社ノ重役タリ、支那朝鮮ヲ視察ス、大藏政務次官ニ被任、鐵道會議臨時議員、不當廉賣審査委員會、米穀委員會、關稅調査會、人口食糧問題調査會、國有財產調査會、神社制度調査會、政府貸付金處理委員會、其他數種ノ調査會、委員會委員被仰付、臨時物價對策委員會委員ヲ囑託セラル、南洋方面ヲ視察ス○當選九回（11 13 14 15 16 17 18 19 20）

大麻唯男

熊本縣第一區選出、立憲民政黨
正五位勳三等

明治二十二年七月熊本縣玉名郡梅林村ニ生ル、東京帝國大學法科大學政治科卒業○文官高等試驗ニ合格、山梨、山形、神奈川各縣警視、山形縣理事官、內務事務官、臨時震災救護事務局事務官、內務、外務各書記官、內閣總理大臣祕書官、文部參與官ニ歷任シ、臨時條約改正調査委員會幹事、體育運動審議會委員被仰付、西伯利亞及支那ヲ視察ス○羅馬尼皇帝ヨリ「エトアル・ド・ルーマニー」第五等勳章、佛蘭西政府ヨリ「コンマンドール・ドラゴン・ド・ランナン」勳章ヲ贈ラル○當選六回（15 16 17 18 19 20）

大島寅吉

北海道第三區選出、立憲民政黨
勳四等、會社員

明治八年二月新潟縣刈羽郡野田村ニ生ル、東京法學院卒業○舊領漁業ニ從事ス、函館硫安會社ヲ設立シ其ノ社長トナル、函館市會議員、北海道會議員、同參事會員、函館商工會議所議員、商事調停委員、債務調停委員ニ擧ケラル、大島合名會社々長タリ、都市計畫北海道地方委員會委員、度量衡制度調査會委員被仰付、派遣軍等慰問ノ爲滿洲及支那ニ派遣セラル○當選三回（1819 20）

大本貞太郎

愛媛縣第一區選出、立憲政友會
勳四等、會社員

明治十七年四月松山市ニ生ル○松山商業會議所議員、同特別會員、愛媛縣會議員、同副議長ニ擧ケラル、現ニ伊豫新報社々長、伊豫鐵道電氣會社副社長、伊豫銀行取締役、合資會社弘文社代表社員、松山商工會議所顧問タリ○當選三回（1819 20）

太田理一

長崎縣第一區選出、立憲政友會
新聞社主筆

明治二十七年十一月長崎縣南高來郡多比良村ニ生ル○朝鮮銀行本店ニ勤務ス、島原町會議員、同學務委員、島原商工會評議員ニ選ハル、金錢債務臨時調停委員トナル、現ニ長崎民友新聞社主筆タリ○當選一回（20）

太田正孝

靜岡縣第三區選出、立憲政友會
正五位勳四等、經濟學博士、官吏

明治十九年十一月靜岡縣磐田郡二俣町ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○文官高等試驗ニ合格ス、副司稅官、稅關副事務官、大藏省主計官ニ歷任シ、板橋稅務署長、神戸稅關總務課長ヲ命セラル、後報知新聞社副社長、中央大學教授トナル、大藏參與官ニ任セラル、中央諸官衙建築準備委員會委員、關稅調査委員會委員被仰付、特別金融制度調査會委員被命、內閣調査局參與被仰付、又金融評議會委員ヲ被命、再度歐米各國ヲ巡遊ス、現ニ大藏政務次官タリ○當選四回（17 18 19 20）

岡田春夫

北海道第四區選出、立憲民政黨

農、

明治二十年三月函路市ニ生ル、關西大學法律科卒業○北海タイムス政治部記者トナル、美唄町會議員、三度北海道會議員、同參事會員、北海道地方稅制調査會委員ニ選任セラル、我路消防組頭、大日本消防協會代議員、同北海道支部理事、帝國在鄉軍人會美唄炭山分會顧問、青年會長、大日本家畜商組合聯合會理事、北海道家畜商組合聯合會長、株式會社我路卸賣市場社長、美唄町農會長タリ、木材業ヲ兼業ス、朝鮮滿洲南北支那ヲ視察ス○當選三回（17 19 20）

岡田忠彦

岡山縣第一區選出、立憲政友會

從四位勳二等

明治十一年三月岡山市ニ生ル、東京帝國大學法科大學政治科卒業、「南支那ノ一瞥」「旋風裡ノ歐米」ノ著書アリ○文官高等試驗ニ合格ス、靜岡、大分、奈良各縣事務官ニ任セラレ、又山口、熊本各縣參事官、長崎縣、東京府各內務部長、埼玉、長野、熊本各縣知事、內務省警保局長ニ歷任ス、社會局參與、被仰付、又東京市助役トナル、都市計畫岡山地方委員會委員、寺院境內地讓與審查會委員、資源審議會委員、法制審議會臨時委員、紀元二千六百年祝典評議委員會委員、議院制度調查會委員、紀元二千六百年祝典評議委員會委員、議院制度調查會委員被仰付、曩ニ哈爾賓及浦鹽斯德へ出張被仰付、列國議會同盟會議竝萬國議院商事會議ニ參列シ歐米各國ヲ視察ス○曩ニ衆議院副議長タリ○當選六回（15 16 17 18 19 20）

岡田喜久治

栃木縣第一區選出、立憲民政黨

從五位勳四等

明治二十二年七月栃木縣芳賀郡清原村ニ生ル、東京帝國大學法科大學政治學科卒業○文官高等試驗ニ合格、宮城縣屬、同縣志田郡長、北海道廳、石川縣、警視廳各理事官、三重、宮崎、岐阜各縣書記官ニ歷任シ、其間警視廳保安、工場、外事、特別高等課長、三重縣警察部長、宮崎縣警察部長、內務部長ニ補セラル、又京都市助役トナル、社會保險調查會委員被仰付、列國議會同盟會議ニ參列シ歐米各國ヲ視察ス○當選三回（18 19 20）

岡野龍一

福岡縣第三區選出、立憲民政黨

著述、出版業

明治二十六年七月廣島市ニ生ル○曩ニ雜誌「日本及日本人」記者トナル、又我觀社理事トナリ專ラ經營ノ衝ニ當レリ、現ニ日本講演通信社々長タリ、圖書出版「良山閣」ヲ創立經營ス、滿洲國、北支那南洋群島等ヲ視察ス○當選二回（17 20）

岡田春夫

北海道第四區選出、立憲民政黨

農、

明治二十年三月廻路市ニ生ル、關西大學法律科卒業○北海タイムス政治部記者トナル、美唄町會議員、三度北海道會議員、同參事會員、北海道地方稅制調査會委員ニ選任セラル、我路消防組頭、大日本消防協會代議員、同北海道支部理事、帝國在鄉軍人會美唄炭山分會顧問、青年會長、大日本家畜商組合聯合會理事、北海道家畜商組合聯合會長、株式會社我路卸賣市場社長、美唄町農會長タリ、木材業ヲ兼業ス、朝鮮滿洲南北支那ヲ視察ス○當選三回（17 19 20）

岡田忠彦

岡山縣第一區選出、立憲政友會

從四位勳二等

明治十一年三月岡山市ニ生ル、東京帝國大學法科大學政治科卒業、「南支那ノ一瞥」「旋風裡ノ歐米」ノ著書アリ○文官高等試驗ニ合格ス、靜岡、大分、奈良各縣事務官ニ任セラレ、又山口、熊本各縣參事官、埼玉、長野、長崎縣、東京府各內務部長、參與、被仰付、又東京市助役トナル、都市計畫岡山地方委員會委員、寺院境內地讓與審查會委員、資源審議會委員、法制審議會委員、紀元二千六百年祝典評議委員會委員、議院制度調查會委員、臨時委員、被仰付、曩ニ哈爾賓及浦鹽斯德へ出張被仰付、列國議會同盟會議竝萬國議院商事會議ニ參列シ歐米各國ヲ視察ス○曩ニ衆議院副議長タリ○當選六回（15 16 17 18 19 20）

岡田喜久治

栃木縣第一區選出、立憲民政黨

從五位勳四等

明治二十二年七月栃木縣芳賀郡清原村ニ生ル、東京帝國大學法科大學政治學科卒業○文官高等試驗ニ合格、宮城縣屬、同縣志田郡長、北海道廳、石川縣、警視廳各理事官、三重、宮崎、岐阜各縣書記官ニ歷任シ、其間警視廳保安、工場、外事、特別高等各課長、三重縣警察部長、宮崎縣警察部長、內務部長ニ補セラル、又京都市助役トナル、社會保險調查會委員被仰付、列國議會同盟會議ニ參列シ歐米各國ヲ視察ス○當選三回（18 19 20）

岡野龍一

福岡縣第三區選出、立憲民政黨

著述、出版業

明治二十六年七月廣島市ニ生ル○曩ニ雜誌「日本及日本人」記者トナル、又我觀社理事トナリ專ラ經營ノ衝ニ當レリ、現ニ日本講演通信社々長タリ、圖書出版「良山閣」ヲ創立經營ス、滿洲國、北支那南洋群島等ヲ視察ス○當選二回（17 20）

岡崎憲

神奈川縣第一區選出、社會大衆黨

神奈川縣第一區選出、社會大衆黨
從六位、水先案内

明治十三年十一月仙臺市ニ生ル、東京高等商船學校卒業○甲種船長免狀ヲ授與セラレ、天洋丸、春洋丸船長トナル、海軍豫備少佐ニ任セラル、第二回國際勞働總會勞働委員、第三回同會勞働顧問ヲ命セラル、東京灣水先區水先免狀授與、其業務ニ從事ス○當選二回(1920)

岡崎久次郎

神奈川縣第三區選出、立憲民政黨

神奈川縣第三區選出、立憲民政黨
勳四等、會社重役

明治七年一月橫濱市ニ生ル、東京高等商業學校卒業「蠶業國策樹立論」ノ著書アリ○東京商業會議所議員ニ擧ケラルルコト四回、大日本自轉車株式會社、株式會社日米商店各社長、昭和絹靴下、北海水力電氣株式會社各取締役其他數會社ノ重役ニシテ私財ヲ投シ財團法人「光之村」ヲ創立其理事タリ、國際貸借審議會委員、關稅調査委員會委員被仰付、屢〻歐米各國ヲ漫遊ス○當選六回(11 12 16 17 19 20)

岡本實太郎

愛知縣第四區選出、立憲民政黨

愛知縣第四區選出、立憲民政黨
正五位勳三等、辯護士

明治十四年六月愛知縣西加茂郡猿投村ニ生ル、明治法律學校卒業○文官高等試驗、判檢事登用試驗ニ合格ス、司法官試補ヲ被命、後煙草專賣局屬、專賣局事務官、同主事、同參事ニ歷任、熊本、尾道、坂出、金澤、廣島各專賣支局長ニ被補、後日本硬質陶器株式會社常務取締役トナル、農林參與官ニ被任、鐵道會議々員、國有財産調査會委員、林野整備調査會委員、農林審議會委員、米穀調査會委員被仰付、又辯護士法改正法律實施準備委員ヲ囑託セラル、日本辯護士協會理事、日滿法曹協會理事タリ、衆議院海外視察團長トシテ南洋、比島、蘭領東印度、南支方面ヲ視察ス○當選五回(15 16 17 19 20)

沖島鎌三

島根縣第二區選出、立憲政友會

島根縣第二區選出、立憲政友會
從五位勳四等

明治十八年三月島根縣那賀郡松山村ニ生ル、日本大學法科專門部卒業○樺太合同運輸株式會社、東白浦炭礦株式會社各取締役、株式會社豐北木工場取締役社長、樺太製藥株式會社各監査役、豐原町商業會議所特別議員、樺太日日新聞社長、樺太電氣株式會社監査役トナル、農林大臣祕書官ニ被任、慰問ノ爲滿洲國ニ派遣セラル○當選三回(16 18 20)

若宮貞夫

兵庫縣第五區選出、立憲政友會
從三位勳二等

明治八年一月兵庫縣城崎郡豐岡町ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○遞信書記官、海事局長兼地方海員審判所長、遞信省參事官、遞信局長、遞信省管船局長、高等海員審判所長、遞信次官、陸軍政務次官ニ歷任、軍需局參與、國政院參與、臨時條約改正調査委員會委員、幹事、帝國經濟會議々員被仰付、曩ニ東京帝國大學法科經濟科講師トナル、鐵道會議臨時議員、臨時海事法令調査會、社團法人電信協會々長、同協會監理無線電信技術者講習所長トナル、製鐵事業評價審査會委員、度量衡制度調査會委員、小運送制度調査會委員ヲ委囑セラル○當選六回（15 16 17 18 19 20）

渡邊玉三郎

愛知縣第三區選出、立憲民政黨
毛織物製造業

明治十七年一月愛知縣中島郡起町ニ生ル○起町商工會長、尾西織物同業組合組長、愛知縣織物同業組合聯合會組長、日本織物中央會副會頭、全國工業組合中央會幹事トナル、愛知縣會議員、同參事會員、所得調査委員ニ選ハル、又再度起町長ニ就任ス、起町農會長、尾西セル工業組合理事長、工業組合中央會監事、尾西織物同業組合相談役、同毛織工業組合顧問、大日本毛織工業組合聯合會顧問、愛知縣毛織工業振興委員會委員、保證責任起町信用販賣購買利用組合長タリ、米國及滿洲國ヲ視察ス○當選二回（19 20）

渡邊泰邦

北海道第三區選出、東方會
會社員

明治二十四年八月函館市ニ生ル、早稻田大學ニ學フ○函館區會議員、同市會議員ニ選ハル、支那及歐米各國ヲ視察ス○當選三回（17 19 20）

加藤知正

新潟縣第三區選出、立憲政友會
勳四等、出版業

明治六年十一月新潟縣古志郡下鹽谷村ニ生ル、東京高等蠶絲學校卒業「蠶業大辭書」「蠶業經濟論」其ノ他數種ノ著書アリ○北越蠶業講習所教頭、大日本蠶絲會編輯主任、同會參事兼技師、蠶絲組合中央會議員トナル、大日本蠶絲會理事、帝國蠶絲株式會社監査役タリ、又會長、東京高等蠶絲學校講師、帝國蠶絲株式會社長トシテ教育雜誌、圖書ノ刊行ニ從事ス、農林省蠶絲委員會委員ヲ囑託セラル、輸出生絲販賣統制調査會委員被仰付、支那蠶業ヲ視察ス、又列國議會同盟會議ニ參列シ歐米各國ヲ視察ス○當選五回（15 16 17 18 20）

加藤鐐造

岐阜縣第三區選出、社會大衆黨
農

明治三十二年八月岐阜縣土岐郡妻木町ニ生ル○有限責任妻木信用組合理事、妻木下石防疫組合會議員、土岐郡電氣事業組合會議員トナル、又妻木村會議員、同町會議員、岐阜縣會議員、同參事會員ニ選ハル○當選一回(20)

加藤勘十

東京府第五區選出、第二控室
著述業

明治二十五年二月愛知縣丹羽郡岩倉町ニ生ル、日本大學專門部法科ニ學フ、「階級戰の先頭を行く」「ストライキ戰術」「統一戰線の展望」「轉換機のアメリカ」ノ著書アリ○陸軍上等看護卒トシテシベリアニ出征、陸軍三等看護長ヲ被命、後雜誌勞働世界記者、東京新聞從業員組合革進會、日本機械技工組合各顧問、全日本鐵夫總聯合會本部書記調査部主任、日本勞働總同盟本部、日本鐵夫組合本部各主事兼會計、關東金屬産業勞働組合長等トナル、日本勞働組合全國評議會中央執行委員長、東京市會議員タリ、日米勞働者親善ノ爲米國勞働團體ノ招聘ヲ受ケ渡米ス○當選二回(1920)

加藤鯛一

愛知縣第三區選出、立憲民政黨
勳四等

明治二十一年六月愛知縣丹羽郡岩倉町ニ生ル「大宰相濱口雄幸」「躍進日本の政治動向」「議會制度改革論」「新時代に處する國策を論ず」其他數種ノ著書アリ○雜誌「實業帝國」ヲ創刊シ其ノ社長兼主筆、東京政治通信社々長トナル、又社團法人大日本國防義會ヲ設立シ現ニ其評議員タリ、支那及滿洲ヲ視察ス○當選六回(15 16 17 18 19 20)

加藤久米四郎

三重縣第一區選出、立憲政友會
正五位勳三等、官吏

明治十七年六月三重縣桑名郡大山田村ニ生ル、日本大學大學部法律科卒業○多年日本大學幹事タリ、內務大臣秘書官ニ任セラルルコト三度、後內務參與官、拓務政務次官ニ任セラル、又明治神宮造營局參事、社會事業調査會幹事、中央衞生會、保健衞生調査會、特別都市計畫中央委員會、都市計畫委員會、險調査會、人口食糧問題調査會、預金部資金運用委員會、關稅調査會、南洋拓殖株式會社設立委員、其他數種ノ調査會、委員會ノ委員ヲ被仰付、桑名郡及桑名市男女聯合青年團長、財團法人名古屋藥學專門學校理事長トナル、現ニ陸軍政務次官タリ○當選七回(14 15 16 17 18 19 20)

川副隆

長崎縣第二區選出、立憲民政黨

明治二十二年四月佐賀縣西松浦郡伊萬里町ニ生ル、東京帝國大學法科大學政治科卒業○三菱商事株式會社員トナリ漢口出張所長、神戸船舶部長代理トナル、又漢口日本居留民團行政委員ニ推サル、現ニ佐世保商工會議所議員、株式會社佐世保商業銀行、同佐世保漁市場、神戸會陽汽船、共榮土地各株式會社取締役、株式會社西海製作所、九北運輸合資會社各社長、株式會社金子組監査役タリ○當選一回(20)

川村保太郎

大阪府第四區選出、社會大衆黨

勞働組合會役員

明治二十七年三月大阪府中河内郡小坂町ニ生ル○大阪工廠職工トナリ勞働組合向上會、官業勞働總同盟ヲ組織シ其ノ主事トナル、再度大阪市會議員ニ選ハレ現ニ其ノ職ニ在リ、大阪府失業防止委員、同社會事業統制委員、借地借家調停委員、金錢債務調停委員、商事調停委員、社民病院ヲ創立シ其委員、消費組合共益社理事タリ、曩ニ國際勞働總會顧問、同代表委員ニ選出セラル、又大阪市職業紹介委員トナル、職業紹介委員會委員被仰付○當選二回(1920)

川俣清音

秋田縣第二區選出、社會大衆黨

著述業

明治三十二年四月北海道余市郡余市町ニ生ル、早稻田大學專門部法科卒業、「農村綱領」「鐵煙毒賠償論」ノ著書アリ○建設者同盟ヲ組織農民啓蒙運動ニ携ハリ、雜誌建設者ヲ發行ス、又有馬農村問題研究所研究員トナル、新聞「農民運動」ヲ發行ス、全國農民組合中央委員、同執行委員長タリ、東北振興電力株式會社設立委員被仰付○當選二回(1920)

川合直次

新潟縣第四區選出、立憲民政黨

勳三等、農

明治七年二月新潟縣中頸城郡直江津町ニ生ル、「高田市民讀本」ノ著アリ○郡會議員、同參事會員、縣會議員ニ擧ケラル、又三度高田市長ニ就任ス、株式會社直江津商業銀行專務取締役、同直江津米穀取引所理事、直江津商業會議所特別議員、高田商工會議所顧問、高田市農會長、高田市教育會長、同市聯合青年會長、高田少年團長、高田スキー團長、新潟縣體育協會副會長、同縣臨時教育調査會委員トナル○當選四回(11 12 19 20)

川崎　克

三重縣第一區選出、立憲民政黨
從四位勳三等

明治十三年十二月三重縣阿山郡上野村ニ生ル、日本大學卒業、後東京外國語學校ニ於テ佛語ヲ專攻ス「經濟界ノ黎明」「伊賀及信樂」ノ著書アリ○日本新聞記者、朝鮮元山民團長、元山時事新報主幹兼主筆トナル、後陸軍參與官、遞信參與官、司法政務次官ニ任セラル、法制審議會委員、衆議院議員選舉革正審議會委員、米穀統制調査會委員、預金部資金運用委員會委員、神宮關係施設調査會委員被仰付○當選九回（12 13 14 15 16 17 18 19 20）

か（川）

川崎　巳之太郎

茨城縣第二區選出、立憲政友會
著述業

明治六年十一月茨城縣久慈郡坂本村ニ生ル、明治學院卒業、後米國ニ留學ス○日刊新聞「世界之日本」ノ編輯長トナリ、月刊雜誌「天地人」ヲ發行ス、又米國桑港ニ於テ邦字新聞「日米」ヲ創刊ス、日本植民會社ヲ設立シ主事、大阪每日、報知新聞社北米特派員、警保局及社會局囑託トナル、米國華府ニ開催ノ第一回國際勞働總會ニ政府隨員トシテ派遣セラル○當選二回（15 20）

川崎　末五郎

京都府第二區選出、立憲民政黨
從四位勳四等、農學士

明治二十五年二月京都市ニ生ル、鹿兒島高等農林學校、京都帝國大學法科大學政治學科卒業「フアシズムの國家觀念」ノ飜譯アリ○文官高等試驗ニ合格ス、愛知縣土木技手、警視廳警部、東京府屬、內務屬、福島縣相馬郡長、兵庫縣警視（外事課長）、臺灣總督府事務官兼參事官（警保局保安課長）、同理事官、朝鮮總督府事務官兼警察講習所長、同道事務官（全羅北道、咸鏡南道各警察部長）、內務事務官、同書記官（警保局圖書課長、同高等課長）、兵庫縣書記官（學務部長）、福島縣知事ニ歷任シ此間大阪地方職業紹介委員會委員、警保委員會委員ヲ命セラル、宗教制度調査會委員被仰付、歐米各國ヲ視察ス○當選二回（19 20）

川島　正次郎

千葉縣第一區選出、立憲政友會
正五位勳四等

明治二十三年七月東京市ニ生ル、專修大學經濟科卒業○內務屬ニ任セラルヽ、東京市主事ニ被任、東京市商工課長ニ補セラル、又東京日日新聞記者トナル、海軍參與官ニ任セラル、列國議會同盟會議ニ參列シ歐米各國ヲ視察ス○當選五回（16 17 18 19 20）

河合義一

兵庫縣第三區選出、社會大衆黨

農

明治十五年三月兵庫縣加古郡高砂町ニ生ル、東京外國語學校佛語科卒業○日本銀行員トナル、又日本農民組合東播聯合會長ニ推サル、屢〻高砂町會議員ニ選ハル○當選一回（20）

河上丈太郎

兵庫縣第一區選出、社會大衆黨

辯護士

明治二十二年一月東京市ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○文官高等試驗ニ合格、立教大學講師、明治學院高等學部講師、關西學院敎授、勞働災害扶助責任保險審査委員、內閣調査局專門委員トナル、又議院制度調査會委員、資源審議會委員被仰付○當選三回（16 19 20）

河上哲太

愛媛縣第二區選出、立憲政友會

正五位勳四等

明治十四年十月愛媛縣周桑郡安村ニ生ル、東京高等商業學校卒業○國民新聞社經濟部長トナル、文部參與官ニ任セラル、又宗敎制度調査會委員、社會事業調査會委員被仰付、歐米ニ漫遊ス、又支那滿洲ヲ視察ス○當選八回（13 14 15 16 17 18 19 20）

片岡恒一

三重縣第一區選出、立憲民政黨

米穀商

明治二十九年四月三重縣三重郡富洲原町ニ生ル、早稻田大學政治經濟科卒業○名古屋新聞記者トナル、三度三重縣會議員ニ擧ケラル○當選二回（19 20）

片山哲

神奈川縣第二區選出、社會大衆黨
辯護士

明治二十年七月和歌山縣西牟婁郡田邊町ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○東京女子大學講師トナル、勞働者災害扶助責任保險審査委員會委員、選擧制度調査會委員被仰付、財團法人賛育會理事、學生消費組合監事、日本農民組合總同盟委員長、全日本勞働總同盟法律部長タリ○當選三回（17 19 20）

勝正憲

福岡縣第四區選出、立憲民政黨
正四位勳二等

明治十二年五月福岡縣田川郡香春町ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○稅務監督局事務官、稅務監督官、松江、長崎、鹿兒島、長野、仙臺、東京各稅務監督局長、函館稅關長、大藏書記官、同參事官、海外駐劄財務官、大藏參與官、商工政務次官ニ歷任ス、東京市助役トナル、國有財産調査會、中央諸官衙建築準備委員會、寺院境内地讓與審査會、關稅調査會、公私經濟緊縮委員會、不當廉賣審査委員會、統制委員會、關稅委員會、百貨店委員會、瓦斯事業委員會、米穀對策調査會、國産振興委員會、東北振興調査會、度量衡制度調査會各委員被仰付、○當選五回（16 17 18 19 20）

勝田永吉

大阪府第五區選出、立憲民政黨
正五位勳四等、官吏

明治二十一年十一月大阪府三島郡富田町ニ生ル、東京帝國大學獨逸法律科卒業○大日本體育協會、日本庭球協會、大阪體育協會ノ各理事ニシテ加島信託株式會社監査役、富山紡績株式會社、内外食品株式會社、臺灣鳳梨株式會社各取締役トナル、又大阪辯護士會副會長ニ擧ケラル、國際觀光委員會委員被仰付、内務參與官ニ被任、中央衞生會、勞働保險調査會、法制審議會、都市計畫中央委員會各臨時委員、保健衞生調査會、神社制度調査會、失業對策委員會各委員、土木會議議員被仰付、現ニ内務政務次官タリ、選擧制度調査會委員被仰付○當選五回（16 17 18 19 20）

金井正夫

鹿兒島縣第三區選出
從六位勳四等、官吏

明治二十五年二月鹿兒島縣大島郡龍郷村ニ生ル、京都帝國大學法學部卒業「實例破產手續詳解」「實例和議手續詳解」ノ著書アリ○司法官試補、豫備判事ヲ經テ判事ニ任セラレ大阪地方裁判所兼大阪區裁判所判事ニ補セラル、後辯護士ヲ開業、關西大學講師トナル、現ニ鐵道參與官タリ、國際觀光委員會委員被仰付南洋方面ヲ視察ス、○當選三回（18 19 20）

金光庸夫

大分縣第一區選出、立憲政友會
勳三等、會社重役

明治十年三月大分縣宇佐郡高家村ニ生ル○嚢ニ東京商工會議所副會頭タリ、第十五回國際勞働總會使用者代表トシテ瑞府ニ派遣サレ國際資本團副議長ニ擧ケラル、現ニ東京商工會議所常議員、財團法人鐵道同志會理事、同生命保險會社協會理事、東亞煙草株式會社、京王電氣軌道株式會社、日本人造羊毛株式會社、大正生命保險株式會社、日本教育生命保險株式會社、日田金山株式會社各社長、朝鮮鐵道株式會社、東京高速鐵道株式會社、玉川電氣鐵道株式會社、南武鐵道株式會社、東都乘合自動車株式會社監査役タリ、中央統計委員會委員、土木會議議員被仰付○當選七回（14 15 16 17 18 19 20）

笠井重治

山梨縣選出、第二控室
出版印刷業

明治十九年七月山梨縣南巨摩郡西島村ニ生ル、米國シヤトルハイスクール竝シカゴ大學政治經濟科卒業後ハーバード大學院ニ國際法外國史ヲ專攻ス○滯米中排日對抗運動ニ從事シ全米ヲ講演行脚ス、歸朝後日米關係委員會理事トナル、又國際勞働會議資本家代表顧問トシテ同會議ニ參列ス、又英米訪問實業團ニ加ハリ英米ヲ訪問後世界各國ヲ歷訪ス、東京市會議員、同參事會員ニ選ハル、滿洲、蒙古、南北支那ノ政情ヲ視察シ、又渡米滿蒙問題ニ關スル反日感情融和ニ努ム、羅府開催國際オリンピック大會ニ東京市オリンピック招致委員トシテ出席ス、國際出版印刷社ヲ創立シ現ニ其社長タリ、列國議會同盟會議ニ參列ス○當選二回（19 20）

風見章

茨城縣第三區選出
正五位勳三等、官吏

明治十九年二月茨城縣結城郡水海道町ニ生ル、早稻田大學政治經濟科卒業○大阪朝日新聞記者、國際通信主筆、信濃毎日新聞主筆兼取締役トナル、現ニ內閣書記官長タリ、臨時物價對策委員會特別委員ヲ被命、資源審議會委員、中央統計委員會委員、東北振興調査會委員、國際觀光委員會委員、對支文化事業調査會委員、紀元二千六百年祝典評議委員會委員、貴族院制度調査會委員、選擧制度調査會委員、中央諸官衙建築準備委員會委員被仰付○當選四回（17 18 19 20）

龜井貫一郎

福岡縣第二區選出、社會大衆黨
正七位勳四等

明治二十五年十一月東京市ニ生ル、東京帝國大學法科大學政治科卒業○領事官補ニ被任、天津及「ニューヨーク」駐劄被命、外務事務官ニ任セラル、又日本電報通信社囑託トナル、慶應義塾高等部教員タリ○當選四回（16 18 19 20）

漢那憲和

沖繩縣選出、立憲民政黨
從四位勳二等功五級

明治十年九月那覇市ニ生ル、海軍兵學校、海軍大學校甲種學生教程卒業○海軍少尉ヨリ累進同少將ニ被任、其間軍艦音羽航海長トシテ日露役日本海々戰ニ從軍ス、後海軍兵學校教官、同軍令部參謀兼海軍大學校教官、軍艦對馬、香取、扶桑、伊勢各艦長、横須賀防備隊司令ニ被補、對馬艦長トシテ南阿弗利加海面ニ出征日英共同作戰ニ從事ス、又香取艦長トシテ皇太子殿下海外御巡遊ノ際御召艦長ヲ奉仕ス、軍事視察ノ爲歐米各國ヲ視察、南北米、比島方面ヲ巡遊ス○英國ブリティッシュ・エムパイア三等勳章及ヴイクトリア三等勳章、佛國レジョン・ドノール四等勳章、伊國サンモーリス三等勳章ヲ贈ラル○當選四回（16 17 19 20）

菅野善右衞門

福島縣第一區選出、立憲政友會
勳四等、農

明治十七年四月福島縣伊達郡福田村ニ生ル、福島縣立蠶業學校卒業○伊達郡福田村會議員、福田村長、伊達郡會議員、福島縣會議員、同參事會員、福島稅務署管內土地賃貸價格調査委員ニ選ハル、公立福島病院組合會議員、蠶絲會中央會議員、福島縣農會副會長トナル、現ニ伊達郡農會長、福島縣農會常務顧問タリ、支那、朝鮮ヲ視察ス○當選四回（16 18 19 20）

簡牛凡夫

福岡縣第一區選出
從五位

明治二十七年一月福岡縣糸島郡可也村ニ生ル、早稻田大學政治經濟科卒業、後獨逸ニ留學、經濟學、社會學、歷史ヲ研究ス○農林省囑託、遞信省囑託トナル、又大藏大臣祕書官ニ任セラル、可也村長トナル○當選二回（17 20）

依光好秋

高知縣第二區選出、立憲政友會
正六位勳四等

明治二十七年八月高知縣幡多郡奧內村ニ生ル、專修大學經濟部及東京貿易語學校露語科卒業○東京每夕新聞、讀賣新聞各政治部記者トナル、朝鮮總督府祕書課主管事務囑託、內閣總務課囑託トナル、朝鮮總督祕書官ニ任セラル、產業組合新報社長、滿洲安東省金廠鐵山會社常務取締役タリ○當選二回（18 20）

米窪滿亮

兵庫縣第二區選出、社會大衆黨

正八位、著述業

明治二十一年九月長野縣東筑摩郡鹽尻町ニ生ル、東京高等商業學校卒業○松昌洋行ニ入社、影島丸二等運轉士ニ就任、後川崎造船所船部ニ入社ス、又五光商會ニ入社、皐月丸一等運轉士、同商會新嘉坡支店長、同大和丸船長、日本海員組合編輯部長、同庶務部長、同教育出版部長、同國際部長、同副組合長、日本勞働組合會議書記長、亞細亞勞働會議主事、國際勞働總會ニ勞働顧問或ハ勞働代表トシテ三回及勞働理事或ハ聯合海事委員トシテ三回壽府會議ニ出席ス○當選一回（20）

横川重次

埼玉縣第二區選出、立憲政友會

從五位勳四等、農

明治二十七年十一月埼玉縣比企郡大河村ニ生ル、早稻田大學哲學科卒業後伯林大學ニ於テ社會學ヲ專攻ス○大河村會議員、同村學務委員ニ擧ケラル、大河村信用組合長、武州本場絹織物同業組合長、比企郡繭販賣利用組合長、同郡蠶絲業團體聯合會長、第八十五銀行取締役、小川無盡株式會社々長、小川本場絹織物工業組合理事長、全國乾繭販賣購買組合聯合會副會長トナル、商工大臣秘書官ニ任セラル、大河村會議員タリ○當選五回（15 17 18 19 20）

吉植庄亮

千葉縣第二區選出、立憲政友會

農

明治十七年四月千葉縣印旛郡本埜村ニ生ル、東京帝國大學法學部經濟學科卒業、歌集「寂光」「煙霞集」「さくらは」「吉植庄亮集」ノ著アリ○中央新聞文藝部長トナル、本埜村下井、埜原及安食町大洲各耕地整理組合長、本埜村農會議員、同會長、同村會議員、印旛郡農會代議員、同耕地協會長、印旛沼水害豫防組合會議員、同治水會長、千葉縣耕地協會評議員、本埜村產業組合創立委員長ニ選ハル、日本歌人協會常務委員タリ、歌雜誌橄欖ヲ發行主宰ス、又原野開墾事業ヲ營ミ水田六十二町歩、畑六町歩ヲ完成、後山形、富山、兵庫、千葉各縣ヨリ移民ヲ入レ自作ヲ十五町歩ニ減ス、農村青年學校ヲ創設ス○當選二回（1920）

田原春次

福岡縣第四區選出、社會大衆黨

教師

明治三十三年七月福岡縣京都郡行橋町ニ生ル、早稻田大學專門部法律科卒業後米國デンヴア大學文理科及ミズリー州立大學新聞科卒業「パチエラ、オヴ、ジャナリズム」ノ學位ヲ受ク「宗教新聞ノ研究」「アメリカ大學案內」「南アメリカ移住案內」ノ著書アリ○一年志願兵トシテ近衞步兵第四聯隊ニ入隊步兵伍長ニ任セラル、東京朝日新聞社員トナル、雜誌「新青年」社囑託タリ、又九州勞働學校ニ於テ政治學ヲ擔任ス○當選一回（20）

田川大吉郎

東京府第三區選出、第二控室

著述業

明治二年十月長崎縣東彼杵郡西大村ニ生ル、東京專門學校卒業「英國の王室及議會」「政黨及政黨史」「都市政策汎論」「社會改良論」「記者タリ○多年報知新聞、都新聞「銀行國營論」其他數種ノ著書アリ、陸軍通譯トシテ日清日露ノ役ニ從軍ス、東京市助役、財團法人明治學院理事、同總理、東京商科大學講師トナル、又司法省參政官ニ任セラル、議院制度調査會委員被仰付○當選八回（10 11 12 14 15 17 19 20）

田邊七六

山梨縣選出、立憲政友會

正五位勳四等、酒造業、會社重役

明治十二年三月山梨縣東山梨郡七里村ニ生ル○東北電力株式會社常務取締役、中央電力株式會社專務取締役タリ、輸出生絲統制調査會委員被仰付、農林政務次官ニ任セラレ、東北振興調査委員會委員、關稅調査委員會委員、米穀統制委員會委員、不當廉賣審査委員會委員、馬政調査會委員被仰付、農村經濟更生中央委員會委員ヲ命セラル○當選六回（15 16 17 18 19 20）

田中亮一

佐賀縣第一區選出、立憲政友會

勳四等、農

明治二十三年八月佐賀縣神埼郡千歳村ニ生ル、早稻田大學政治經濟科卒業○千歳村長、同村農會長、同村耕地整理組合長、同村產業組合監事、神埼郡農會長、同養蠶業組合聯合會長、肥前麵業株式會社長、肥筑軌道株式會社取締役トナル、神埼郡會議員、佐賀縣會議員、同參事會員ニ擧ケラル、佐賀地方森林會議員タリ○當選四回（16 18 19 20）

田中養達

滋賀縣選出、東方會

醫

明治十八年六月滋賀縣犬上郡南青柳村ニ生ル、愛知縣立醫學專門學校卒業後京都帝國大學產婦人科教室ニ研究ス○坂田郡會議員、滋賀縣會議員、同參事會員ニ擧ケラル○當選五回（15 16 17 19 20）

田中武雄

兵庫縣第四區選出、立憲民政黨
正五位勳四等

明治二十一年六月東京市ニ生ル、青山學院高等科修業後歐米ニ留學ス○陸軍歩兵中尉ニ任セラル、對支文化事業調査會委員、國際觀光委員會幹事及同委員、關稅調査會委員、米穀對策調査會委員等被仰付、大正九年以後數回ニ渉リ在米同胞ノ問題ニテ渡米ス、又列國議會同盟會議及同評議員會、汎太平洋商業會議ニ參列シ右評議員タリ、又岩見銀行頭取、姫路銀行、廣銀行取締役、東京政情通信社々長タリシコトアリ、曩ニ鐵道大臣秘書官、外務參與官、拓務政務次官ニ任セラル、臺灣拓殖株式會社設立委員、鐵道會議議員被仰付○當選六回（14 15 17 18 19 20）

田中邦治

長野縣第一區選出、立憲民政黨
農

明治十六年十月長野縣上高井郡須坂町ニ生ル○屢ゝ須坂町會議員、上高井郡會議長、縣會副議長、長野縣會議員、同參事會員ニ選ハレ、郡會議長、縣臨時財政調査會委員、都市計畫委員、家屋稅調査委員、消防組頭等トナル、現ニ都市計畫委員會委員、須坂町庶民信用販賣利用組合長、長野電鐵株式會社、長野溫泉自動車株式會社各監査役ニシテ須坂町長タリ○當選二回（1920）

田中万逸

大阪府第五區選出、立憲民政黨
勳四等、農

明治十五年九月大阪府南河內郡富田林町ニ生ル、大阪府農學校卒業後早稻田大學ニ學フ「皇宮」「雲上祕錄」其他數種ノ著書アリ○多年報知新聞記者タリ、又早稻田鐵山株式會社取締役、石切土地建物會社監査役トナル、小作調査會委員ヲ命セラル、現ニ大日本皇道奉贊會理事長タリ、滿洲、支那、西比利亞ヲ歷遊スルコト數次、又列國議會同盟會議ニ參列シ歐米各國ヲ巡遊○當選九回（12 13 14 15 補15 16 17 19 20）

田中源

東京府第六區選出、立憲政友會
農

明治九年十月東京市ニ生ル○屢ゝ葛西村會議員、東京府會議員、東京市會議員、東京市會議長、府會議長ニ擧ケラル、又葛西村長トナル○當選二回（1920）

田中源三郎

兵庫縣第三區選出、立憲政友會
會社員

明治二十八年八月兵庫縣明石郡大久保村ニ生ル、京都同志社大學卒業後法政大學ニ學フ○營業稅調査委員、兵庫縣地方道路共進會審査委員、土地收用審査委員トナル、兵庫縣會議員、同參事會員ニ選ハル、都市計畫神戸地方委員會委員被仰付、現ニ合資會社酒井組播丹鐵道株式會社員、三木電氣株式會社監査役、明石郡淡水魚養殖組合長、同建築請負組合各顧問タリ、滿洲、比島、南支方面ヲ視察ス○當選一回(20)

田中好

京都府第二區選出、立憲政友會
正五位勳五等、會社員

明治十九年十二月京都府船井郡園部町ニ生ル、立命館大學卒業「土木行政」「道路行政」其他ノ著書アリ○京都府屬、兵庫縣屬ヲ經テ內務屬、內務省土木事務官兼鐵道省事務官ニ任セラル、臨時震災救護事務局事務官被仰付、退官後東京高速鐵道株式會社支配人トナリ現ニ同社顧問タリ、帝都交通統制委員會委員、日本大學講師トナル○當選二回(1920)

田中耕

長野縣第四區選出、第二控室
藥劑師

明治三十年六月長野縣北安曇郡會染村ニ生ル、明治藥學校卒業○藥劑師檢定式驗ニ合格、藥局ヲ開設シ今日ニ及フ、曩ニ豐科商工會議員トナル○當選二回(1920)

田村秀吉

德島縣第一區選出、立憲民政黨
辯護士

明治二十八年四月德島縣那賀郡新野町ニ生ル、東京帝國大學法學部政治學科卒業後同大學院ニ學フ「經濟難局と軍費節約」「國際難局に直面して」「聯盟脫退後に於ける我國際政策」「政變、是か非か」ノ著書アリ○高等試驗行政科並司法科合格、辯護士ヲ開業其ノ業務ニ從事ス、曩ニ內務省、靑森縣、帝都復興院ニ奉職ス、又政策研究會ヲ創設ス○當選二回(1920)

田万清臣

大阪府第一區選出、社會大衆黨
辯護士

明治二十五年七月香川縣綾歌郡栗熊村ニ生ル、京都帝國大學法學部獨逸法律科卒業○辯護士ヲ開業其業務ニ從事ス、大阪市會議員、同參事會員ニ選ハル、又大阪市學務委員トナル、全日本勞働總同盟全大阪市從業員組合長、全日本勞働總同盟法律顧問、日本製鐵從業員組合顧問タリ○當選二回（1920）

田淵豐吉

和歌山縣第二區選出、第二控室

明治十五年二月和歌山縣日高郡御坊町ニ生ル、早稻田大學政治科卒業、後獨逸國伯林大學、ライプチツヒ大學及ミユンヘン大學等ニ學フ○歐洲各國ヲ漫遊ス○當選五回（14 15 16 19 21）

田子一民

岩手縣第一區選出、立憲政友會
正五位勳三等

明治十四年十一月岩手縣巖手郡淺岸村ニ生ル、東京帝國大學法科大學政治科卒業○山口縣警部、都濃郡長、山口縣事務官、警察部長、內務書記官、內務省社會局長心得、同社會局長、社會局部長、三重縣知事ニ歷任シ、保健衞生調査會委員、社會事業調査會臨時委員、失業對策委員會委員、勞働保險調査會委員、宗教制度調査會委員、社會保健調査會委員被仰付、又小運送制度調査會委員ヲ命セラル、鐵道政務次官ニ任セラル、東北振興調査會委員被仰付、南支那、香港及歐米各國ヲ歷遊ス、滿洲國ヲ視察ス○當選五回（16 17 18 19 20）

田代正治

北海道第三區選出、立憲政友會
漁具、漁網製造販賣

明治二十五年九月新潟縣中蒲原郡村松町ニ生ル、農林省水產講習所漁撈科卒業○青森縣技手兼水產技手ニ任セラル、後勸察加漁業林式會社員、函館製網船具株式會社員トナル、函館市會議員、北海道會議員、同參事會員ニ選ハル、新津硝子工業合資會社代表社員タリ○當選一回（20）

田尻生五

福岡縣第二區選出、立憲政友會
從四位勳三等、官吏

明治二十年七月福岡縣山門郡大和村ニ生ル、東京帝國大學法律學科卒業○文官高等試驗ニ合格ス、朝鮮總督府試補、同事務官、同道事務官、製鐵所參事、同理事ニ任セラレ、其間全羅北道財務部長、製鐵所勞働部長、福岡地方職業紹介委員會委員ヲ命セラル、又歐米各國ヘ出張ヲ命セラル、曩ニ陸軍歩兵少尉ニ任セラル、帝國在鄉軍人會製鐵所聯合分會長ヲ囑託セラル、製鐵事業評價審査委員會委員、度量衡制度調査會委員被仰付、現ニ鐵道政務次官タリ○當選三回（1819 20）

田島勝太郎

福岡縣第二區選出、立憲民政黨
正四位勳三等、官吏

明治十二年八月大分縣日田郡中津江村ニ生ル、東京帝國大學法科大學法律學科卒業○文官高等試驗ニ合格、水產講習所教授兼水產局書記官、製鐵所參事、農商務書記官兼製鐵所理事兼外務書記官、製鐵所理事、鐵山監督局長、商工次官兼臨時產業合理局事務官ニ歷任シ、其間製鐵所庶務課長、同庶務部長、水產局長、東京、福岡各鐵山監督局長ニ補セラル、又八幡市會議員、同議長、東京市助役ニ推薦セラル、不當廉賣、瓦斯事業、國產振興、中央統計、都市計畫中央各委員會、資源審議會、國有財產調査會、關稅調査會、製鐵事業評價審査委員會各委員被仰付、現ニ遞信政務次官タリ○當選三回（1819 20）

多田滿長

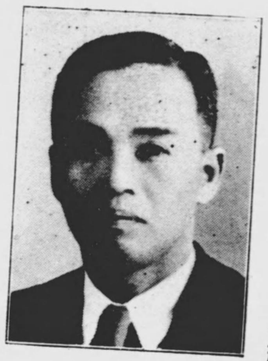
千葉縣第一區選出、立憲民政黨
正五位勳四等、通信社長

明治十九年四月千葉縣君津郡神納村ニ生ル、早稻田大學政治經濟科卒業○大日本通信社ヲ創設シ其ノ社長トナリ經營今日ニ至ル、遞信參與官ニ任セラレ、簡易生命保險積立金運用委員會委員被仰付、海事審議會委員、航空事業調査委員會委員ヲ命セラル○當選四回（17 18 19 20）

俵孫一

島根縣第二區選出、立憲民政黨
正三位勳一等

明治二年五月島根縣那賀郡濱田町ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○韓國學部次官、統監府書記官、同參與官、朝鮮總督府臨時土地調査局副總裁、三重、宮城各縣知事、北海道廳長官、拓殖事務局長ニ歷任ス、又鐵道政務次官、內務政務次官、商工大臣ニ被任、都市計畫中央委員會委員、鐵道會議議員、商工審議會、工業品規格統一調査會、瓦斯事業委員會、國產振興委員會各會長、資源審議會副總裁、社會政策審議會、關稅審議會、國際貸借審議會各委員、臨時產業審議會副會長被仰付、製鐵事業評價審査委員會委員、米穀對策調査會委員タリ○當選六回（15 16 17 18 19 20）



高島龜太郎

愛媛縣第三區選出、立憲政友會
製絲業

明治十六年二月宇和島市ニ生ル○生絲商ヲ營ム、屢〻宇和島町會議員、同市會議員、愛媛縣會議員ニ選ハレ、市會副議長、同議長、縣會副議長ニ擧ケラル、製絲業ヲ開業現ニ製絲工場ヲ經營ス、宇和島商工會議所會頭、愛媛縣製絲業組合長タリ○當選一回（20）

高橋義次

東京府第一區選出、立憲民政黨
勳四等、辯護士

明治十五年八月宮城縣栗原郡畑岡村ニ生ル、日本大學英吉利法律科卒業○辯護士試驗ニ合格、辯護士ヲ開業ス、東京辯護士會常議員トナル、屢〻芝區會議員、同議長、東京市會議員ニ擧ケラル、現ニ東京市會議員、日本辯護士協會理事タリ○當選二回（1820）

高橋熊次郎

山形縣第一區選出、立憲政友會
正五位勳四等、農

明治十三年九月福島縣信夫郡上瀨町ニ生ル、東京高等商業學校卒業後米國「ブライアント・ストラットン」商業大學ニ學フ○聖路易萬國博覽會日本出品協會渡航委員、清國海關封辭トナル、又山形縣會議員ニ擧ケラル、又山形縣養蠶組合聯合會、同家禽協會各會長、同園藝組合聯合會顧問、同畜産組合聯合會評議員、同南村山郡農會長、株式會社山形商業銀行、株式會社山形自由新聞社各取締役、上山電氣株式會社長、有限責任上山製乳販賣購買組合長トナル、高橋農園ヲ經營ス、外務參與官ニ任セラル、上本會議員被仰付、滿鮮臺灣ヲ視察ス○當選六回（15 16 17 18 19 20）

高橋泰雄

埼玉縣第一區選出、立憲政友會
勳四等、辯護士

明治二十年二月浦和市ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○浦和町長、浦和市長、埼玉縣會議員ニ擧ケラル、現ニ辯護士ノ業務ニ從事ス、浦和地方裁判所々屬辯護士會長タリ○當選三回（1819 20）

高橋圓三郎

島根縣第一區選出、立憲政友會
新聞記者

明治二十七年九月島根縣簸川郡今市町ニ生ル、早稻田大學政治經濟學科卒業○報知新聞記者、東京朝日新聞記者、內閣囑託トナル○當選一回（20）

高橋壽太郎

岩手縣第一區選出、立憲民政黨
從四位勳三等功四級

明治十二年一月岩手縣下閉伊郡千德村ニ生ル、海軍兵學校、海軍砲術練習所及海軍大學卒業○海軍少尉ヨリ同少將ニ任セラレ其間海軍大學校教頭兼海軍艦政本部技術會議々員、海軍砲術學校長、第一水雷戰隊司令官、海軍軍令部出仕ニ補セラル、慰問ノ爲滿洲國ニ派遣セラル○當選三回（17 18 20）

高橋守平

埼玉縣第二區選出、立憲民政黨
正五位勳四等、官吏

明治二十七年十月埼玉縣兒玉郡丹莊村ニ生ル○小學校訓導ニ任セラル、村農會長、郡農會長、縣農會議員、所得調査委員、帝國在鄉軍人會村分會長トナル、商工參與官ニ被任、不當廉賣審査、統制、瓦斯事業、國產振興、度量衡制度、百貨店、取引所制度、臨時產業合理局小賣業改善調査各委員會委員被仰付、丹莊村長、縣共濟會評議員、縣百合根同業組合長、產業組合兒玉郡部會長、城西學園中學校理事、株式會社平凡社、同本庄運輸倉庫會社各取締役等トナル、現ニ農林政務次官タリ、重要肥料業委員會委員被仰付、農林經濟更生中央委員會委員ヲ被命、列國議會同盟會議ニ參列シ歐米各國ヲ視察ス○當選五回（16 17 18 19 20）

高岡大輔

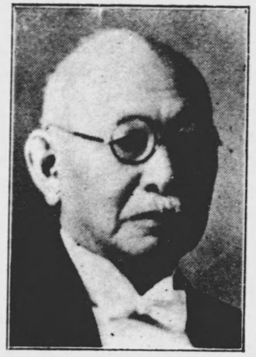
新潟縣第二區選出、國民同盟

明治三十四年九月新潟縣中蒲原郡十全村ニ生ル、東京外國語學校本科卒業「印度の眞相」「素裸のガンヂー」「農村繁榮の鍵」ノ著書アリ○新潟新聞社員、大倉土地株式會社員トナリ後日印協會ニ入社、同協會甲谷陀商品館創設ニ付同地ニ赴任ス、現ニ日印協會囑託タリ○當選二回（19 20）

高田耘平

栃木縣第一區選出、立憲民政黨
從四位勳三等、農

明治六年十二月栃木縣那須郡荒川村ニ生ル○郡會議員、縣會議員、同參事會員、所得調査委員ニ擧ケラル、小作制度調査會委員、米穀委員會、米穀調査會、人口食糧問題調査會、蠶絲委員會、關稅調査會、小作調査會、臨時電氣事業調査會、肥料調査會各委員及鐵道會議臨時議員被仰付、林野整備調査會委員ヲ命セラル、曩ニ滿洲及支那ヲ視察ス、農林省米穀局顧問、帝國農會特別議員、米穀統制調査會委員、米穀對策調査會委員、競馬法審査會委員トナル、日本競馬會設立委員、米穀自治管理委員會委員、内閣調査局專門委員被仰付○當選九回（12 13 14 15 16 17 18 19 20）



高木粂太郎

靜岡縣第二區選出、立憲民政黨
水產業

慶應二年十月靜岡縣賀茂郡安良里村ニ生ル○日清、日露ノ役ニ從軍ス、安良里村漁業組合長、同消防組頭、賀茂郡水產組合評議員、同組合長、同水產會長、靜岡縣水產組合副組長、帝國水產會議員、所得調査委員、產業調査委員、震災救濟調査委員、同道路調査會委員、中等教育調査會委員、地方森林會議員、經濟更生委員等トナル、又屢ゝ安良里村會議員、靜岡縣會議員、同參事會員ニ選ハル、現ニ村信用組合監事、小作調停委員、大日本水產會評議員、縣水產會副會長、同鰹節製造組合長、同定置漁業研究會長、帝國水產會長タリ○當選二回（1920）

高見之通

富山縣第一區選出、立憲政友會
勳四等、辯護士

明治十三年三月富山市ニ生ル、東京帝國大學法科大學英法科卒業○富山縣東岩瀨町長、同縣賣藥同業組合長トナル、宗教制度調査會委員被仰付、米國、支那及朝鮮ヲ視察ス○當選六回（13 14 15 17 18 20）

立川平

兵庫縣第二區選出、立憲政友會
勳四等、辯護士

明治二十四年九月長野縣北佐久郡岩村田町ニ生ル、東京帝國大學法科大學獨逸法科卒業○文官高等試驗ニ合格ス、司法官試補ヲ命セラル、後辯護士ヲ開業ス、兵庫縣會議員、同副議長ニ擧ケラル、曩ニ大阪田中商事株式會社、株式會社十五銀行神戸支店ニ勤務ス、日本高周波重工業株式會社常任監査役、財團法人養鷄組合中央會副會頭タリ、南洋及米國ヲ視察ス○當選三回（1819 20）

賴母木桂吉

東京府第三區選出、立憲民政黨
從三位勳二等

玉野知義

岡山縣第一區選出
勳七等

慶應三年十月廣島縣蘆品郡府中町ニ生ル、高等中學校卒業後米國ニ學フ○曩ニ報知新聞記者、同營業部長、東京毎日新聞、帝國通信社ノ各社長、竝早稻田大學講師タリ、臨時大都市制度調査會委員被仰付、遞信政務次官ニ任セラレ、簡易生命保險積立金運用委員會委員、臨時行政財政審議會委員、鐵道會議議員、內閣審議會委員被仰付、歐米ニ漫遊ス、遞信大臣ニ任セラル○當選九回（12 13 14 15 16 17 18 19 20）

明治九年二月岡山縣和氣郡片上町ニ生ル○和氣郡書記、片上町長、同町農會長、同町會議員、和氣郡會議員、同參事會員、片上町地價修正委員、同所得調査委員、同委員長、岡山縣所得調査委員、同參事會員、岡山縣產業調査委員、備前土管株式會社取締役、片上聯合會長、岡山縣會議員、同參事會員、同議長、片上聯合運送株式會社長、岡山縣會議員、同參事會員、同議長ニ擧ケラル、和氣郡農會長、岡山縣農會議員、同評議員、小作調停委員、岡山縣產業調査委員、片上鐵道株式會社取締役、岡山「タクシー」自動車株式會社長タリ○當選二回（16 20）

武知勇記

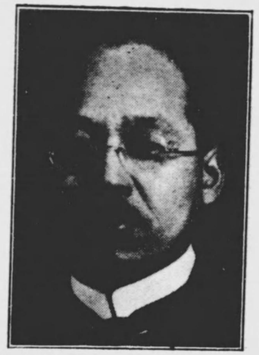
愛媛縣第一區選出、立憲民政黨
正五位勳四等

武田德三郎

新潟縣第四區選出、立憲政友會
從五位勳四等、農

明治二十七年七月愛媛縣伊豫郡南伊豫村ニ生ル、明治大學法科卒業「醫藥救國論」「義務教育延長論」「醫藥分業讀本」其他ノ著書アリ○松山市會議員、愛媛縣會議員、同參事會員ニ選ハル、株式會社海南新聞取締役、愛媛新報社副社長兼編輯局長トナル、文部參與官ニ任セラレ、國語審議會、宗教制度調査會、體育運動審議會各委員被仰付、滿洲國ヲ視察ス○當選四回（17 18 19 20）

明治五年二月新潟縣東頸城郡大島村ニ生ル、和佛法律學校卒業○福岡日日新聞記者トナリ日露戰役ニ從軍ス、後日本新聞記者トナル、又高田日報社ヲ創立シ主幹トナル、農林大臣祕書官ニ任セラル、度量衡制度調査會委員被仰付○當選六回（14 16 17 18 19 20）



瀧　正雄

愛知縣第三區選出
正五位勳三等、官吏

明治十七年四月愛知縣中島郡明治村ニ生ル、京都帝國大學法科大學卒業後大學院ニ學フ○京都帝國大學法科大學講師、關西大學講師トナル、內務大臣祕書官ニ任セラル、明治神宮造營局參事被仰付、外務政務次官ニ任セラレ、對支文化事業調査會、關稅調査委員會、阿片委員會、米穀統制調査會各委員被仰付、內閣調査局參與被仰付、現ニ法制局長官タリ、資源審議會、中央統計委員會、東北振興調査會、紀元二千六百年祝典評議委員會、貴族院制度調査會、選擧制度調査會、國有財産調査會、中央諸官衙建築準備委員會各委員被仰付○當選七回（13 14 16 17 18 19 20）

瀧澤七郎

東京府第四區選出、立憲政友會
勳八等、鑄物業

明治十一年一月上田市ニ生ル「養蠶之栞」「蠶具大鑑」「歐米工業概觀」其他數種ノ著書アリ○蠶種業ニ從事シ、蠶業雜誌ヲ經營ス、陸軍三等主計ニ被任、又長野縣蠶絲檢査員、有限責任信濃蠶種販賣組合理事、上田蠶業講習所設立所長、上田新聞社取締役、東京鐵工機械同業組合評議員、東京自轉車工業組合議長トナル、本所區會議員、東京市會議員、同參事會員ニ選ハル、現ニ東京市會議員、東京鑄物業組合長、東京鑄物工業組合理事長タリ、歐米各國ヲ視察ス○當選一回（20）

丹下茂十郎

愛知縣第二區選出、立憲政友會
正五位勳三等

明治十三年八月愛知縣東春日井郡勝川町ニ生ル○郡書記、縣技手、縣屬、農商務省農務局事務官補、滋賀縣産業主事、同理事官ニ任セラレ勸業課長、蠶絲課長、商品陳列所長等ニ補セラル、國際觀光委員會委員、關稅調査委員會委員、國有財産調査會委員、中央諸官衙建築準備委員會委員、政府貸付金處理委員會委員被仰付、大藏參與官ニ任セラル、派遣軍等慰問ノ爲滿洲及支那ニ派遣セラル○當選六回（15 16 17 18 19 20）

曾和義弐

大阪府第五區選出、立憲政友會

明治二十一年六月大阪府南河內郡高向村ニ生ル○小學校代用教員、訓導、市立堺女子手藝學校教諭、府立大阪醫科大學書記、瀧畑尋常高等小學校訓導兼校長ヲ命セラル、河陽新報ヲ發刊經營ス、大阪府會議員ニ選ハル、又高向村長トナル○當選一回（20）

曾木重貴

宮崎縣選出、第二控室

正八位、公吏

明治十九年二月都城市ニ生ル、早稲田大學商科卒業○陸軍歩兵少尉ニ任セラル、都城町助役、同町長、同市長トナル、又屢ゝ都城市會議員ニ選ハレ、市會議長ニ擧ケラル、曩ニ都城電氣株式會社支配人トナル、現ニ都城市長タリ○當選一回(20)

添田敬一郎

福井縣選出、立憲民政黨

從四位勳二等、辯護士

明治四年八月福井縣遠敷郡雲濱村ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○文官高等試驗合格、兵庫縣參事官、大分縣警察部長、熊本、山梨、滋賀各縣内務部長、埼玉、山梨、山形各縣知事、内務省地方局長、文部政務次官ニ歴任シ、勞働保險調査會委員、社會局參與被仰付、又社會政策審議會委員、失業對策委員會委員、臨時ローマ字調査會委員、體育運動審議會委員、國語審議會委員、度量衡制度調査會委員、宗教制度調査會委員、實業教育振興委員會委員。教學刷新評議會委員、議院制度調査會委員、貴族院制度調査會委員被仰付、社會事業調査會委員ヲ委嘱セラル、財團法人協調會常務理事トナル○當選六回（14 16 17 18 19 20）

津原武

京都府第三區選出、立憲民政黨

勳三等、辯護士

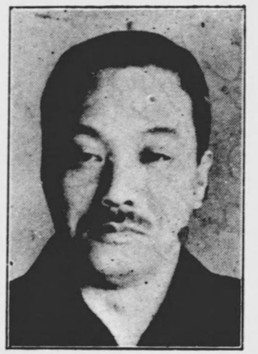
明治元年十月鳥取市ニ生ル、關西大學及法政大學ニ學フ○宮津町會議員、同參事會員、同議長、京都府會議員、同參事會員、宮津町長ニ擧ケラル、臨時教育調査會委員被仰付、又丹後織物與謝郡同業組合組長、丹後縮緬同業組合組長、株式會社西山機業場、同宮津銀行、橋北汽船株式會社各監査役トナル、現ニ加悦鐵道株式會社取締役社長、丹後縮緬工業組合理事長タリ、商工組合中央金庫設立委員被仰付○當選五回（12 14 17 19 20）

津倉亀作

靜岡縣第三區選出、立憲民政黨

從七位勳五等、材木商

明治十二年九月靜岡縣磐田郡掛塚町ニ生ル○日露戰役ニ從軍ス、陸軍主計中尉ニ任セラル、掛塚町會議員、磐田郡會議員、濱松市會議員、靜岡縣會議員ニ選ハル、掛塚町長、所得稅調査委員トナル、現ニ濱松商工會議所副會頭ニシテ濱松倉庫株式會社、濱松合同運送株式會社各取締役社長、株式會社遠州銀行、帝國製帽株式會社各監査役タリ○當選一回(20)



津雲國利

東京府第七區選出、立憲政友會

明治二十六年十月東京府西多摩郡青梅町ニ生ル、安田保善社銀行員養成所卒業○株式會社安田銀行員、株式會社古川銀行員、又株式會社下野銀行相談役、同下野新報社顧問、下野日日新聞社顧問トナル○當選五回（16 17 18 19 20）

津崎尚武

鹿兒島縣第一區選出
從六位勳四等

明治十五年五月鹿兒島縣肝屬郡小根占村ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業「想と相」「どうなるか滿洲國」ノ著アリ○文官高等試驗ニ合格、長野縣警視、更級郡長、長野縣理事官、同縣視學官ニ歷任ス、後紐育土地建物株式會社員、東亞產業株式會社其他諸會社ノ取締役トナル、常ニ海外發展ノ奬勵指導ニ從事シ、海外協會中央會副會長、財團法人滿洲移住協會理事タリ、人口食糧問題調查會委員、臨時電氣事業調查會委員、鐵道會議議員被仰付、北米合衆國及支那ヲ視察ス○當選六回（14 15 16 17 18 19 20）

坪山德彌

栃木縣第一區選出、立憲政友會
從七位勳四等、農

明治二十三年十一月栃木縣河内郡姿川村ニ生ル、宇都宮中學校卒業○一年志願兵トシテ入營陸軍砲兵少尉ニ任セラレ、後中尉ニ昇進ス、帝國軍人會地方委員、同在鄉軍人會姿川村分會長、同河内郡聯合分會長、國勢調查委員、地方森林會議員、縣馬匹畜產組合聯合會副會長、縣養蠶組合聯合會副會長トナル、屢ゝ姿川村長、栃木縣會議員、同副議長、同議長ニ擧ケラル、慰問ノ爲滿洲國ニ派遣セラル○當選三回（18 19 20）

立憲民政黨

土田莊助

秋田縣第二區選出、立憲民政黨
農

明治二十一年三月秋田縣平鹿郡館合村ニ生ル○縣ノ囑託ヲ受ケ樺太北海道ノ產業ヲ調查ス、館合村農業青年團長、秋田縣畜產組合議員、同議長、同地方森林會議員、同馬政協議會議員、同馬政調查竝種畜購買委員、帝國馬匹協會特別會員、中央畜產會特別會員トナル、又四度秋田縣會議員ニ當選、副議長ニ擧ケラル、秋田縣畜產組合長、同縣耕地協會評議員、大日本山林會評議員、帝國馬匹協會役員タリ、土田農場ヲ創設經營ス○當選二回（19 20）

土倉宗明

富山縣第二區選出、立憲政友會
勳四等、著述業

明治二十二年九月富山縣東礪波郡中田村ニ生ル、早稻田大學政治經濟科ニ學フ「政治講座」「普通選擧法釋義」ノ著書アリ○牛込區會議員、東京市會議員、同名譽職參事會員ニ擧ケラル、列國議會同盟會議ニ參列シ、歐米各國ヲ視察ス、又滿洲國ヲ視察ス○當選四回（17 18 19 20）

土屋寬

廣島縣第三區選出、立憲民政黨
農

明治十三年十二月廣島縣御調郡栗原町ニ生ル○御調郡書記ニ被任、栗原村長、同町長、御調郡農會長、廣島縣農會評議員、帝國農會議員トナル、又屢〻廣島縣會議員ニ選ハレ郡部會議長ニ擧ケラル、御調郡農會長、廣島縣農會評議員タリ○當選三回（17 19 20）

土屋清三郎

千葉縣第三區選出、立憲民政黨
勳四等、醫

明治十五年四月千葉縣山武郡豐岡村ニ生ル、東京慈惠醫院醫學校ニ學ヒ濟生學舍卒業○傳染病研究所嘱託、警視廳檢疫醫、千葉縣檢疫官、岐阜縣技師トナル、國有財産調査會委員被仰付、現ニ「日本ノ醫界」「ジヤパン・メヂカル・ウオールド」及「東亞醫學」等日、英、支那文ノ醫學雜誌ヲ主宰ス○當選八回（13 15 16 17 18 19 20）

鶴惣市

福岡縣第三區選出、立憲政友會
會社員

明治二十七年二月大牟田市ニ生ル○商店員トナリ後獨立米穀商ヲ營ム、大牟田市會議員、同參事會員ニ選ハル、又福岡縣會議員、同參事會員、大牟田市臨時市町村合併調査會委員ト調査交涉委員、同臨時土地區劃整理委員、臨時社會事業調査會委員トナル、都市計畫福岡地方委員會委員被仰付、現ニ臨時財政調査常設委員、臨時港灣調査委員、臨時小學校建築委員、臨時敬神施設竝公園設置委員、所得調査委員タリ、又合資會社鶴惣商店ヲ設立、其代表社員タリ○當選二回（1920）

鶴見祐輔

岩手縣第二區選出、立憲民政黨
從四位勳四等、著述業

明治十八年一月群馬縣多野郡新町ニ生ル、東京帝國大學法科大學政治科卒業、邦文著書四十三卷、英文著書七卷アリ○文官高等試驗合格、拓殖局屬、鐵道院書記、同副參事、同參事、鐵道書記官兼鐵道監察官ニ歷任シ、在官中海外出張ヲ命セラル、コト七回國際鐵道會議、國際海員會議等ニ帝國政府代表トシテ出席ス、排日移民法實施ニ際シ米國三十數箇大學ノ招聘ニ應シテ渡米、百數十回ニ亙リ同法ノ非ヲ痛論、又同國ニ講演旅行ヲ爲スコト六度七百回ノ講演ヲ試ミ日本ノ國情紹介ニ努ム、布哇ニ於テ開催ノ第一回太平洋會議ニ日本代表トシテ出席爾來引續キ五回同會議ニ出席ス、國際觀光委員會委員被仰付○當選三回（16 19 20）

塚本三

愛知縣第一區選出、立憲民政黨

明治二十二年四月岐阜縣ニ生ル○日本陶器株式會社員、名古屋新聞社政治記者、同編輯長、總務部長トナル、屢〻名古屋市會議員、同參事會員ニ選ハレ、又市會副議長ニ擧ケラル、都市計畫名古屋地方委員會委員被仰付、名古屋市慰問使トシテ在滿部隊ヲ慰問ス、又數次滿鮮支那ヲ視察ス○當選一回（20）

塚本重藏

大阪府第三區選出、社會大衆黨
金屬旋盤工

明治二十二年二月兵庫縣加古郡尾上村ニ生ル「勞働者のための退職手當法」ノ著書アリ○大阪鐵工所金屬旋盤工トナル、大阪府會議員ニ選ハレ、大阪府公園調査委員、同道路調査委員、第一次乃至第五次內閣統計局家計調査委員、此花區春日出聯合衞生組合長、大阪市衞生聯合會評議員、同職業紹介委員トナル、現ニ大阪市島屋町汽車製造會社ニ勤務シ、恩賜財團濟生會大阪府委員、大阪市敎化委員、大阪退職金審査會委員、此花區公同委員、大阪金屬勞働組合顧問、大阪社民病院理事タリ○當選二回（19 20）

堤康次郎

滋賀縣選出、立憲民政黨
正五位勳三等

明治二十二年三月滋賀縣愛知郡八木莊村ニ生ル、早稻田大學政治經濟科卒業「日露財政比較論」ノ著アリ○拓務政務次官ニ任セラレ、米穀調査會臨時委員、關稅調査委員會委員、米穀統制調査會委員、度量衡制度調査會委員、樺太拓殖調査委員會委員、雪害對策調査會委員被仰付○當選六回（15 16 17 18 19 20）

名川侃市

廣島縣第一區選出、立憲政友會
正五位勳三等、辯護士

明治十六年六月廣島縣高田郡坂村ニ生ル、明治大學法科卒業○司法官試補ヲ命セラル、又前橋地方裁判所判事、千葉地方裁判所判事、東京地方裁判所兼東京區裁判所判事ニ歷任、東京地方裁判所部長ニ補セラル、後辯護士ヲ開業其業務ニ從事ス、司法參與官、鐵道政務次官ニ任セラル、鐵道會議々員被仰付○當選六回（15 16 17 18 19 20）

南雲正朔

北海道第五區選出、立憲民政黨
辯護士

明治三十六年一月群馬縣勢多郡横野村ニ生ル、中央大學法學部卒業○高等試驗司法科竝行政科試驗ニ合格シ、東京市ニ於テ辯護士ヲ開業ス、後北海道ニ移住シ、其業務ニ從事ス○當選二回（1920）

南條德男

北海道第四區選出、立憲政友會
從五位、辯護士

明治二十八年七月室蘭市ニ生ル、東京帝國大學獨逸法律科卒業○辯護士ノ業務ニ從事ス、鐵道大臣秘書官ニ任セラル、現ニ膽振縱貫鐵道株式會社取締役タリ○當選二回（1920）

內藤正剛

大阪府第三區選出、立憲民政黨
勳四等、辯護士

明治十六年二月岡山縣阿哲郡新見町ニ生ル、關西大學卒業、中央大學ニ學フ○判事檢事登用試驗合格、司法官試補ヲ命セラル、後辯護士トナリ大阪辯護士會副會長、大阪府會議員、同市部會議長、同議長、大阪市會議員ニ擧ケラル、又國勢調查委員、稅制調查委員、大阪市敎化委員、同學務委員、同公同委員、中央大學評議員トナル、現ニ小作商事、借地借家、金錢債務調停委員ノ公職ニ在リ、且關西大學監事タリ、度量衡制度調查會委員被仰付○當選三回（18 19 20）

成島勇

千葉縣第一區選出、立憲民政黨
農

明治二十四年五月千葉縣東葛飾郡富勢村ニ生ル、東北帝國大學農科大學農學科卒業○臺灣製糖株式會社員トナル、富勢村會議員、千葉縣會議員ニ選ハル、現ニ富勢村長ノ職ニ在リ、大日本消防協會千葉縣代議員、東葛飾郡農會議員、千葉縣販賣購買利用組合特別議員タリ○當選一回（20）

中井一夫

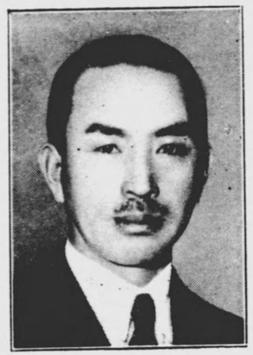
兵庫縣第一區選出、立憲政友會
從七位勳四等、辯護士

明治二十二年十一月大阪市ニ生ル、東京帝國大學法科大學英吉利法律學科卒業○京都、神戸地方裁判所判事ニ歴任ス、後辯護士トナリ、又兵庫縣會議員、同市部會副議長ニ選ハル、石油業委員會委員被仰付、支那各地及南洋方面ヲ視察ス○當選四回（16 18 19 20）

中井川浩

茨城縣第二區選出、立憲民政黨
從五位勳四等、會社員

明治三十三年九月茨城縣那珂郡木崎村ニ生ル、日本大學及早稻田大學ニ學フ○土浦町會議員、茨城縣會議員ニ擧ケラル、拓務省、鐵道省各囑託トナル、又いばらぎ新聞株式會社取締役、財團法人茨城中學校理事トナル、文部大臣祕書官、商工大臣祕書官ニ任セラル、慰問ノ爲滿洲國ニ派遣セラル○當選三回（18 19 20）



中原謹司

長野縣第三區選出、第二控室
從七位、農

明治二十二年二月長野縣下伊那郡龍江村ニ生ル、早稻田大學文科哲學科ニ學フ「局地ニ於ケル赤化思想ノ進擊ト攻勢防禦」「軍教問題對談記事」等ノ著書アリ○株式會社信濃時事新聞編輯部員、同南信電氣會社支配人トナル、陸軍步兵中尉ニ任セラル、又信濃時事新聞主筆トナル、長野縣會議員ニ選ハル、現ニ南信電氣株式會社監査役、國民精神作興會幹事、帝國在鄉軍人會下伊那郡聯合分會副長、信州鄉軍同志會幹事長タリ、週刊信州鄉軍新聞ヲ發刊經營ス、鮮、滿、支竝國境方面ヲ視察ス○當選二回（19 20）

中川重春

秋田縣第一區選出、立憲民政黨

海運業

明治二十三年六月秋田縣南秋田郡船川港町ニ生ル、早稲田大學專門部政治經濟科ニ學フ○樺太廳囑託ヲ被命、後船川電氣株式會社ヲ創立常務取締役トナル、又有限責任船川信用購買販賣利用組合常務理事、船川町聯合青年團長トナル、船川町會議員、南秋田郡會議員、秋田縣會議員ニ選ハル、現ニ船川町會議員、同信用購買販賣利用組合長、同町漁業組合長、中川合資會社代表社員、船川汽船株式會社長、船川電氣株式會社長、男鹿琴湖會長タリ、西比利亞、滿洲ヲ視察ス○當選二回（1920）

中田儀直

秋田縣第一區選出、立憲政友會

正八位、工業

明治二十二年十三月秋田縣北秋田郡大館村ニ生ル○陸軍步兵少尉ニ任セラル、大館町會議員、秋田縣會議員ニ選ハル、株式會社大館製作所取締役社長、北鹿新聞社取締役、東北酒造株式會社取締役、秋田鐵工業組合長、帝國在鄉軍人會本部評議員、同秋田支部評議員會議長、同北秋田郡聯合分會長、北秋田郡聯合青年團長タリ○當選二回（1920）

中村梅吉

東京府第六區選出、立憲民政黨

辯護士

明治三十四年三月東京市ニ生ル、法政大學法律科卒業○辯護士試驗ニ合格ス、東京府會議員、東京市會議員、同參事會員ニ選ハル、都市計畫東京地方委員會委員被仰付、現ニ東京市會議員、東京高等無線電信學校長タリ○當選二回（1920）

中村高一

東京府第七區選出、社會大衆黨

辯護士

明治三十年七月東京府西多摩郡西秋留村ニ生ル、早稲田大學法科卒業○辯護士試驗ニ合格、辯護士ヲ開業現ニ其業務ニ從事ス、東京市會議員、同水道常設委員、同廳舍建設委員、東京辯護士會常議員、日滿法曹協會評議員タリ○當選一回（20）

中村不二男

長崎縣第一區選出、立憲民政黨
正八位勳四等、新聞記者

明治二十四年二月長崎縣西彼杵郡長浦村ニ生ル、長崎中學校卒業○陸軍歩兵少尉ニ任セラル、再度長崎縣會議員ニ選ハル、現ニ長崎日々新聞記者タリ、長崎女子商業學校ヲ設立經營ス、度量衡制度調査會委員被仰付、小運送制度調査會委員ヲ囑託セラル○當選三回（1819 20）

中村三之丞

京都府第一區選出、立憲民政黨
正六位勳四等、官吏

明治二十七年九月京都市ニ生ル、早稲田大學政治經濟科卒業後、英獨ニ留學政治經濟學ヲ研究ス「英國の總選擧」「我等の進むべき道」ノ著書及「近代都市政治論」ノ譯書アリ○一年志願兵トシテ入營陸軍歩兵伍長ニ任セラル、藤本ビルブローカー銀行員、新舞鶴棧橋倉庫株式會社支配人トナル、商工大臣秘書官、大藏大臣秘書官ニ任セラル、現ニ大藏參與官タリ、金融評議會委員被命、列國議會同盟會議參列歐米各國ヲ視察ス○當選三回（1819 20）

中野邦一

佐賀縣第一區選出、立憲民政黨
從四位勳三等、公吏

明治十七年十月佐賀縣佐賀郡西與賀村ニ生ル、東京帝國大學英法科卒業○文官高等試驗ニ合格ス、警視廳警視ニ被任、芝、西大久保、本郷駒込、淺草南元町各警察署長ニ被補、高知、愛知各縣理事官、香川、岡山、宮城各縣及京都府警察部長、愛媛、秋田各縣内務部長、秋田、石川、岡山、新潟各縣知事ニ歴任ス、又滿洲國行政制度調査ノ爲、拓務省囑託トナル、東京市助役タリ○當選二回（1920）

中野寅吉

福島縣第二區選出
鐵山業

明治十二年四月福島縣大沼郡赤澤村ニ生ル、早稲田大學法科卒業○北海道廳、臺灣總督府、朝鮮總督府、警視廳ニ執レモ警部トシテ在任シ、又南洋群島占領地民政事務官ニ被任、後鐵山業ヲ營ム、東洋ペイント株式會社相談役タリ○當選四回（14 15 18 20）

中野治介

山口縣第二區選出、立憲政友會
辯護士

明治十一年五月山口市ニ生ル○裁判所書記ニ任セラル、後辯護士試驗ニ合格、辯護士ヲ開業ス、屢〻山口町會議員、山口縣會議員ニ選ハレ、同議長ニ擧ケラル、又山口市長、山口消防組頭、山口縣消防義會評議員、山口地方裁判所々屬辯護士會長、山口土地建物株式會社監査役トナル、廣島保護觀察所保護司ヲ委囑セラル○當選二回(1920)

中野正剛

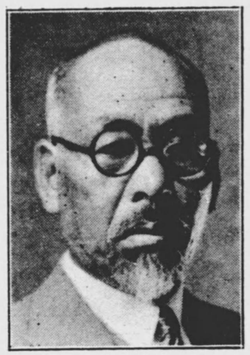
福岡縣第一區選出、東方會
正五位勳四等

明治十九年二月福岡市ニ生ル、早稻田大學政治經濟科卒業、後歐米ニ留學ス、著書多數アリ○東京朝日新聞記者トナル、後辭シテ雜誌東方時論社ヲ起シ其社長兼主筆トナル、又大藏參與官、遞信政務次官ニ任セラル、預金部資金運用委員會、人口食糧問題調査會、簡易生命保險積立金運用委員會、臨時電氣事業調査會、臨時海事法令調査會各委員及鐵道會議臨時議員被仰付、歐米及支那ヲ視察ス○當選七回(14 15 16 17 18 19 20)

中山福藏

大阪府第四區選出、立憲民政黨
勳四等、辯護士

明治二十年六月鹿兒島縣噌吶郡志布志町ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○辯護士トナリ、現ニ其業務ニ從事ス、大阪地方裁判所破產管財人、大阪辯護士會評議員トナル、又大阪府立貿易館南洋調査囑託タリ、曩ニ植民政策研究ノ爲南洋蘭領印度ニ渡航ス○當選三回(1819 20)



中崎俊秀

茨城縣第一區選出、立憲民政黨
正八位勳四等、醫

明治七年十二月茨城縣東茨城郡鯉淵村ニ生ル、東京醫學專門學校濟生學舍卒業○鯉淵村長トナル、日露戰役ニ從軍ス、陸軍三等軍醫ニ任セラル、常磐病院ヲ開設シ、後之ヲ株式組織トナシ其專務取締役、茨城縣醫師會長、日本醫師會議員トナル、又水戸市會議員、茨城縣會議員ニ選ハル、現ニ水戸市長タリ、神宮關係施設調査會委員被仰付○當選四回(16 17 19 20)

中島知久平

群馬縣第一區選出、立憲政友會
從三位勳二等、官吏

明治十七年一月群馬縣新田郡尾島町ニ生ル、海軍大學校（飛行機專科）卒業○海軍機關大尉ニ任セラル、豫備役編入後中島飛行機製作所ヲ創設シ其所長、中島商事株式會社ヲ創設シ其社長トナル、商工政務次官ニ任セラル、瓦斯事業委員會委員、農林審議會委員、不當廉賣審査委員會委員、國產振興委員會委員、關稅調査委員會委員被仰付、現ニ鐵道大臣タリ○當選四回（17 18 19 20）

中島彌團次

東京府第二區選出、立憲民政黨
從四位勳三等

明治十九年六月高知縣安藝郡野根村ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○文官高等試驗合格、青森縣屬、專賣局副參事、同參事、大藏大臣祕書官、內務大臣祕書官ニ歷任ス、又內閣總理大臣祕書官、鐵道參與官、大藏政務次官ニ任セラル、國際觀光委員、關稅調査委員會委員、內閣調査局參與被仰付、東北振興調査會委員、關稅調査委員會委員、國有財產調査會委員、中央諸官衙建築準備委員會委員被仰付、曩ニ露領「シベリヤ」ニ出張ヲ命セラレ鹽供給ノ狀況及取締方法等ヲ視察ス○當選五回（16 17 18 19 20）

仲井間宗一

沖繩縣選出、立憲民政黨
辯護士

明治二十四年三月沖繩縣國頭郡名護町ニ生ル、日本大學法學部專門部ニ學フ○辯護士試驗ニ合格、辯護士ヲ開業、現ニ其業務ニ從事ス、那覇辯護士會長タリ○當選三回（17 19 20）

仲西三良

福島縣第二區選出、立憲民政黨
從七位、農

明治二十三年三月福島縣岩瀨郡鏡石村ニ生ル、東京帝國大學法學部卒業○檢事ニ被任、東京地方裁判所豫備檢事、札幌區裁判所檢事ニ被補、後矢吹信用組合理事、矢吹町長、同町農會長、西白河郡農會議員、縣農會代議員、縣選擧肅正委員トナル、現ニ矢吹銀行副頭取タリ○當選二回（19 20）

永井柳太郎

石川縣第一區選出、立憲民政黨
正三位勳一等、官吏

明治十四年四月金澤市ニ生ル、早稻田大學政治科卒業後同大學ヨリ英、獨留學ヲ命セラル「殖民原論」其他數種ノ著書アリ○早稻田大學教授トシテ植民政策竝社會政策講座擔當、雜誌「新日本」ノ主筆ヲ兼ヌ、北陸每日新聞社長タリ、後外務參與官ニ被任、又都市計畫石川地方委員會委員被仰付、外務政務次官、拓務大臣ニ歷任、人口食糧問題調査會、米穀調査會、對支文化事業調査會、救恤審査會、關稅調査委員會、交通審議會、海外拓殖委員會、教學刷新評議會各委員被仰付、現ニ遞信大臣タリ、歐米ニ遊ヒ戰後ノ國情ヲ研究ス○當選七回（14 15 16 17 18 19 20）

永田良吉

鹿兒島縣第三區選出、立憲政友會
從七位勳四等、農

明治十九年九月鹿兒島縣肝屬郡大姶良村ニ生ル○陸軍砲兵中尉ニ任セラル、大姶良村會議員、同助役、同村長、同村農會長、鹿兒島縣會議員、同參事會員ニ選ハル、肝屬郡養蠶同業組合副組長、鹿兒島縣養蠶聯合會副長、同會長ニ擧ケラル、都市計畫鹿兒島地方委員會委員被仰付、骨粉肥料製造及澱粉製造竝大隅鐵山ヲ經營ス、大隅鹿野町ニ笠野原飛行場ヲ開設、帝國飛行協會評議員タリ、列國議會同盟會議竝萬國議院商事會議ニ參列シ歐米各國ヲ視察ス、又南洋方面ヲ視察ス○當選五回（16 17 18 19 20）

永山忠則

廣島縣第三區選出
農

明治三十年十月廣島縣比婆郡敷信村ニ生ル、中央大學豫科卒業○三原女子師範學校附屬小學校訓導ヲ命セラル、廣島縣格致學院長トナル、同縣會議員ニ擧ケラル、五度敷信村長ニ推サレ、現ニ其職ニ在リ、又廣島縣敬愛女學校長、敷信村農會長、同村產業組合顧問、比婆郡在鄉軍人分會顧問タリ○紺綬褒章ヲ下賜ス○當選二回（19 20）

永江一夫

兵庫縣第一區選出、社會大衆黨
勞働組合常任書記

明治三十五年二月岐阜縣惠那郡陶町ニ生ル、關西學院高等商業學部卒業○福德生命保險會社員トナル、神戶市會議員、兵庫縣會議員ニ選ハル、全日本勞働總同盟兵庫縣聯合會長ニ推サル、大衆診療所ヲ創設經營ス、全日本勞働總同盟中央委員、日本勞働組合會議評議員タリ○當選一回（20）

長井源

三重縣第二區選出、立憲民政黨
辯護士

明治二十七年八月三重縣飯南郡粥見町ニ生ル、明治大學法學部法律學科卒業○高等試驗司法科合格、辯護士ヲ開業ス、松阪市會議員、三度三重縣會議員ニ選ハレ、縣會副議長ニ擧ケラル○當選二回(1920)

長野綱良

大分縣第一區選出、立憲民政黨
農

明治十二年一月大分縣大野郡戸上村ニ生ル、英、漢學ヲ修ム○戸上村會議員、同村長、大分縣會議員ニ擧ケラル、又戸上村菅尾村土木組合會議員、同組合管理者、南豐物産株式會社專務取締役トナル、現ニ長谷緒耕地整理組合長、大分水產株式會社取締役社長タリ○當選二回(1720)

長野長廣

高知縣第一區選出、立憲民政黨
從六位、著述業

明治二十五年四月高知縣長岡郡介良村ニ生ル「農村教育新論」「青年教育ノ眞髓」「日本農村ノ新經營」「青年學校ノ新經營」「經濟日本ノ農業政策」ノ著書アリ○實業補習學校教員養成所教諭、文部省社會教育官、宇都宮高等農林學校教授ニ歷任ス、後滿洲國文教部ニ奉職シ同國體育聯盟理事ヲ兼ヌ○當選二回(1920)

長野高一

東京府第二區選出、立憲民政黨
自轉車商

明治二十六年三月愛媛縣越智郡清水村ニ生ル○下谷區會議員、東京府會議員ニ選ハル、現ニ東京市會議員、東京市オリンピック委員タリ、政治、經濟及社會事情調查ノ爲歐洲各國ヲ巡歷ス○當選二回(1920)

村上國吉

京都府第三區選出、立憲民政黨

農

明治九年一月京都府何鹿郡吉美村ニ生ル、大阪府立農學校卒業○農事試驗場技手、同場長、農事巡回教師、公立學校教諭ニ被任、綾部町會議員、何鹿郡會議員、同議長、京都府會議員、同參事會員ニ選ハル、又郡農會議員、同議長、京都府會議員、同會長、同養蠶業組合長、京都府農會議員、同養蠶業組合長、帝國農會評議員、農林省囑託等トナル、現ニ何鹿郡農評議員タリ、村上農園ヲ經營ス、國有財産調査會委員被仰付○當選五回（15 16 17 19 20）

村上紋四郎

愛媛縣第二區選出、立憲民政黨

勳四等、水産業

慶應二年八月愛媛縣越智郡宮窪村ニ生ル○宮窪村長トナル、縣會議員、同參事會員、同議長ニ擧ケラル、又今治稅務署管內所得調査委員、同地價修正調査委員、土地收用審査委員、地方森林會議員、愛媛縣遠海出漁團體聯合會副會長トナル、愛媛縣水産組合長、越智郡水産會長タリ、今治市長ニ選ハル○當選五回（15 17 18 19 20）

村松久義

宮城縣第二區選出、立憲民政黨

從七位勳四等、辯護士

明治三十一年七月仙臺市ニ生ル、東京帝國大學法學部及經濟學部卒業○司法官試補、檢事代理ヲ命セラル、名古屋地方裁判所判事ニ任セラル、後辯護士トナリ現ニ其業務ニ從事ス、曩ニ陸軍三等計手ニ任セラル○當選三回（18 19 20）

村瀨武男

愛媛縣第二區選出、立憲民政黨

勳八等

明治十二年五月愛媛縣越智郡大井村ニ生ル、廣島修道學校卒業○日露ノ役ニ從軍ス、大井村助役トナル、屢〻愛媛縣會議員ニ選ハレ、副議長、議長ニ擧ケラル、又多年大井村長ノ職ニ在リ、愛媛縣農會副會長、越智郡農會議員、同副會長等トナル、現ニ愛媛縣農會議員、越智郡農會長、同郡今治市畜産組合長、愛媛縣山林會郡支會長、同郡畜産組合長タリ○當選一回（20）

紫安新九郎

大阪府第二區選出、立憲民政黨
正五位勳三等

明治六年八月兵庫縣城崎郡田鶴野村ニ生ル、早稻田大學政治科卒業○鎭西日報主筆、萬朝報記者トナル、後大阪市商工課長、同南區長ヲ被命、出羽石油株式會社、城東土地株式會社各取締役トナル、又大藏省副參政官、拓務政務次官ニ被任、宗教制度調査會委員、資源審議會委員、預金部資金運用委員會臨時委員關稅調査委員會委員、米穀調査會委員ヲ被仰付○當選九回（11 12 13 14 15 16 17 19 20）

卯尾田毅太郎

富山縣第二區選出、立憲民政黨
勳八等、會社重役

明治二十七年四月富山縣射水郡新湊町ニ生ル、早稻田大學商科ニ學フ○神戶貿易會社員トナル、富山縣會議員、同參事會員ニ選ハル、又新湊町職業紹介所長、富山縣出稼者保護組合新湊支部長、都市計畫富山地方委員會委員トナル、五度新湊町長ニ重任、現ニ其職ニ在リ、越中鐵道、日本海木材、富山セメント、新湊商業各株式會社取締役及監査役、射水水產會顧問、新湊信用組合理事、新湊商工會々頭タリ○當選一回（20）

宇賀四郎

千葉縣第二區選出、立憲民政黨
正四位勳三等

明治十四年五月千葉縣ニ生ル、東京帝國大學法科大學法律學科卒業○高等文官試驗ニ合格ス、專賣局書記兼大藏屬、專賣局主事、同參事、臺灣總督府專賣局事務官、同專賣局長、臺北州知事ニ歷任ス、在官中米國、歐洲及支那ヘ出張ヲ命セラル、又山東懸案解決ニ關スル條約所定ノ共同委員會委員隨員、臺灣電力株式會社理事ヲ命セラル○當選一回（20）

內田信也

茨城縣第一區選出
從三位勳二等

明治十三年十二月茨城縣行方郡麻生町ニ生ル、東京高等商業學校卒業○株式會社內田造船所社長、株式會社帝國窯業社長、內田汽船株式會社、內田商事株式會社各社長、明治海運株式會社、東京毛布株式會社、國際汽船株式會社各相談役、日本船主協會、港灣協會、電信協會各理事トナル、又海軍政務次官、遞信政務次官、鐵道大臣ニ任セラル、臨時財政經濟調查會臨時委員、戰時船舶管理局評議員、海事委員會委員、鐵道會議臨時議員、預金部資金運用委員會臨時委員、簡易生命保險積立金運用委員會委員被仰付○曩ニ紺綬褒章及之ニ附スヘキ飾版ヲ下賜セラル○當選六回（15 16 17 18 19 20）

內ケ崎　作三郎

宮城縣第一區選出、立憲民政黨
正五位勳四等、官吏

明治十年四月宮城縣黑川郡富谷村ニ生ル、東京帝國大學文科大學英文科卒業後英國「オックスフォード」「マンチエスターカレッヂ」卒業○雜誌「新人」記者「六合雜誌」主筆、早稻田大學講師、同理事「早稻田叢誌」主筆トナル、英國留學中內務省ノ囑託ニ依リ歐洲ノ社會事業ヲ視察ス、又米國ボストン市ニ開催ノ第八回世界自由宗教大會ニ於ケル日本代表者タリ、支那及滿洲ヲ視察ス、早稻田大學教授、同評議員、國際聯盟協會理事、廓淸會理事、國際聯盟協會早稻田大學支部長タリ、內務參與官ニ被任、社會事業調査會、神社制度調査會、東北振興調査會、東北興業株式會社設立各委員被仰付、現ニ文部政務次官タリ○當選六回（15 16 17 18 19 20）

馬岡　次郎

三重縣第一區選出、立憲政友會
農林業

明治二十年七月三重縣阿山郡布引村ニ生ル○布引村助役、同村長、三重縣會議員、同副議長ニ擧ケラル、所得調査委員、土地賃貸價格調査委員、同參事會員、同副議長ニ擧ケラル、所得調會ヲ創立監事、阿山郡信用購買販賣組合聯合商銀行ヲ創立取締役等トナル、株式會社伊山銀行監査役、同伊賀農組合聯合會及理事會長、株式會社伊山林業會社ヲ創立取締役等トナル、現ニ縣會評議員、同養蠶業會顧問、馬野川水電株式會社ヲ創立取締役社長、阿山郡是伊賀窯業株式會社ヲ創立取締役等タリ○當選一回（20）

上田　孝吉

大阪府第三區選出、立憲政友會
勳四等、辯護士

明治十九年九月石川縣石川郡金石町ニ生ル、東京帝國大學獨法科卒業○大阪市會議員、同參事會員、同副議長ニ擧ケラル、辯護士ノ業務ニ從事ス○當選四回（17 18 19 20）

植原悅二郎

長野縣第四區選出、立憲政友會
正五位勳二等

明治十年五月長野縣南安曇郡明盛村ニ生ル、北米合衆國華盛頓州立大學卒業「バッチエラー・オブ・アーツ」ノ學位ヲ得後英國倫敦大學院卒業「ドクトル・オブ・サイエンス」ノ學位ヲ受ケ同大學士會員ニ推薦セラル、數種ノ邦文、英文著書及飜譯書アリ○米國西北新報記者、日米商報社長、華州日本人會副會長、日英博覽會、巴奈馬太平洋萬國博覽會事務局囑託、明治大學、立教大學教授、東京高等工業學校、靑山女學院講師トナル、道路會議々員、鐵道會議々員被仰付、遞信參與官、外務參與官ニ被任、對支文化事業調査會委員、社會事業調査會委員、議院制度調査會委員、自動車製造事業委員會委員、貴族院制度調査會委員被仰付、米國ヲ視察ス、支那關稅會議實況ヲ視察ス○曩ニ衆議院副議長タリ○當選八回（13 14 15 16 17 18 19 20）

野方次郎

神奈川縣第一區選出、立憲政友會
勳四等、醫

明治九年二月靜岡縣田方郡韮山村ニ生ル、東京醫學專門學校卒業後國立傳染病研究所、帝國大學醫學部專科卒業○曩ニ醫術開業試驗ニ合格、警視廳檢疫委員ヲ命セラル、神奈川縣醫師會代議員、同常任理事、橫濱市醫師會代議員、同常任理事、壽小學校醫等トナル、又神奈川縣會議員ニ選ハレ、參事會員ニ推サル、嘗テ橫濱日日新聞社々長タリ、現ニ橫濱市學校醫會々長、神奈川縣學校醫會副會長、神奈川縣財政經濟調査委員ニシテ、財團法人本牧中凌竝貿易商業學校理事長、財團法人橫濱盲人學校理事、日本醫師會醫政調査委員、榮養化學工業株式會社相談役、保土ケ谷自治懇話會々長タリ○當選三回（17 18 20）

野田文一郎

兵庫縣第一區選出、立憲民政黨
正五位勳三等、辯護士

明治五年三月廣島縣雙三郡和田村ニ生ル、關西大學卒業後、明治大學ニ學フ○判檢事登用試驗、辯護士試驗合格、神戸地方裁判所判事、大阪控訴院判事、商工參與官ニ歷任ス、內閣調査局參與被仰付、國產振興委員會委員、商工審議會委員、不當廉賣審査會委員、瓦斯事業委員會委員被仰付、又神戸辯護士會々長ニ擧ケラル○當選六回（14 16 17 18 19 20）

野田俊作

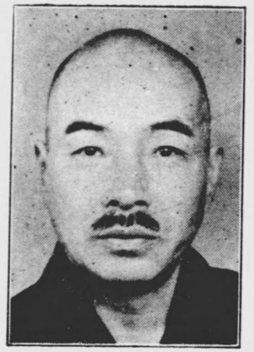
福岡縣第三區選出、立憲政友會
正五位勳三等

明治二十一年五月福岡縣三池郡岩田村ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○文官高等試驗ニ合格ス、南滿洲鐵道株式會社員トナル、鐵道參與官ニ被任、簡易生命保險積立金運用委員會委員、國際觀光委員會委員、鐵道會議々員、選擧制度調査會委員被仰付、司法政務次官ニ任セラル、米國ヲ視察ス、列國議會同盟會議ニ參列ス○當選六回（15 16 17 18 19 20）

野中徹也

埼玉縣第三區選出、國民同盟
從五位勳四等

明治二十六年一月埼玉縣北埼玉郡大越村ニ生ル、東京帝國大學法科大學政治科卒業後獨、佛、英、米各國ニ留學政治經濟學ヲ攻究ス「貨幣本質論」ノ著リア○高千穗高等商業學校講師、時事新報記者トナル、又內務大臣祕書官ニ任セラル、選擧制度調査會委員被仰付、社會事業調査會委員ヲ委囑セラル、滿洲國ヲ視察ス○當選五回（16 17 18 19 20）



野村嘉六

富山縣第一區選出、立憲民政黨
從四位勳二等、辯護士

明治六年八月富山縣婦負郡鵜坂村ニ生ル、中央大學卒業○判事ニ任セラル、後辭シテ辯護士トナル、富山縣會議員、富山辯護士會長ニ擧ケラル、臨時治水調査委員會委員、鐵道會議々員被仰付、商工參與官ニ任セラレ、都市計畫富山地方委員會委員、不當廉賣審査會委員、損害保險制度調査委員會委員、國產振興委員會臨時委員被仰付、文部政務次官ニ被任、人口食糧問題調査會委員、臨時ローマ字調査會委員、文政審議會委員、宗教制度調査會委員、神社制度調査會委員被仰付、又體育運動審議會委員ヲ命セラル○當選十回（11 12 13 14 15 16 17 18 19 20）

野口喜一

神奈川縣第二區選出、立憲政友會
會社重役

明治二十八年四月川崎市ニ生ル、明治大學法科卒業○川崎市學務委員、同市會議員、同參事會員、神奈川縣會議員、同參事會員ニ選ハル、都市計畫地方委員會委員ヲ命セラル、川崎乘合自動車株式會社、株式會社直喜鐵工所各監査役タリ○當選一回（20）

野溝勝

長野縣第三區選出、社會大衆黨
新聞業

明治三十一年十一月長野縣上伊那郡赤穗村ニ生ル、青森縣畜產學校獸醫科卒業○長野縣衞生技手ニ任セラル、長野縣會議員ニ選ハル、現ニ上伊那畜產組合長、長野獸醫師會長、南信アンゴラ聯合會長、南信農村工業研究會副長タリ○當選一回（20）

久山知之

岡山縣第一區選出、立憲政友會
勳四等、官吏

明治二十二年四月岡山縣久米郡大井西村ニ生ル○株式會社高信銀行支配人、美作電化工業株式會社專務取締役、株式會社久山工業所長、中國民報社々員トナル、又岡山縣會議員、同參事會員、土地牧用審査委員、岡山縣交通互助會々長ニ擧ケラル、現ニ司法政務次官タリ、資源審議會委員、選擧制度調査會委員被仰付、派遣軍等慰問ノ爲滿洲及支那ニ派遣セラル○當選五回（16 17 18 19 20）

工藤十三雄

青森縣第二區選出、立憲政友會
勳四等、新聞社長

明治十三年五月弘前市ニ生ル、東京帝國大學法科大學獨法科ニ學フ○時事新報社員トナル、陸奥日報社ヲ經營ス、東洋拓殖株式會社囑託トナル、朝鮮滿洲及支那ヲ視察ス、又派遣軍等慰問ノ爲滿洲及支那ニ派遣セラル、弘前新聞ヲ經營シ現ニ其社長タリ、東北振興調査會委員、東北振興電力株式會社設立委員被仰付○當選六回（15 16 17 18 19 20）○中華民國ヨリ四等嘉禾章ヲ贈ラル○當選六回（15 16 17 18 19 20）

工藤鐵男

青森縣第一區選出、立憲民政黨
正五位勳四等

明治八年八月青森縣中津輕郡富田村ニ生ル、日本大學ニ學ヒ後倫敦大學ニ於テ法政學ヲ學フ○二六新報記者、日本新聞記者タリ、又海外企業組合常務委員、大正水力組合理事、濃飛電力組合常務理事、日華實業協會主事トナル、曩ニ日露ノ役ニ從軍記者トナリ、又屢〻支那ヲ視察ス、鐵道會議々員被仰付、日本大學講師、同評議員、東京齒科醫學專門學校敎授、同評議員、日本聯合齒科醫師會顧問タリ、水力電氣事業ニ從事ス、文部參與官ニ被任、臨時ローマ字調査會委員、東北振興調査會委員、東北振興電力株式會社設立委員、議院制度調査會委員被仰付、滿洲國ヲ視察ス○中華民國ヨリ四等嘉禾章ヲ贈ラル○當選六回（15 16 17 18 19 20）

黑川壽男

岡山縣第一區選出、社會大衆黨
辯護士

明治三十二年四月岡山縣御津郡金川町ニ生ル、東京帝國大學法學部卒業○辯護士ノ業務ニ從事ス、日本農民組合顧問トナル、現ニ全國農民組合中央常任委員、政治部長タリ○當選二回（19 20）

國光五郎

山口縣第二區選出、立憲政友會
正七位勳四等、農

明治十三年九月萩市ニ生ル、東京帝國大學法科大學政治學科卒業○文官高等試驗合格、三重縣屬、內務屬、佐賀、廣島各縣事務官ニ歷任ス、山口縣會議員ニ選ハル、現ニ岩田村信用購買販賣利用組合長、山口縣農會議員、岩田村長、熊毛郡農會長、帝國農會議員、同產牛畜產組合長、同養蠶組合長、山口縣購買販賣組合聯合會長、同會長、周東三郡煙草耕作組合聯合會長、長周銀行、南朝鮮電氣、南朝鮮水力電氣各株式會社監査役、天安電燈株式會社取締役タリ○當選四回（11 18 19 20）

窪井義道

山口縣第二區選出
正五位勳四等、辯護士、會社重役

明治二十五年一月山口縣熊毛郡三丘村ニ生ル、東京帝國大學卒業、後歐米ニ留學ス○大倉商事會社員トナル、國際工船漁業、蒼海漁業、不二映畫各株式會社ヲ設立シ共取締役社長、株式會社山王會館監査役タリ、海軍參與官ニ被任、派遣軍等慰問ノ爲滿洲及支那ニ派遣セラル、又列國議會同盟會議ニ參列シ、歐米各國ヲ視察ス○當選四回(14 18 19 20)

藏原敏捷

熊本縣第二區選出、國民同盟
正五位勳四等

明治二十一年八月熊本縣下益城郡小川町ニ生ル、東京帝國大學法科大學政治科卒業○文官高等試驗ニ合格シ大阪府警部、同警視、東京府理事官、千葉縣、秋田縣各警察部長、神奈川縣、大阪府各書記官(警察部長)、和歌山縣知事ニ歷任ス、歐米各國ヲ視察ス○當選二回(19 20)

藏園三四郎

鹿兒島縣第一區選出
正五位勳四等

明治二年一月鹿兒島縣日置郡田布施村ニ生ル、明治大學ニ學フ○辯護士試驗ニ登第、爾來東京ニ於テ法律事務ニ從事ス、神田區會議員、同議長ニ擧ケラル、宗教制度調査會委員被仰付、薩摩製絲株式會社取締役トナル、鐵道政務次官ニ任セラレ、鐵道會議議員、雪害對策調査會委員、南洋拓殖株式會社設立委員被仰付○當選六回(15 16 17 18 19 20)
憲、立憲政友會

倉成庄八郎

長崎縣第一區選出、立憲政友會
新聞社員

明治二十五年四月長崎市ニ生ル、日本大學法科專門部卒業○稅務屬、長崎縣屬、會計檢查院書記ニ歷任ス、又萬朝報記者トナル、長崎市會議員、同議長、三度長崎縣會議員ニ選ハレ、其間縣參事會員トナル、現ニ長崎市會議長、長崎民友新聞社副社長タリ、列國議會同盟會議ニ參列歐米各國ヲ視察ス○當選二回(19 20)

倉元要一

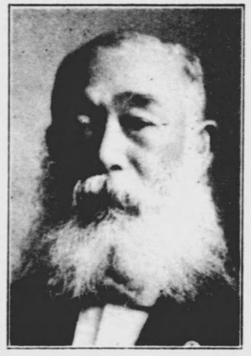
靜岡縣第三區選出、立憲政友會
從五位勳三等

明治十二年十二月福岡縣宗像郡上西鄉村ニ生ル、明治大學卒業
○陸軍一等計手ニ任セラル、又大阪府屬、滋賀縣警部、鳥取縣警部、福井縣今立郡長、同坂井郡長、同理事官、靜岡縣濱名郡長、同理事官、文部大臣祕書官ニ歷任ス、濱松市會議員ニ擧ケラル、都市計畫靜岡地方委員會委員、議院制度調查會委員被仰付○當選六回(15 16 17 18 19 20)

熊谷直太

山形縣第二區選出、立憲政友會
正五位勳三等、辯護士

慶應二年七月鶴岡市ニ生ル、東京帝國大學法科大學法律科卒業
○前橋地方裁判所判事、東京地方裁判所判事、長崎控訴院判事、東京控訴院判事ニ歷任ス、道路會議議員被仰付、再度司法政務次官ニ任セラル、歐米各國ヲ視察ス、裁判所構成法改正委員會委員ヲ囑託セラル、法制審議會委員、選擧制度調查會委員、宗教制度調查會委員被仰付、滿洲慰問議員團長トシテ渡滿ス○當選九回(11 13 14 15 16 17 18 19 20)



熊谷五右衞門

福井縣選出
勳三等、農

慶應元年六月福井縣坂井郡坪江村ニ生ル○坪江村長、坂井郡會議員、福井縣會議員、同參事會員、同副議長、同議長ニ擧ケラル、又地方森林會議員ヲ命セラル、朝鮮ノ漁業及支那ノ實業ヲ視察ス、日刊新聞福井日報社長トナル、曩ニ丸岡町長タリ○當選七回(11 13 15 16 18 19 20)

釘本衞雄

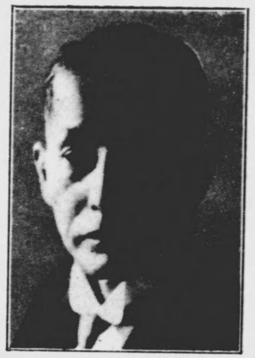
福島縣第一區選出、立憲民政黨
會社重役

明治十三年五月福島縣雙葉郡幾世橋村ニ生ル、早稻田大學高等豫科ニ學フ○浪江郵便局通信事務員、福島新聞主筆トナル、四度福島縣會議員ニ選ハレ、再度議長ニ擧ケラル、株式會社福島新聞社長、板谷クレー株式會社取締役社長タリ○當選一回(20)

矢野庄太郎

香川縣第二區選出、立憲民政黨
從六位勳四等、會社員

明治十九年一月香川縣三豐郡桑山村ニ生ル、明治大學法學部卒業○文官高等試驗ニ合格、臺灣總督府屬、香川縣警部、同警視、香川縣木田郡長ニ歷任ス、勝光山クレー合資會社代表社員タリ、國產振興委員會委員被仰付○當選四回（17 18 19 20）



八木逸郎

奈良縣選出、立憲民政黨
勳三等、會社重役

文久三年九月奈良市ニ生ル、東京醫科大學別科修業後、獨逸「ロストック」大學卒業「ドクトル・メヂチーネ」ノ學位ヲ受ク○東京帝國大學醫科大學附屬第一醫院副手トナル、縣會議員、同參事會員ニ擧ケラル、日本醫師共濟生命保險相互會社專務取締役タリ、中央統計委員會委員、宗教制度調查委員會委員、統制委員會委員、紀元二千六百年祝典評議委員會委員、實業教育振興委員會委員被仰付○當選十回（10 11 13 14 15 16 17 18 19 20）

八角三郎

岩手縣第一區選出、立憲政友會
正四位勳二等功五級、官吏

明治十三年十二月盛岡市ニ生ル、海軍兵學校、海軍水雷學校、海軍大學校卒業○海軍少尉ヨリ累進海軍中將ニ被任、其間日露戰役ニ從軍ス、又海軍軍令部、遣支艦隊各參謀、支那公使館附武官、軍艦利根、三笠、磐手、金剛各艦長、第一第二水雷戰隊各司令官、海軍水雷學校長、大湊要港部司令官ニ被補、大戰後ノ歐米視察ヲ命セラル、東北興業株式會社設立委員、臺灣拓殖株式會社設立委員、鐵道會議議員被仰付、現ニ拓務政務次官タリ○支那共和國ヨリ三等文虎章及二等嘉禾章、伊太利國ヨリ「コンマンドル・クロンヌ」勳章ヲ贈ラル、○當選三回（18 19 20）

八並武治

東京府第七區選出、立憲民政黨
從四位勳三等、辯護士

明治十二年十二月大分縣下毛郡鶴居村ニ生ル、東京帝國大學法科大學獨法科卒業○遞信大臣祕書官、司法參與官ニ任セラル、大禮使典儀官被仰付、再度司法政務次官ニ被任、米穀調查會臨時委員、法制審議會委員、選擧制度調查會委員被仰付○當選六回（14 15 17 18 19 20）

山道襄一

廣島縣第二區選出、立憲民政黨

正五位勳三等

明治十五年三月廣島縣賀茂郡坂城村ニ生ル、早稲田大學政治經濟科卒業「日本再建論」其他著書アリ○韓國政府ノ囑託トナリ「日本再建論」其他著書アリ○韓國政府ノ囑託トナリ韓國風俗慣行調査事務ニ從フ、又統監府囑託トナリ舊慣事務取調ニ從事ス、支那西比利亞方面ニ漫遊スルコト數回、又列國議會同盟會議ニ參列ス、文部參與官、鐵道政務次官ニ任セラレ、宗教制度調査會委員、人口食糧問題調査會委員、社會事業調査會委員、臨時電氣事業調査會委員、鐵道會議議員、國際觀光委員、度量衡制度調査會委員、國際觀光委員被仰付○當選十回（11 12 13 14 15 16 17 18 19 20）

山川賴三郎

兵庫縣第五區選出、立憲政友會

勳八等、農

明治六年七月大阪府豐能郡歌垣村ニ生ル○養蠶製絲教師、日野製絲株式會社現業部長、同工業長トナル、三等郵便局長ニ被任、福住郵便局長ヲ命セラル、屢ゝ福住村長、同村會議員、多紀郡會議員、兵庫縣會議員、同郡部會副議長、縣參事會員、付農會長、縣農會議員ニ選ハル、又所得調査委員、土地賃貸價格調査委員、家屋稅調査委員、縣山林會評議員、同理事、全國山林會聯合會參與、地方森林委員、縣森林組合聯合會長、福住信用販賣購買組合理事、同施業土木森林組合長等トナル○當選一回（20）

山田六郎

福島縣第三區選出、立憲民政黨

農

明治六年三月福島縣雙葉郡上岡村ニ生ル○郡書記ニ被任、屢ゝ上岡村會議員、福島縣會議員ニ選ハル、三度上岡村長ニ就任ス、又輸出羽二重製造事業ニ從事シ、富岡羽二重株式會社、雙葉製絲株式會社ヲ創立シ專務取締役トナル、雙葉郡養蠶業組合聯合會長、日本蠶絲中央會議員、福島縣養蠶業組合聯合會長、雙葉郡農會長、日本蠶絲中央會議員、福島縣信用組合聯合會監事、帝國耕地協會理事タリ○當選一回（20）

山田清

東京府第六區選出、立憲民政黨

醫

明治二十三年八月千葉縣市原郡高瀧村ニ生ル、東京慈惠會醫科大學卒業○東京市會議員、同參事會員ニ選ハル、自動車製造業委員會委員被仰付、現ニ東京市會議員、全國自動車業聯合會長、東京自動車業聯合會長タリ○當選一回（20）

山田順策

靜岡縣第一區選出、立憲民政黨
齒科醫

明治二十年二月靜岡縣菴原郡西奈村ニ生ル、東京齒科醫學專門學校卒業○東京齒科醫學專門學校助手トナル、靜岡市會議員、靜岡縣會議員ニ選ハル、靜岡縣齒科醫師會長、同會健康保險部長ニ推サル、靜岡市商工會議所議員、社團法人日本乘合自動車協會副會長、靜岡縣乘合自動車協會長、靜岡運輸事務所管內構內自動車營業組合長タリ○當選一回（20）

山口忠五郎

靜岡縣第一區選出、立憲政友會
勳四等、農

明治十五年一月靜岡縣志太郡西益津村ニ生ル○村長、村會議員、郡會議員、縣會議員、同參事會員、同副議長、同議長ニ擧ケラル、現ニ縣茶業組合聯合會議員、縣農會長、茶業組合中央會議員、縣茶業聯合會々頭、縣畜產組合聯合會長、縣木炭組合聯合會長、帝國農會議員、縣消防組合聯合會常議員、所得審查委員、遠州銀行、藤枝合同運送、藤相鐵道、靜岡新報社各株式會社其他數會社ノ取締役タリ○當選四回（16 18 19 20）

山枡儀重

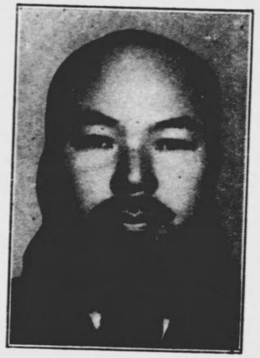
鳥取縣選出、立憲民政黨
正五位勳四等

明治二十二年四月鳥取縣東伯郡倉吉町ニ生ル、京都帝國大學文科大學哲學科選科卒業－歐米革新教育の實際」「歐米政治行脚」「私有財產制度と國家社會主義」等ノ著アリ○愛知縣第一師範學校教諭、大阪市視學ニ任セラル、社會事業調查會臨時委員ヲ囑セラル、文部省囑託、內閣總理大臣秘書官、文部參與官ニ任セラル、教育狀況及政治事情視察ノ爲再度歐米各國ヲ歷遊ス、教科書調查會委員、臨時ローマ字調查會委員、體育運動審議會委員、國語審議會委員、度量衡制度調查會委員、宗教制度調查會委員、議院制度調查會委員被仰付、實業教育振興委員會委員ヲ委囑セラル○當選五回（15 17 18 19 20）

山崎達之輔

福岡縣第三區選出
從三位勳一等

明治十三年六月福岡縣三潴郡川口村ニ生ル、京都帝國大學法科大學卒業○臺灣總督府屬、臺灣總督府參事官、文部省參事官、文部書記官、文部省實業學務局長、同普通學務局長、文部政務次官ニ歷任ス、再度農林大臣ニ任セラレ、遞信大臣ヲ兼任ス、中央衞生會委員、臨時國語調查會委員、教員檢定委員會常任委員、學校衞生調查會委員、恩給審查會委員、人口食糧問題調查會臨時委員、宗教制度調查會委員、衆議院議員選舉革正審議會委員、文政審議會委員、米穀統制調查會委員、議院制度調查會委員被仰付○當選六回（15 16 17 18 19 20）



山崎常吉

愛知縣第一區選出
文房具製造業

明治二十四年一月高知縣香美郡夜須村ニ生ル○愛國從業員組合總聯盟會長、愛國勞働組合全國懇話會中部地方委員長トナル、愛知縣會議員ニ選ハル○當選一回(20)

山崎釰二

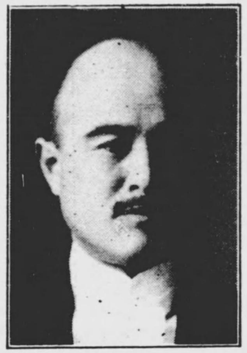
靜岡縣第二區選出、社會大衆黨
著述業

明治三十五年九月靜岡縣駿東郡御殿場町ニ生ル○無產階級解放運動ニ携ハリ、全國農民組合中央委員トナル、沼津市會議員、靜岡縣會議員ニ選ハル、靜岡產業通信社ヲ創立シ「靜岡產業通信」ノ發行ニ從事ス○當選二回(1920)

山本芳治

大阪府第二區選出、立憲政友會
勳四等、辯護士

明治十四年九月兵庫縣加古郡八幡村ニ生ル、東京帝國大學法科大學獨逸法律科卒業○司法官試補ニ任セラル、大阪地方裁判所所屬辯護士會副會長、大阪市會議員、同名譽職參事會員ニ選ハル○當選四回(15 18 19 20)



山本厚三

北海道第一區選出、立憲民政黨
正五位勳三等、農、海運業

明治十四年五月飯田市ニ生ル、東京高等商業學校卒業○陸軍三等主計ニ任セラル、小樽商業會議所會頭、小樽市會議員、小樽商工會議所特別議員、小樽道路保全組合長、同倉庫業組合長、北日本汽船、小樽倉庫、北海道製綿各株式會社取締役、小樽新聞、大日本乳製品、定山溪鐵道各株式會社監査役、松前造林合資會社長トナル、鐵道參與官ニ被任、鐵道會議臨時議員、都市計畫北海道地方委員會、石油業委員會、北海道拓殖計畫調査會各委員、臨時ローマ字調査會、度量衡制度調査會各委員被仰付、文部政務次官ニ被任、國語審議會、體育運動審議會、宗教制度調査會各委員被仰付、實業教育振興委員會委員ヲ命セラル、再度支那ヲ視察ス○當選七回(14 15 16 17 18 19 20)

山本悌二郎

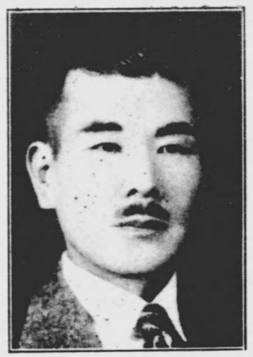
新潟縣第一區選出、立憲政友會
正三位勳一等

明治三年一月新潟縣佐渡郡新町ニ生ル、獨逸「ライプチツヒ」大學ニ學ヒ「ドクトル・オブ・フイロソフイエット・ボナールム」ノ學位ヲ受ク○第二高等學校教授、アルチウム・マギステル、日本勸業銀行鑑定課長トナル、糖業聯合會長、臺灣製糖株式會社、南國產業株式會社取締役、社長其他數會社ノ取締役又ハ監査役トナル、衆議院議員選擧法改正調査會、生產調査會、經濟調査會、米穀委員會、預金部資金運用委員會各委員被仰付、農林大臣ニ被任、行政制度審議會委員、經濟審議會副會長被仰付、再度農林大臣ニ任セラル○製糖事業ノ功勞ニ依リ藍綬褒章、公益ノ爲私財寄附ノ廉ニ依リ紺綬褒章ヲ賜ハル○當選十一回（9 10 11 12 13 14 15 16 18 19 20）

眞鍋勝

德島縣第二區選出、立憲民政黨
勳四等、辯護士

明治十四年十二月德島縣美馬郡貞光村ニ生ル、東京帝國大學文學部英文科、京都帝國大學法學部卒業○辯護士ノ業務ニ從事ス、教科書調査會委員被仰付、南洋方面ヲ視察ス、又列國議會同盟會議ニ參列シ歐米各國ヲ視察ス○當選四回（16 18 19 20）



眞鍋儀十

東京府第四區選出、立憲民政黨
勳四等、會社員

明治二十四年九月長崎縣壹岐郡箱崎村ニ生ル、明治大學法科ニ學フ「新選擧法解釋」「府縣制通」「通俗哲學」「滿洲大觀」等ノ著書アリ○衆議院臨時囑託、遞信省囑託トナル、政府貸付金處理委員會委員被仰付、現ニ城北電線株式會社長、東京露店燈取扱株式會社取締役タリ○當選四回（17 18 19 20）

町田忠治

秋田縣第一區選出、立憲民政黨
正三位勳一等

文久三年三月秋田市ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業「財政學」「憲法評論」其他數種ノ著書アリ○曾テ東洋經濟新報ヲ創刊ス、日本銀行取調役、山口銀行總理事、大阪銀行集會所委員長、報知新聞社長トナル、農商務省參政官ニ任セラル、再度農林大臣ニ被任、又商工大臣ニ被任、大藏大臣ニ兼任セラレ特ニ前官ノ禮遇ヲ賜ハル、小作調査會、米穀委員會各會長、人口食糧問題調査會副會長、社會政策審議會、關稅審議會、國際貸借審議會各委員被仰付、再度歐米各國ヲ漫遊ス○當選九回（11 12 13 15 16 17 18 19 20）

丸山辨三郎

長野縣第一區選出、立憲政友會
從六位勳六等

明治十二年二月長野縣下高井郡平野村ニ生ル、東京高等商業學校附設商業教員養成所卒業○長野市立甲種商業學校教諭、市立長野商業學校長兼教諭ニ任セラル、後長野市長ニ擧ケラレ三期間在職ス○當選一回(20)

松井郡治

新潟縣第一區選出、立憲民政黨
正七位、辯護士

明治四年一月新潟縣中頸城郡津有村ニ生ル、東京專門學校法律科卒業○司法官試補、檢事代理ヲ經テ判事ニ被任、新潟、旭川、長岡各區裁判所及新潟地方裁判所判事ニ補セラル、新潟市會議員、新潟縣會議員ニ選ハル、又新潟辯護士會長、都市計畫委員トナル、列國議會同盟會議ニ日本議員團長トシテ參列、歐米各國ヲ視察ス○當選四回(15 17 19 20)

松尾三藏

福岡縣第二區選出、立憲民政黨
會社重役

明治二十一年一月福岡縣八女郡川崎村ニ生ル○三菱合資會社ニ勤務ス、香月町會議員ニ選ハル、現ニ香月町消防組頭、福岡縣消防協會評議員及理事、遠賀郡畜產組合長、福岡縣畜產聯合會評議員、香月町商工會長及信用組合理事、金丸鑛業株式會社取締役、久恒鑛業、田籠鑛業、藤井鑛業、三崎鑛業、九州曹達各株式會社顧問タリ○當選一回(20)

松尾四郎

奈良縣選出、立憲民政黨
勳四等、會社重役

明治十六年五月奈良縣宇陀郡松山町ニ生ル○奈良縣農會議員、松山町會議員ニ擧ケラル、葛城稅務署管內土地賃貸價格調査委員、宇陀郡農會長、同教育會長トナル、又大和銀行、吉野小川銀行、大和電氣、大正水力電氣、宇治川電氣、奈良縣農工銀行各株式會社重役トナル、貴信生駒電氣鐵道、三芳索道、南都銀行、大和貯蓄銀行各株式會社取締役、奈良信託株式會社監査役タリ、戰後ノ歐米ヲ歷遊ス、國際觀光委員會委員、政府貸付金處理委員會委員被仰付○當選五回(16 17 18 19 20)

松岡俊三

山形縣第二區選出、立憲政友會
勳三等功七級、新聞社重役

明治十三年七月山形縣北村山郡楯岡町ニ生ル、宗教大學卒業後日本法律學校ニ學フ「雪國の悲慘を語る」其他數種ノ著アリ○日露ノ役ニ從軍ス、都新聞政治記者、同副社長トナル、現ニ同社常任監査役タリ、又雪ノ日本社ヲ創立シ其社長タリ、曩ニ歐米ニ留學スルコト二箇年、又東部西比利亞及北部支那各地ヲ視察ス、立憲政友會特派員トシテ華盛頓會議ニ參列ス、雪害對策調査會委員、東北振興調査會委員、東北興業株式會社設立委員被仰付○當選六回（14 15 16 18 19 20）

松川昌藏

岩手縣第二區選出、立憲政友會
正七位、公吏

明治二十五年二月岩手縣東磐井郡松川村ニ生ル、京都帝國大學法科大學獨逸法律科卒業○司法官試補、檢事代理、豫備檢事ヲ經テ檢事ニ任セラレ、岐阜地方兼區裁判所檢事、水戸地方兼區裁判所檢事ニ任セラレ若松區兼福島地方裁判所若松支部判事ニ被補、判事ニ任セラレ若松區兼福島地方裁判所若松支部判事ニ被補、後辯護士ヲ開業、一關町會議員、岩手縣會議員、同參事會員ニ選ハル、又岩手縣振興調査會委員トナル、現ニ一關町長ニシテ西磐井郡町村長會長、岩手縣町村長會長、保證責任信用組合一關庶民金庫組合長タリ○當選二回（19 20）

松方幸次郎

鹿兒島縣第一區選出、第二控室
正五位勳二等、會社員

慶應元年十二月鹿兒島市ニ生ル、米國ニ留學シ「エール」大學卒業「ドクトル・オブ・シビル・ロー」ノ學位ヲ得後英國「オクス・フオードレ」大學、佛國巴里大學ニ於テ法律學ヲ研究ス○內閣總理大臣秘書官ニ被任、神戸商工會議所會頭、日本火災保險株式會社專務取締役、株式會社川崎造船所專務取締役社長、神戸瓦斯、九州電氣軌道、川崎汽船、國際汽船、旭石油各株式會社其他數會社ノ社長、重役トナル、又蘇聯邦ノ招聘ニ應シ同國ニ赴キ揮發油輸入契約ヲ締結、松方日ソ石油販賣事務所ヲ創設シ、同所ヲ日ソ石油株式會社ニ讓渡其取締役會長タリ、日本實業團代表員トシテ米國、清國ヲ、又歐米各國ヲ視察ス○紺綬褒章ヲ賜ハル、又佛國政府ヨリ「レジヨン・ドノール」三等勳章ヲ贈ラル○當選三回（11 19 20）

立憲民政黨

松田竹千代

大阪府第六區選出、立憲民政黨
勳四等

明治二十一年二月大阪府泉南郡下莊村ニ生ル、紐育大學ニ於テ經濟學ヲ修ム○紐育日本人會幹事ニ擧ケラル、又紐育市ニ於テ日本人職業紹介所ヲ創設經營ス、英京ロンドンニ於テ社會事業ヲ研究シ我國最初ノ隣保事業タル東京府有隣園理事トシテ之カ經營ニ當ル、又勞働者簡易宿泊所有隣勞働クラブヲ設立經營ス、國際觀光委員會委員被仰付、列國議會同盟會議ニ參列シ歐米各國ヲ視察ス○當選四回（16 18 19 20）

松田喜三郎

愛媛縣第一區選出、立憲民政黨
勳四等、會社重役

明治十三年三月愛媛縣溫泉郡粟井村ニ生ル○陸軍一等看護長ニ被任、日露戰役ニ從軍ス、屢〻粟井村會議員、愛媛縣會議員ニ選ハレ、縣參事會員、同副議長、同議長ニ擧ケラル、帝國在鄉軍人會村分會長、縣臨時財務調査會委員、帝國水難救濟會北條救護所長、郡農會議員、郡水產會評議員、同自治會長、同兵事會長、北條町消防組頭、溫泉郡及松山市組合長、縣聯合藥業會長等トナル、又北條町長ニ重任スルコト五回、松山藥業會長、海南新聞、鹿島酒造各株式會社取締役、製藥株式會社松田博愛堂社長タリ、滿洲國ヲ視察ス○當選三回（17 19 20）

松田正一

三重縣第一區選出、立憲民政黨
勳四等、會社重役

明治十七年十二月和歌山縣海草郡貴志村ニ生ル、京都法政大學法科卒業○古河鑛業會社和歌山納炭係、大阪市役所土木課地理係、津市藏町共融合資會社法律顧問トナル、又津市會議員、同副議長、三重縣會議員、同參事會員、津稅務署管內所得秘調查委員ニ擧ケラル、津市藏町ニ共融無盡株式會社ヲ創立シ現ニ常務取締役兼支配人タリ、不當廉賣審查委員會委員被仰付、滿洲國ヲ視察ス○當選四回（17 18 19 20）

松永東

埼玉縣第一區選出、立憲民政黨
勳四等、辯護士、辨理士

明治二十年十月長崎縣南高來郡北串山村ニ生ル、日本大學及早稻田大學ニ學フ○辯護士試驗ニ合格、辯護士ヲ開業ス、五期ニ亙リ東京市會議員ニ選ハレ、同副議長ニ擧ケラル、武州瓦斯株式會社ヲ設立シ、現ニ同社取締役ニシテ東京市會議長タリ○當選三回（18 19 20）

松永義雄

埼玉縣第一區選出、社會大衆黨
辯護士

明治二十四年七月愛知縣海部郡立田村ニ生ル、東京帝國大學獨逸法科卒業「商業信用狀論」「英國勞働組合法論」「國家財政論」「地方財政論」其他ノ著書アリ○辯護士ヲ開業現ニ其業務ニ從事ス、東京市會議員、同參事會員長タリ○當選一回（20）

松村謙三

富山縣第二區選出、立憲民政黨
正五位勳四等、農

明治十六年一月富山縣西礪波郡福光町ニ生ル、早稲田大學政治經濟科卒業○報知新聞記者トナル、又富山縣會議員ニ選ハル、農林大臣祕書官、農林參與官ニ任セラル、米穀委員會委員、米穀統制調査會臨時委員、米穀統制委員會委員、農村經濟更生中央委員會委員、資源審議會委員、貴族院制度調査會委員被仰付○當選五回（16 17 18 19 20）

松村光三

栃木縣第二區選出、立憲政友會
正五位勳四等、會社重役

明治十五年十二月栃木縣下都賀郡栃木町ニ生ル、東京高等商業學校專攻科卒業後伯林大學、伯林高等商業學校ニ經濟學ヲ修ム「賃銀論」其他數種ノ著書アリ○古河合名會社參與、大日本人造肥料、旭電化工業、八戸水力電氣各株式會社監査役、日光登山鐵道株式會社取締役トナル、又內務省健康保險第二次審査員、協調會社會政策學院講師、社會政策學會員、日本會計學會評議員トナル、勞働保險調査會、國產振興委員會、不當廉賣審査委員會、統制委員會各委員被仰付、南洋、支那及歐米各國ヲ歷遊ス、商工參與官ニ被任、日本製鐵株式會社設立委員、百貨店委員會、度量衡制度調査會、統制委員會各委員被仰付○當選五回（16 17 18 19 20）

松浦伊平

香川縣第二區選出、立憲政友會
土木建築請負業

明治二十三年一月香川縣綾歌郡松山村ニ生ル○多年土木建築請負業ニ從事ス、屢〻松山村會議員、香川縣會議員ニ選ハレ、縣參事會員、同副議長ニ推サル、現ニ松山村會議員、香川縣除蟲菊同業組合組長、永富池、北條池耕地整理組合聯合會長、坂出瓦斯株式會社專務取締役、大藪製鹽株式會社、金山新鹽株式會社各取締役タリ○當選一回（20）

松浦周太郎

北海道第二區選出、立憲民政黨
木材商

明治二十九年五月北海道茅部郡落部村ニ生ル○美深町會議員、北海道會議員、美深消防組頭ニ擧ケラル、合資會社松浦木工場代表社員、株式會社々長、北海道製酪株式會社取締役タリ○當選一回（20）

松野鶴平

熊本縣第一區選出、立憲政友會
正五位勳三等、會社重役

明治十六年十二月熊本縣菊池郡城北村ニ生ル○朝鮮紡織株式會社、滿洲製麻株式會社、鯛生金山株式會社、日本電報通信社各取締役、菊池電氣軌道株式會社取締役社長トナル、內務政務次官ニ任セラル、瓦斯事業委員會委員、中央衞生會臨時委員、險衞生調查會委員、國立公園委員會委員、阿片委員會委員、保働保險調查會委員、法制審議會臨時委員、神社制度調查會委員、紀元二千六百年祝典準備委員會委員、選擧制度調查會委員被仰付○當選六回（14 16 17 18 19 20）

松山常次郎

和歌山縣第一區選出、立憲政友會
正五位勳四等、會社重役

明治十七年三月和歌山縣伊都郡九度山町ニ生ル、東京帝國大學工科大學卒業後米國ニ於テ橋梁學ヲ研究ス○東京府土木課員トナル、陸軍工兵少尉ニ任セラル、又朝鮮ニ於テ水田開墾事業ニ從事ス、川佐農場及大正水利組合技師長トナル、黃海社及南海拓殖會社、鮮滿開拓會社ヲ創立シ開墾水利事業ニ從事ス、派遣軍等慰問ノ爲滿洲及支那ニ派遣セラル、宗教制度調查會委員被仰付、外務參與官ニ任、對支文化事業調查會委員被仰付○當選六回（14 15 17 18 19 20）

松木弘

新潟縣第二區選出、立憲政友會
勳四等、辯護士

明治十二年四月新潟縣北蒲原郡新發田町ニ生ル、東京法學院卒業○判事檢事登用試驗ニ合格ス、司法官試補ヲ命セラル、後辯護士トナル、新潟縣會議員、同議長ニ擧ケラル、又屢ゝ新潟市會議員ニ選ハル、新潟電力株式會社監查役、新潟港灣倉庫株式會社監查役タリ○當選三回（18 19 20）

松本治一郎

福岡縣第一區選出、社會大衆黨
土木建築請負業

明治二十年六月福岡市ニ生ル、山東省ニ歷遊語學ヲ修ム○福岡市堅粕消防組頭トナル、部落民解放運動ニ參加シ、現ニ全國水平社執行委員長、中央委員會議長タリ、滿洲及支那山東省地方ヲ視察ス○當選二回（19 20）

松本忠雄

長野縣第一區選出、立憲民政黨
正五位勳三等、官吏

明治二十年七月長野縣上水內郡北小川村ニ生ル、東亞同文書院卒業○やまと新聞記者トナル、內閣總理大臣祕書官ニ任セラレ、國有社寺現境內地無償讓與調査委員會、法制審議會臨時、選擧制度調査會、貴族院制度調査會各委員被仰付、現ニ外務政務次官タリ、對支文化事業調査會委員被仰付、萬國議院商事會議及列國議會同盟會議ニ參列シ歐米各國ヲ視察ス○當選六回（15 16 17 18 19 20）

前川正一

香川縣第一區選出、社會大衆黨
著述業

明治三十一年二月高松市ニ生ル、京都同志社大學ニ學フ「左翼農民運動組織論」「農民組合の話」「百姓貧乏物語」ノ著書アリ○會テ小學校代用教員タリ、農民組合運動ニ携ハリ全國農民組合組織部長トナル○當選一回（20）

前田米藏

東京府第六區選出、立憲政友會
從三位勳一等

明治十五年二月和歌山縣伊都郡高野口町ニ生ル、中央大學卒業○馬政委員會委員、鐵道會議々員被仰付、又法制局長官、商工大臣、鐵道大臣ニ被任、文政審議會委員、行政審議會委員、資源審議會委員、簡易生命保險積立金運用委員、人口食糧問題調査會委員、中央統計委員會委員、國有財產調査會委員、別都市計畫委員會委員、都市計畫中央委員會委員、經濟審議會幹事長、宗教制度調査會委員、法制審議會委員、衆議院議員選擧革正審議會委員、資源審議會副總裁、米穀對策調査會委員及大禮使參與官被仰付、實業教育振興委員會委員ヲ委囑セラル、○當選八回（13 14 15 16 17 18 19 20）

前田房之助

兵庫縣第二區選出、立憲民政黨
正五位勳三等

明治十七年九月兵庫縣武庫郡大社村ニ生ル、神戶高等商業學校卒業○武庫郡會議員、大社村長ニ選ハル、寶塚尼崎電氣鐵道株式會社々長、西宮土地株式會社、大阪琺瑯株式會社各取締役、攝津電氣自動車株式會社監査役トナル、又大藏參與官ニ被任、臨時有財產調査會、寺院境內地讓與審査委員會、中央諸官衙建築準備委員會各委員會委員、簡易生命保險積立金運用委員會、關稅調査委員會委員等ヲ被仰付、遞信政務次官ニ被任、海事審議會委員、航空事業調査會委員ヲ命セラル、列國議會同盟會議ニ參列ス、又歐米各國及滿鮮支那ヲ視察ス○當選六回（15 16 17 18 19 20）

牧野良三

岐阜縣第三區選出、立憲政友會
從四位勳三等、辯護士

明治十八年五月岐阜縣大野郡高山町ニ生ル、東京帝國大學法科卒業○文官高等試驗ニ合格、遞信省爲替貯金局證券課長、遞信副事務官、文部大臣祕書官兼文部省參事官、商工參與官ニ任セラル、又辯護士事務ニ從事シ、京阪青果市場聯合會顧問トナル、商工審議會、國産振興委員會、損害保險調査委員會、不當廉賣審査委員會、資源審議會各委員被仰付、遞信政務次官ニ任セラレ、簡易生命保險積立金運用委員會、預金部資金運用委員會、電氣事業委員會、國語審議會、貴族院制度調査會各委員被仰付、又航空事業調査委員會委員ヲ命セラル、實業教育振興委員會委員ヲ委囑セラル○當選七回（14 15 16 17 18 19 20）

牧野賤男

東京府第五區選出、立憲政友會
正五位勳四等、辯護士

明治八年二月新潟縣佐渡郡相川町ニ生ル、明治大學法律科、中央大學高等研究科卒業○判檢事辯護士試驗登第、司法官試補トナリ、後辯護士ヲ開業、東京市下谷區會議員、東京市會議員、東京府會議員、同參事會員、同議長ニ選ハル、又東京辯護士會副會長トナル、都市計畫東京地方委員會委員被仰付、拓務參與官ニ任セラル、阿片委員會委員被仰付、司法制度調査委員ヲ囑託セラル○當選五回（16 17 18 19 20）

牧山耕藏

長崎縣第二區選出、立憲民政黨
正五位勳四等、新聞社長

明治十五年一月長崎縣壹岐郡勝本町ニ生ル、早稻田大學大學部政治經濟科卒業○京城居留民團議員、京城學校組合會議員ニ選ハル、海軍政務次官ニ被任、現ニ株式會社朝鮮新聞社取締役社長、株式會社鮮鐵山株式會社取締役社長、佐世保新聞社長、朝帝國産金興業株式會社監査役、朝鐵自動車株式會社取締役、列國議會同盟會議ニ日本議員團長トシテ參列歐米各國ヲ視察ス○當選八回（13 14 15 16 17 18 19 20）

増田義一

新潟縣第四區選出、立憲民政黨
勳四等、著述出版業

明治二年十月新潟縣中頸城郡板倉村ニ生ル、早稻田大學卒業「青年と修養」其他著書數種アリ○嘗テ讀賣新聞記者タリ、且多年「實業之日本」其他數種ノ雜誌ヲ發刊經營シ又圖書ヲ出版ス、現ニ實業之日本社長タル外數會社ノ重役ヲ兼ネ、早稻田大學理事タリ、臨時國語調査會委員、國有財産調査會委員、小作調査會委員、臨時國際貸借審議會委員、文政審議會委員、鐵道會議々員、國語審議會委員、著作權審査會委員、紀元二千六百年祝典評議會委員會委員被仰付、歐米各國ヲ視察ス○衆議院副議長タリ○當選七回（11 15 16 17 18 19 20）

增永元也

福岡縣第三區選出、立憲政友會
從四位勳四等、會社員

明治十四年十月福岡縣八女郡福島町ニ生ル、東京帝國大學工科大學電氣工學科卒業○鐵道廳技師、鐵道院技師、鐵道局技手、鐵道技手ニ歷任新橋電力事務所長、電氣局通信課長、同電化課長兼電力課長ヲ命セラル、鐵道省電氣局長ニ被任、電化調査委員、軍事輸送委員、發電調査委員、大禮委員會委員其他數種ノ委員ヲ被命又工業品規格統一調査委員被仰付、鐵道ニ關スル電氣事業研究ノ爲歐米ニ留學ス、九州送電株式會社顧問、共同火力發電會社取締役、大同信號株式會社顧問タリ○當選一回（20）

藤生安太郎

佐賀縣第二區選出、立憲政友會
勳四等

明治二十八年八月唐津市ニ生ル、東京外國語學校卒業○一年志願兵トシテ入營陸軍步兵伍長ニ任セラル、新潟縣立村上中學校、陸軍士官學校、東京高等學校、拓殖大學各教師ヲ囑託セラル、共間北白川宮永久王、竹田宮恒德王、朝香宮鳩彥王、李王各殿下ニ柔道師範タリ、曩ニ衆議院議長秘書トナル○當選三回（18 19 20）

藤田若水

廣島縣第一區選出、立憲民政黨
勳四等、官吏

明治九年十二月愛媛縣新居郡中萩村ニ生ル、早稻田大學法學部行政科卒業○辯護士試驗登第、廣島辯護士會常議員會議長、同辯護士會副會長、同會長ニ擧ケラル、又廣島市會議員、廣島縣會議員、同參事會員、同副議長、同市部會議長ニ選ハル、現ニ司法參與官タリ、慰問ノ爲滿洲國ニ派遣セラル○當選五回（15 16 17 18 20）

藤本捨助

香川縣第一區選出、第二控室
從六位、著述業

明治二十七年十二月香川縣大川郡引田町ニ生ル、東京高等師範學校竝東北帝國大學法文學部卒業「日本民法總論」ノ著書アリ○小學校訓導ヲ命セラル、東京高等師範學校助教授兼訓導、高松高等商業學校講師、同教授ニ歷任ス、在任中法律學研究ノ爲英、米、獨各國ニ留學ヲ命セラル、又中華民國ニ出張ヲ命セラル、大阪商科大學講師タリ○當選一回（20）

古田喜三太

廣島縣第一區選出、立憲民政黨
信用組合常任監事

明治二十一年二月廣島市ニ生ル○四度廣島縣會議員ニ當選シ、縣參事會員ニ選ハル、廣島市農會議員、貸貸價格調査委員、產業調査委員トナル、祇園高等女學校理事長、廣島縣海外協會理事、同移住組合理事、廣島特殊木工品工業組合理事長、三篠信用組合常任監事タリ、滿洲ヲ視察ス○當選二回(1920)

古屋慶隆

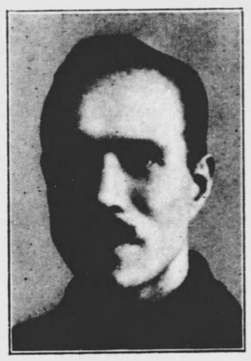
岐阜縣第三區選出、立憲民政黨
從四位勳三等、農

明治十二年十二月岐阜縣惠那郡大井町ニ生ル、京都同志社及明治大學卒業○鐵道參與官ニ任セラル、衆議院議員選擧法改正調査會委員、鐵道會議臨時議員被仰付、內務政務次官ニ被任、失業防止委員會、保健衞生調査會、勞働保險調査會、資源審議會外數種ノ調査會委員被仰付、小運送制度調査會委員ヲ囑託セラル○當選八回(12 13 14 15 17 18 19 20)

古島義英

埼玉縣第三區選出、立憲民政黨
辯護士

明治十八年六月埼玉縣南埼玉郡三箇村ニ生ル、日本大學卒業○判檢事登用試驗ニ合格、司法官試補ヲ命セラレ東京地方裁判所兼區裁判所詰トナル、後辭シテ辯護士ヲ開業シ今日ニ至ル○當選二回(17 20)



深澤豐太郎

靜岡縣第一區選出、立憲政友會
從五位勳四等、著述業

明治二十八年五月淸水市ニ生ル、明治大學ニ學ヒ後獨逸ベルリン大學ニ學フ○栃木縣會書記長、衆議院囑託トナル、農林大臣祕書官ニ任セラル、東京市會議員ニ選ハル、現ニ東京市會議員、明治大學評議員、順天中學校理事タリ、滿洲國ヲ視察ス、又列國議會同盟會議ニ參列歐米各國ヲ視察ス○當選四回(17 18 19 20)

船田中

栃木縣第一區選出、立憲政友會
從五位勳四等、官吏

明治二十八年四月宇都宮市ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業「地方財政研究」「選擧法令通解」ノ著アリ○大阪府屬、內務屬、福島縣理事官、愛知縣理事官、拓殖事務局事務官、內閣書記官ニ歷任ス、又東京市助役、東京市長代理トナル、曩ニ下野中學校主兼校長タリ、又財團法人下野中學校ヲ創立シ終身理事トナル、內閣總理大臣祕書官ニ任セラル、選擧制度調査會委員、資源審議會委員被仰付、現ニ外務參與官タリ、對支文化事業調査會委員被仰付、列國議會同盟會議ニ參列歐米各國ヲ視察ス○當選四回（17 18 19 20）

福井甚三

奈良縣選出、立憲政友會
勳四等、會社重役

明治七年十二月奈良縣生駒郡富郷村ニ生ル○生駒土地株式會社長、城南土地、日本家禽土地、大阪商品市場、有明炭礦、炭礦商船、北鮮產業各株式會社重役、奈良縣農會長、奈良縣出荷聯盟會長トナル、現ニ小作調停委員、大和日報社長タリ、土木會議々員、紀元二千六百年祝典評議委員會委員被仰付、列國議會同盟會議ニ日本議員團長トシテ參列歐米各國ヲ視察ス○當選六回（14 15 16 18 19 20）

福田悌夫

山口縣第二區選出、立憲民政黨
農、公吏

明治二十八年十二月山口縣都濃郡福川町ニ生ル、東京帝國大學政治學科卒業○雜誌「新思潮」ヲ經營ス、德山實業實踐學校講師、德山商業學校教諭、福川產業組合役員、大日本農道會山口縣支部理事トナル、山口縣教育會ヨリ「公民講義」ヲ出版ス、福川町教育會長、同町農會長、同消防後援會長、同學務委員、同消防組頭、都濃郡農會長、同教育會長、同青年團長、同女子青年團長、同聯合婦人會長、山口縣農會議員ニ擧ケラル、現ニ福川町長タリ○當選一回（20）

福田關次郎

京都府第一區選出、立憲民政黨
勳四等、藥品製造業

明治十五年三月山口縣都濃郡德山町ニ生ル、關西法律學校卒業○朝鮮馬山浦統營小學校長ヲ命セラル、京都市會議員、同參事會員、京都府會議員ニ選ハル、京都市常設土木委員、同學區制度調査會委員、同罹災墳補基金委員、京都府產業調査會副委員長トナル、大阪市ニ澱江學舍ヲ創立シ育英事業ニ從事ス、又京都製藥所ヲ經營ス、南洋方面ヲ視察ス○當選三回（18 19 20）

小泉又次郎

神奈川縣第二區選出、立憲民政黨
正三位勳二等

慶應元年五月神奈川縣久良岐郡六浦莊村ニ生ル○嘗テ小學校教員、新聞記者タリ、橫須賀市會議員、同議長、神奈川縣會議員ニ擧ケラル、帝都復興院評議會評議員被仰付、又遞信大臣ニ被任、社會政策審議會臨時委員、衆議院議員選擧革正審議會委員、臨時產業審議會委員、法制審議會臨時委員、選擧制度調查會委員被仰付○曩ニ衆議院副議長タリ○當選十一回（10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20）

小泉純也

鹿兒島縣第一區選出、立憲民政黨

明治三十七年一月鹿兒島縣ニ生ル、日本大學政治科卒業○立憲民政黨事務局書記、遞信省囑託、東方政經通信社理事トナル○當選一回（20）

小池四郎

福岡縣第四區選出
勳四等、著述業

明治二十五年三月東京市ニ生ル、東京帝國大學工科大學採鑛科卒業、著述、翻譯十數種アリ○神戸鈴木商店ニ入社ス、帝國炭業株式會社、木屋瀨鑛業所長トナル○當選二回（18 20）

小畑虎之助

兵庫縣第四區選出、立憲民政黨
會社員

明治二十七年三月兵庫縣宍粟郡神戸村ニ生ル○株式會社揖水銀行支配人トナル、兵庫縣會議員ニ選ハレ、同議長ニ擧ケラル、株式會社又新日報社取締役タリ○當選二回（19 20）

小林房之助

兵庫縣第二區選出、立憲民政黨

著述業

明治二十四年一月大阪市ニ生ル、早稲田大學政治經濟學科卒業

○大阪現株取引株式會社支配人、大阪市福島商業學校講師、遞信省海運事業調査囑託、朝鮮總督府囑託トナル、經濟事情研究ノ爲歐米ヲ巡歴ス○當選一回（20）

小林三郎

鹿兒島縣第三區選出、立憲民政黨

從六位勳四等、會社重役

明治十六年十二月鹿兒島縣大島郡天城村ニ生ル○警視廳警部補、福岡縣警部、埼玉縣警部、警視廳警視、地方事務官ニ歴任シ、福岡縣二日市警察署長、埼玉縣鴻巣、越ケ谷、松山、本庄、大宮、熊谷各警察署長、府中警察署長、警視廳刑事部捜査課強力犯係長、同總監官房特別高等課勞働係長、小石川警察署長、鹿兒島縣大島支廳長ニ補セラル、後合資會社堤方製作所顧問、日滿印刷株式會社取締役社長トナル、現ニ武藏野乘合自動車株式會社常務取締役タリ○當選二回（1920）

小林絹治

兵庫縣第三區選出、立憲政友會

正五位勳四等

明治二十一年二月兵庫縣加東郡河合村ニ生ル、米國カリホルニヤ大學政治科、同大學院法科卒業、米國法學博士ノ學位ヲ受ク○中央新聞主筆、同編輯長トナル、後南滿洲鐵道株式會社ニ入リ「ジ社シ祕書役、參事、紐育支店長、庶務課長トナル、瑞西國「ジユネーヴ」ニ於テ開催ノ國際聯盟總會臨時會議ニ於ケル帝國代表者隨員被仰付、米穀統制委員會委員、米穀自治管理委員會委員被仰付、農村經濟更生中央委員會委員、日本競馬會設立委員ヲ命セラル○當選三回（1819 20）

小谷節夫

岡山縣第二區選出、立憲政友會

勳四等、新聞社長

明治十八年一月岡山縣阿哲郡美穀村ニ生ル、上海東亞同文書院卒業「實力の人原さん」「何人も知らねばならぬ支那の知識」「中華民國と帝國日本」等ノ著書アリ○古河鐵業會社員トナリ滿洲ニ駐在ス、後青島ニテ貿易商天佑公司ヲ營ム、吳佩孚ノ政治顧問、岡山縣私立金川中學校長トナル、青島新報社長タリ、又漢字新聞「大青島報」ヲ發刊ス○當選四回（16 18 19 20）

小平重吉

栃木縣第二區選出、立憲政友會
肥料商

明治十九年九月栃木縣下都河郡石橋町ニ生ル、明治大學豫科ニ學フ○屢〻石橋町會議員、栃木縣會議員ニ選ハル、石橋町長ニ就職ス、營業稅調査委員、所得稅調査委員トナル、肥料、自動車販賣業ヲ營ム、關東自動車株式會社、石橋自動車株式會社、那須合同自動車株式會社各取締役社長、中央商事株式會社取締役タリ○當選一回(20)

小柳牧衞

新潟縣第二區選出、立憲民政黨
正四位勳三等、公吏

明治十七年七月新潟縣北蒲原郡川東村ニ生ル、東京帝國大學法科大學政治學科卒業○文官高等試驗ニ合格ス、北海道廳屬、同事務官補、同理事官、青島守備軍民政部事務官、臨時震災救護事務局書記官、青森、山口縣各內務部長、神奈川縣書記官（內務部長）、青森、福島、長崎、兵庫各縣知事ニ歷任ス、現ニ新潟市長ニシテ新潟縣教育會長タリ○支那政府ヨリ三等嘉禾章ヲ贈ラル○當選二回(1920)

小山谷藏

和歌山縣第二區選出、立憲民政黨
正五位勳三等

明治九年九月和歌山縣西牟婁郡三栖村ニ生ル、東京專門學校卒業後、米國コロンビア大學卒業「マスター・オブ・アーツ」「ドクトル・オブ・フイロソフイー」ノ學位ヲ受ク○曩ニ臺灣總督府讀譯官、文部省副參政官、內務參與官ニ任セラル、人口食糧問題調査會、失業防止委員會、中央衞生會、保健衞生調査會、勞働保險調査會、阿片委員會、神社制度調査會、國立公園委員會各委員、土木會議々員被仰付、政治經濟事情視察研究ノ爲歐米各國ヲ巡遊ス、又派遣軍等慰問ノ爲滿洲及支那ニ派遣セラル○當選七回(11 12 16 17 18 19 20)

小山邦太郎

長野縣第二區選出、立憲民政黨
勳四等、製絲、釀造業

明治二十二年十一月長野縣北佐久郡小諸町ニ生ル○長野縣會議員、同參事會員ニ擧ケラル、又長野縣蠶品種審査會委員ヲ囑託セラル、北佐久郡生絲同業組合長、蠶絲同業組合中央會議員タリ○當選五回(16 17 18 19 20)